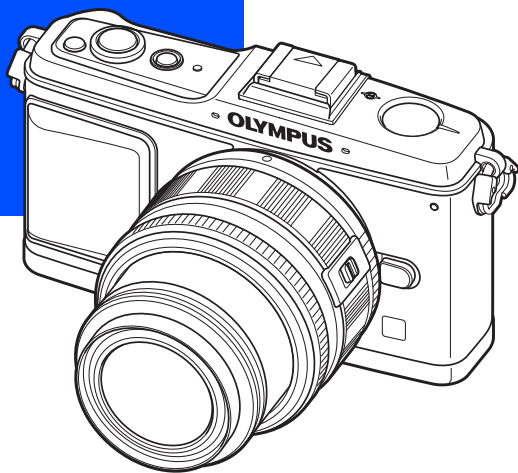
デジタルカメラ

E-P2

# 取扱説明書


**かんたんガイド** P.2

各部の名称と、撮影・再生の基本ステップ、基本操作を確認しましょう。

**もくじ** P.26


- オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。特に「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前に良くお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- この取扱説明書は、カメラのファームウェアVer1.0にもとづいて記載されています。カメラのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

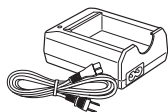
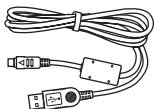
# 同梱品を確認する

お買い上げの商品には次の付属品が入っています。
万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。

カメラ

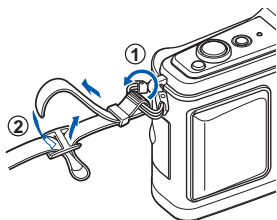
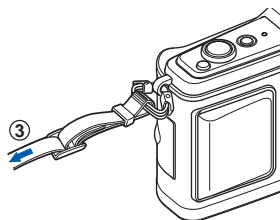
ボディキャップ

ストラップ

リチウムイオン電池
PS-BLS1（BLS-1）

リチウムイオン充電器
PS-BCS1（BCS-1）

USBケーブル

AVケーブル
（モノラル出力）

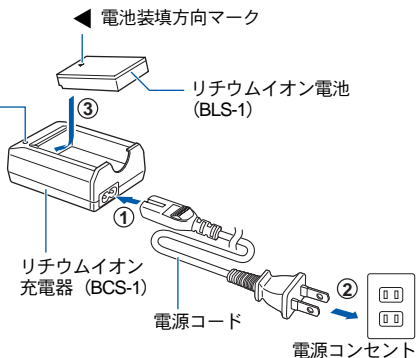
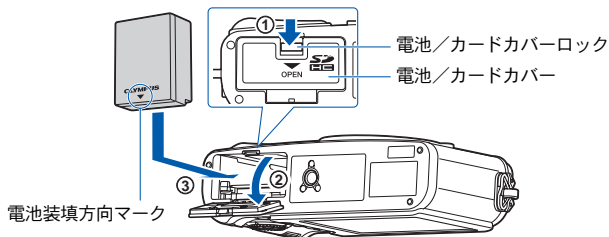
- OLYMPUS Master 2 CD-ROM
- 取扱説明書
- 保証書

## ストラップを取り付ける

矢印にしたがってストラップを通します（①、②）。

最後に強く引っ張り、抜けないことを確認してください（③）。

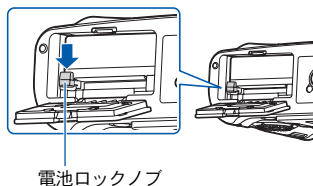
- もう一方のストラップ取り付け部にも、同様にストラップを取り付けます。

# カメラを準備する



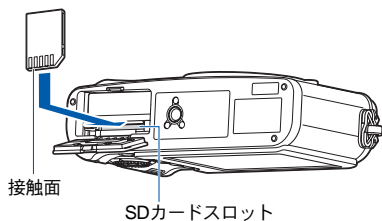
## 1 電池を充電する

## 2 電池を入れる

### 電池を取り出す

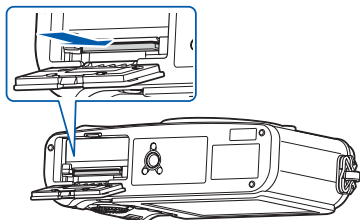
電池／カードカバーを開け閉めする際は、カメラの電源を切ってください。

電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押してロックを外してから取り出します。

長時間の撮影には、電池の消耗に備えて予備の電池を用意されることをおすすめします。

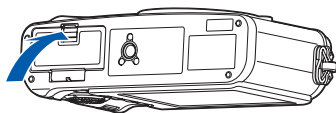
## 3 カードを入れる

- SD／SDHCカード（以降カードと呼びます）がロックされるまで差し込みます。
☞「カードについて」（P.129）

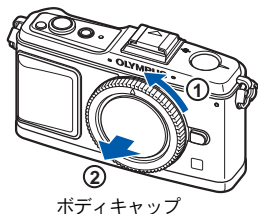
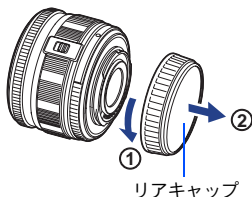
- カードの出し入れは電源を切ってから行ってください。

### カードを取り出す

- 差し込まれているカードを軽く押すと、カードが出てきます。
- カードをつまんで取り出します。
- カードアクセスランプが点滅しているときは、絶対に電池／カードカバーを開けないでください。

## 4 電池／カードカバーを閉める

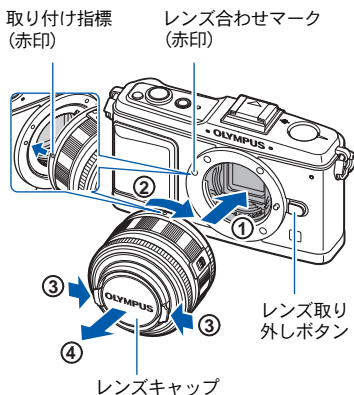
カメラをご使用の際は、必ず電池／カードカバーを閉じてください。

- カチッと音がするまでしっかりと閉めます。

# レンズを取り付ける



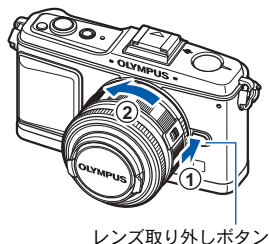
## 1 カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外す

## 2 レンズを取り付ける

- カメラのレンズ合わせマーク（赤印）にレンズの取り付け指標（赤印）を合わせ、レンズをボディに差し込みます（①）。
- レンズを<u>カチッと音がするまで</u>矢印の方向に回します（②）。

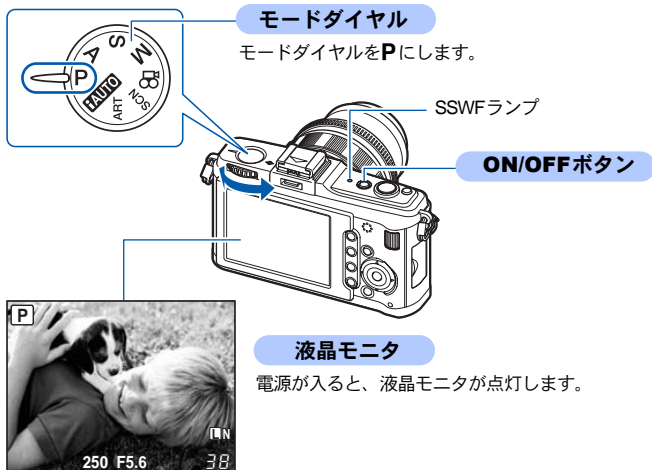
> - カメラ内部には触らないでください。
> - 電源が切れていることを確認してください。
> - <u>レンズ取り外しボタンは押さないで</u>ください。

## 3 レンズキャップを外す（③、④）

### レンズを取り外す

レンズ取り外しボタンを押しながら（①）、矢印の方向に回します（②）。

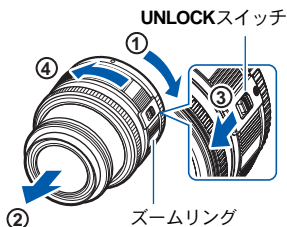
☞「交換レンズについて」（P.131）

# 電源を入れる

## 1 ON/OFFボタンを押して電源を入れる

- 電源を切るには、再度**ON/OFF**ボタンを押します。

**ダストリダクション機能の作動**
電源を入れたとき、撮像素子のフィルター前面についたゴミをスーパーソニックウェーブフィルター（SSWF）により払い落とすダストリダクション機能が自動的に働きます。ダストリダクション機能が作動中はSSWFランプが点滅します。

## 別売の沈胴式レンズを使うときは

レンズによっては、保管時に鏡胴を収納する沈胴式のものがあります。
沈胴したままでは、撮影できません。
ズームリングを矢印の方向（①）に回してレンズを繰り出してください（②）。

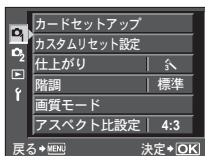
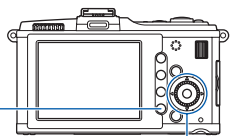
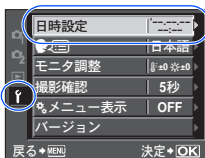
収納するときは、**UNLOCK**スイッチ（③）をスライドさせながら、ズームリングを矢印の方向（④）に回します。

# 日時を設定する

日時の情報は画像とともにカードに記録されます。また、ファイル名も日付の情報をもとに付けられます。お使いになる前に必ず正しい日時を設定してください。

## 1 MENUボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。

## 2 △ ▽ で [ ] を選択し、▷ を押す

日時設定
日本語
モニタ調整
撮影確認 5秒
メニュー表示 OFF
バージョン
戻る MENU
決定 OK

## 3 △ ▽ で[日時設定]を選択し、▷ を押す

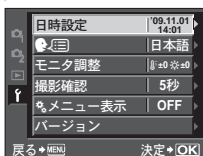
## 4 △ ▽ で[年]を選択し、▷ を押す

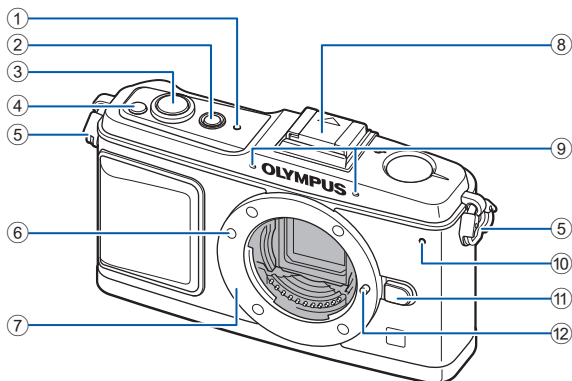
## 5 同様の操作を繰り返し、時刻まで入力する

- 時刻は24時間表示です。

## 6 △ ▽ で日付の順序を選択する

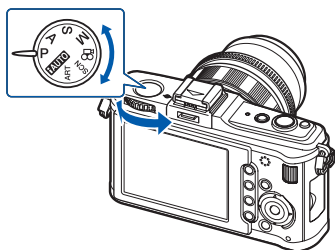
## 7 OK ボタンを押す

日時設定 '09.11.01 14:01
日本語
モニタ調整
撮影確認 5秒
メニュー表示 OFF
バージョン
戻る MENU
決定 OK

## 8 MENUボタンを押して終了する

# カメラ

① SSWFランプ .................. ☞P.6、127
② **ON/OFF**ボタン ...................... ☞P.6
③ シャッターボタン .................. ☞P.12
④ ☒（露出補正）ボタン ........... ☞P.43
⑤ ストラップ取り付け部 ............. ☞P.2
⑥ レンズ合わせマーク ................ ☞P.5
⑦ マウント
（ボディキャップを外してからレンズを取り付けます。）
⑧ ホットシュー ......................... ☞P.61
⑨ 録音マイク ...................... ☞P.74、86
⑩ セルフタイマーランプ ............ ☞P.57
⑪ レンズ取り外しボタン .............. ☞P.5
⑫ レンズロックピン

① モードダイヤル ..................... ☞P.10
② 液晶モニタ ................... ☞P.22、24
③ MENUボタン ...................... ☞P.20
④ INFO（情報表示）ボタン
.................................... ☞P.23、79
⑤ 三脚穴
⑥ 電池／カードカバー ............... ☞P.3
⑦ 電池／カードカバーロック .... ☞P.3
⑧ アクセサリーポート ........... ☞P.134
⑨ 🗑（消去）ボタン ................ ☞P.88
⑩ ▶（再生）ボタン ....... ☞P.14、77
⑪ AEL/AFLボタン .......... ☞P.44、96
O-n（プロテクト）ボタン ... ☞P.87
⑫ Fnボタン ............................ ☞P.97
⑬ スピーカー
⑭ サブダイヤル（）.... ☞P.15、25
⑮ コネクタカバー
⑯ カードアクセスランプ ☞P.12、119
⑰ マルチコネクタ ☞P.83、112、117
⑱ HDMIミニコネクタ ............... ☞P.84
⑲ メインダイヤル（）. ☞P.15、25
⑳ 十字ボタン（）... ☞P.15、20、25
次の位置でメインダイヤルを押します。
上：△
下：▽
左：◁
右：▷
㉑ OKボタン .............................. ☞P.20

# モードダイヤル

モードダイヤルを使うと、撮影する被写体に合わせてカメラの設定を簡単に変えることができます。

## 応用撮影モード

- 絞り値、シャッター速度を任意に設定し、より高度な撮影ができます。
- 応用撮影モードで設定した機能は、カメラの電源を切っても設定を保持しています。

| | | |
|---|---|---|
| **P** | プログラム撮影 | 絞り値とシャッター速度はカメラが自動的に決めて設定します。（☞P.37） |
| **A** | 絞り優先撮影 | 絞り値を自分で設定します。シャッター速度はカメラが自動的に設定します。（☞P.38） |
| **S** | シャッター優先撮影 | シャッター速度を自分で設定します。絞り値はカメラが自動的に設定します。（☞P.39） |
| **M** | マニュアル撮影 | 絞り値とシャッター速度を自分で設定します。（☞P.40） |

## かんたん撮影モード

- 撮影シーンに合わせて選びます。カメラが自動的に撮影に適した条件を設定します。
- かんたん撮影モードでは、モードダイヤルを回したり、電源をオフにすると設定した機能は、初期設定に戻ります。

| | | |
|---|---|---|
| **iAUTO** | iオート | カメラが撮影シーンに最適な撮影モードを**[ポートレート]**、**[風景]**、**[夜景]**、**[スポーツ]**、**[マクロ]**の中から自動で選択します。シャッターボタンを押すだけで撮影シーンに合った撮影ができるフルオートモードです。 |
| **ART** | アートフィルター | お好みのフィルター／シーンを選択すると、カメラが自動的にフィルター／シーンに適した撮影条件を設定します。**SCN** モードではほとんどの機能は変更できません。 |
| **SCN** | シーン | |
| 🎥 | ムービー | ムービー撮影をするときに使用します。**[P]**、**[A]**、**[M]**のほかに、アートフィルターの効果を使ったムービー撮影ができます。 |

## アートフィルター／シーンの設定方法

1 モードダイヤルを**ART**または**SCN**に設定します。
- アートフィルターメニューまたはシーンメニューが表示されます。

2 △ ▽ でフィルターまたはシーンを選択します。
3 ㊋ボタンを押します。

### アートフィルターの種類

| アイコン | アートフィルター | アイコン | アートフィルター |
|---|---|---|---|
| ART1 | ポップアート | ART5 | ラフモノクローム |
| ART2 | ファンタジックフォーカス | ART6 | トイフォト |
| ART3 | デイドリーム | ART7 | ジオラマ |
| ART4 | ライトトーン | ART8 | クロスプロセス |

### シーンモードの種類

| アイコン | モード | アイコン | モード |
|---|---|---|---|
|  | ポートレート |  | ぶれ軽減 |
|  | eポートレート |  | マクロ |
|  | 風景 |  | ネイチャーマクロ |
|  | 風景&人物 |  | キャンドル |
|  | スポーツ |  | 夕日 |
|  | 夜景 |  | 文書 |
|  | 夜景&人物 |  | パノラマ（☞P.60） |
|  | チャイルド |  | 打ち上げ花火 |
| HI | ハイキー |  | ビーチ＆スノー |
| LOW | ローキー | | |

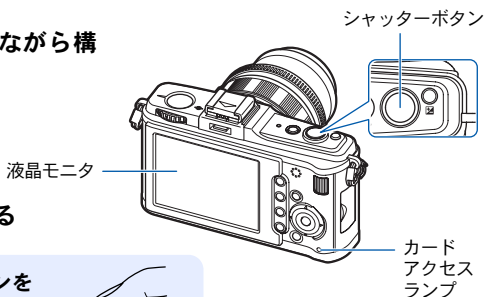
- アートフィルター、**[eポートレート]**はRAW画像には適応されません。
- アートフィルターでRAW設定時は、自動的にLN+RAWに設定されます。
- アートフィルターの種類によっては、画像の粗さが強調される場合があります。
- **[eポートレート]**でRAWおよびJPEG+RAW設定時は、RAW画像と効果適用後のJPEG（M (2560×1920)）が保存されます。
- **[eポートレート]**でJPEG設定時は、効果の適用前（設定画質）と適用後（M (2560×1920)）の2枚を保存します。

# 撮影する

## 1 液晶モニタを見ながら構図を決める

シャッターボタン

液晶モニタ

カードアクセスランプ

## 2 ピントを合わせる

**シャッターボタンを半押しします。**

液晶モニタ

合焦マーク

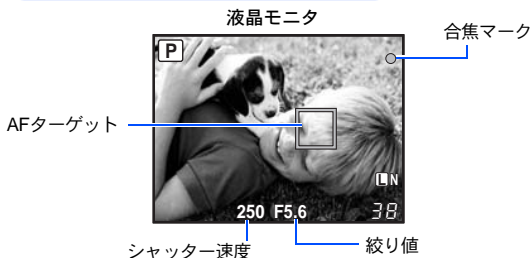
AFターゲット

P

250 F5.6

38

シャッター速度

絞り値

- ピントが合うと合焦マーク（●または◎）とAFターゲットマークが点灯します。
  - ●： マイクロフォーサーズマウント規格レンズ、フォーサーズマウント規格レンズで、ハイスピードイメージャ AF対応レンズの場合
  - ◎： その他のフォーサーズマウント規格レンズ
- カメラが自動的に決定したシャッター速度や絞り値が表示されます。

## 3 撮影する

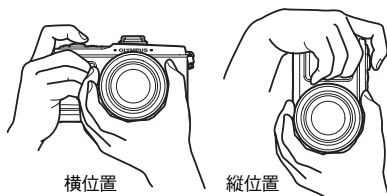
**半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます（全押し）。**

- シャッター音がして、撮影されます。
- カードアクセスランプが点滅し、カード記録が始まります。

カードアクセスランプの点滅中は、絶対に電池やカードを抜かないでください。撮影した画像が保存されないだけではなく、保存済みの画像が破壊されるおそれがあります。

## カメラの構え方

レンズに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。

横位置　縦位置

## カメラが動作を停止したときは

約1分間何も操作しないと、スリープモード（待機状態）になり、カメラは動作を停止します。シャッターボタンや▶ボタンなどを操作するとカメラは動作を再開します。☞「スリープ時間」（P.100）

*こんなときは*

**マニュアルフォーカスでピントを調節したい：**

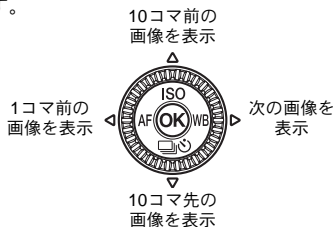
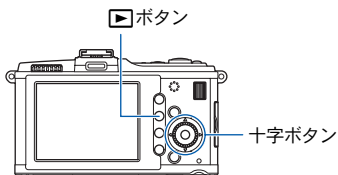
→**[S-AF+MF]**モードもしくは**[MF]**モードでフォーカスリングを回し、被写体を拡大してピントを合わせます。☞「**MF**アシスト」（**P.94**）

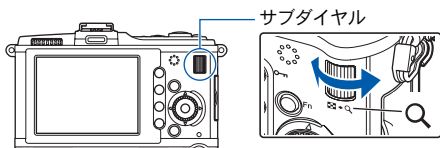
## カメラの設定をリセットする

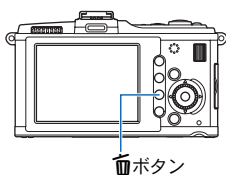
**P**/**A**/**S**/**M**モードでは、変更した設定は電源を切ってもリセットされません。カメラを出荷時の設定に戻すにはリセットを実行します。
☞「設定のリセット」（P.92）

# 再生する／削除する

## 画像を再生する

▶ボタンを押すと、最後に撮影した画像が表示されます。
• もう一度 ▶ ボタンを押すと、撮影モードになります。

## クローズアップ再生する

サブダイヤルを🔍側に回すたびに2～14倍と拡大倍率が変化します。

## 画像を削除する

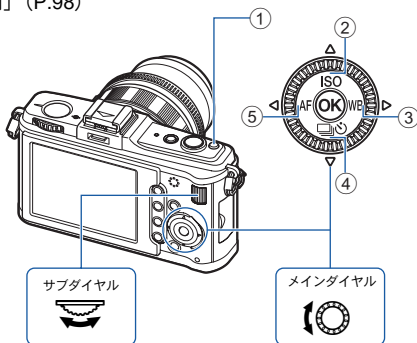
消去したい画像を再生し、🗑ボタンを押します。
△ ▽ を押して[実行]を選択しⓞボタンを押すと、削除されます。

# ダイレクトボタン

このカメラには3通りの操作方法があります。
**ダイレクトボタン操作　☞P.15**
**ライブコントロール表示またはスーパーコンパネ表示を見ながら設定**
**☞P.16、18**
**メニューを表示して設定　☞P.20**

## 1 設定したい機能のボタンを押す

- ダイレクトメニューが表示されます。
- ボタンを押すとその機能が選択状態になり、その間にサブダイヤルを回して設定します。何も操作しないでいると設定が確定します。
  ☞「ボタンON保持時間」(P.98)

**例：連写／セルフタイマー撮影の設定**

ダイレクトメニュー

## 2 サブダイヤルで選択し、OKボタンを押す

### ダイレクトボタン一覧

| 番号 | ダイレクトボタン | 機能 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| ① | ☒ | 露出補正 | P.43 |
| ② | ISO | ISO感度設定 | P.46 |
| ③ | WB | ホワイトバランス設定 | P.68 |
| ④ | □ı/⏲ | 連写／セルフタイマー撮影 | P.56-57 |
| ⑤ | AF | AF方式設定 | P.49 |

かんたんガイド
基本操作

# ライブコントロール

撮影の設定機能とその選択肢が、同時に表示される下の画面をライブコントロールと呼びます。Ⓞボタンを押して液晶モニタに表示して使用します。アートフィルターやホワイトバランスなどの効果をライブビューで確認しながら設定できます。スーパーコンパネが表示されている場合は、**INFO**ボタンを押して表示を切り換えます。

設定機能

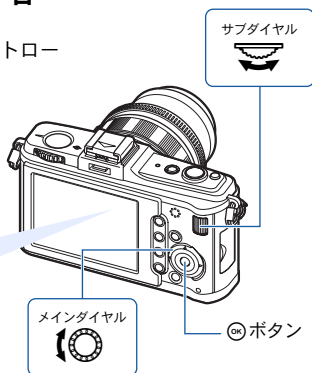
選択肢

| 設定機能 | 選択肢 | 参照ページ |
|---|---|---|
| シーンモード*1 | [HI] [LOW] などのシーンアイコン | P.11 |
| アートフィルターモード*1 | [ART1] [ART2] [ART3] [ART4] [ART5] [ART6] [ART7] [ART8] | P.11 |
| ムービー AEモード*2 | **[P] [A] [M]** [ART1] [ART2] [ART3] [ART4] [ART5] [ART6] [ART7] [ART8] | P.75 |
| 仕上がり | [1] [2] [3] [4] [5] **[M] [C]** | P.72 |
| ホワイトバランス | [AUTO] [☀] [⌂] [☁] [☼] [1] [2] [3] [WB⚡] [□] [CWB] | P.68 |
| 連写／セルフタイマー | [□] [□] [12S] [2S] | P.56-57 |
| 手ぶれ補正 | [OFF] [I.S. 1] [I.S. 2] [I.S. 3] [焦点距離入力] | P.57 |
| アスペクト比 | [4:3] [16:9] [3:2] [6:6] | P.59 |
| 画質モード | [RAW] [LF] [LN] [MN] [SN] [LF+RAW] [LN+RAW]等 | P.65 |
| ISO感度 | [AUTO] [100] [125] [160] [200] [250] [320]等 | P.46 |
| フラッシュモード | [AUTO] [◉] [⚡] [⚡] [◉⚡] [⚡**SLOW**] [⚡**SLOW2**]等 | P.62 |
| 測光方式 | [ ] [ ] [•] [•HI] [•SH] | P.42 |
| AF方式 | [S-AF] [C-AF] [MF] [S-AF+MF] [C-AF+TR] | P.49 |
| 顔検出 | [ON] [OFF] | P.55 |
| AFターゲット選択 | [:::] [ · ] | P.52 |
| ムービー録音*2 | [ON] [OFF] | P.76 |

*1 ARTまたはSCNモードのみ
*2 モードのみ

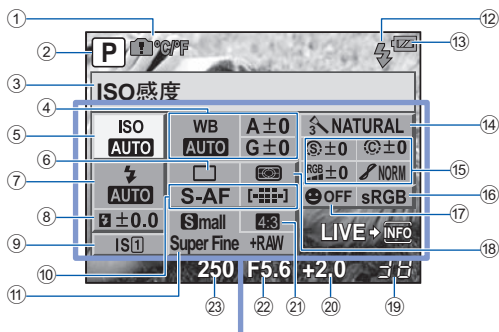
- モードでの設定機能と選択肢は、静止画と異なります。
- 撮影モードによっては選択できないメニューがあります。

## 1 ⓞボタンを押してライブコントロールを表示する

- 再度 ⓞ ボタンを押すとライブコントロールの表示が消えます。

## 2 メインダイヤルでカーソルを設定したい機能に移動し、サブダイヤルで設定を選択しⓞボタンを押す

- 何も操作しないでいると、設定が確定します。
- ダイヤルのかわりに十字ボタンを使って操作もできます。

# スーパーコンパネ

撮影の設定状態の表示と設定が、同時にできる下の画面をスーパーコンパネと呼びます。ライブコントロール表示から、**INFO**ボタンを押して表示を切り換えます。

枠内の機能はスーパーコンパネで設定することができます。

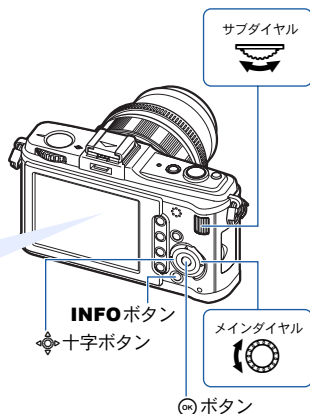
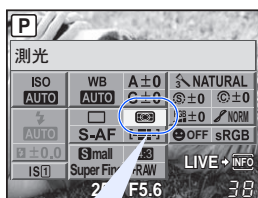
① 内部温度上昇警告 °C/°F .... ☞P.124
② 撮影モード* ................ ☞P.10、37-40
③ 機能名
④ ホワイトバランス ................ ☞P.68
ホワイトバランス補正 ........... ☞P.69
⑤ ISO感度 ............................... ☞P.46
⑥ 連写／セルフタイマー .......... ☞P.56-57
⑦ フラッシュモード ................. ☞P.62
⑧ フラッシュ補正値 ................. ☞P.63
⑨ 手ぶれ補正 ......................... ☞P.57
⑩ AF方式 ................................ ☞P.49
AFターゲット ....................... ☞P.52
⑪ 画質モード ......................... ☞P.65
⑫ フラッシュ充電中 ................. ☞P.121
⑬ 電池残量 ............................. ☞P.22
⑭ 仕上がり .............................. ☞P.72
⑮ シャープネス S ..................... ☞P.72
コントラスト C ..................... ☞P.72
彩度 RGB ............................... ☞P.72
階調 ..................................... ☞P.73
フィルター効果 F .................. ☞P.72
調色 T ................................... ☞P.73
⑯ カラー設定 .......................... ☞P.105
⑰ 顔検出 .......................... ☞P.55、101
⑱ 測光方式 .............................. ☞P.42
⑲ 撮影可能枚数 ...................... ☞P.139
⑳ 露出補正値 .......................... ☞P.43
露出レベル .......................... ☞P.40
㉑ アスペクト比 ...................... ☞P.59
㉒ 絞り値 ........................... ☞P.37-40
㉓ シャッター速度 ................ ☞P.37-40

* **ART**と**SCN**のときは設定できます。

• ムービー撮影モードでは表示されません。

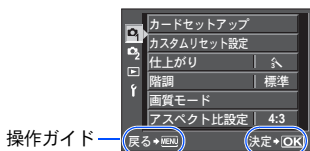
## 1 ライブコントロール表示中に INFOボタンを押してスーパーコンパネを表示する

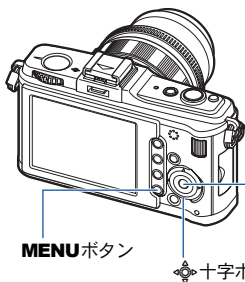
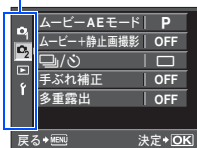
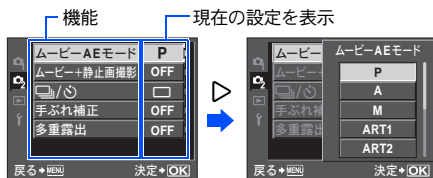
• 再度 **INFO** ボタンを押すとライブコントロール表示に戻ります。

カーソル　選択している機能名表示

## 2 でカーソルを設定したい機能に移動し、メインダイヤルまたはサブダイヤルで設定を変更する

### ダイレクトメニュー

ボタンを押すと、カーソル位置のダイレクトメニューが表示されます。ダイレクトメニューでも設定を変更することができます。設定を変更して ボタンを押すと、設定が確定されます。また、数秒間何も操作しないと設定は確定され、撮影モードに戻ります。

# メニュー

## 1 MENUボタンを押して、メニューを表示する

**MENU**ボタンを押して1つ前に戻る

Ⓞボタンを押して選択肢を決定

## 2 △▽でタブを選択し、▷を押す

## 3 △▽で機能を選択し、▷を押して各設定画面に進む

## 4 Ⓞボタンを押して、設定内容を確定する

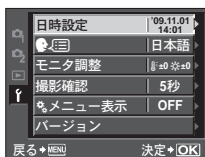
- 繰り返し**MENU**ボタンを押して、メニューを終了します。

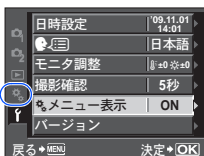
メニューで設定できる機能については、「メニュー一覧」（☞P.141）をご覧ください。

## カスタムメニューを表示するには

カメラの各種設定や操作を撮影者の好みのスタイルにすることができます。カメラのカスタマイズは「カスタムメニュー」で行います。セットアップメニューの[✲ メニュー表示] を[ON]にすると、カスタムメニューが追加されます。
カスタムメニューについては「カスタム機能の設定」（☞P.93）をご覧ください。

**1** **MENUボタンを押して、メニューを表示する**

**2** **△ ▽ で [Y] タブを選択し、▷ を押す**

**3** **△ ▽ で[✲ メニュー表示]を選択し、▷ を押す**

**4** **△ ▽ で[ON]を選択して、OK ボタンを押す**

[✲]タブが表示されます。
✲ カスタムメニュー：
撮影機能をカスタマイズします。

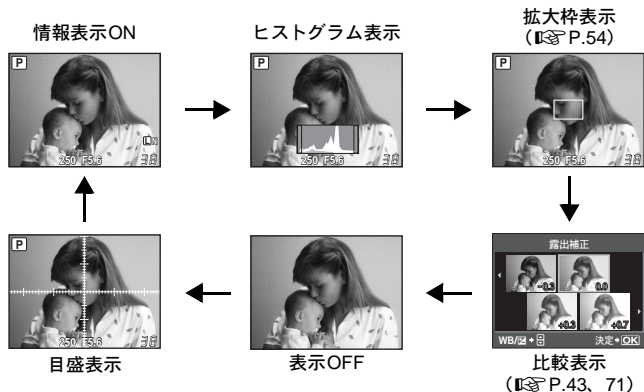
カスタムメニューで行う設定は、撮影者の好みや撮影目的にカメラを合わせるための設定です。頻繁に変更する性質の設定内容ではありません。簡単な撮影から高度な撮影まで、撮影に関する設定は初期メニューの機能で十分可能です。通常はカスタムメニューを表示する必要はありません。

# 液晶モニタ（撮影）

液晶モニタで被写体を表示して確認しながら撮影します。
☞「露出」（P.37）

① 内部温度上昇警告 °C/°F .... ☞P.124
② マイモード ............................ ☞P.98
③ 撮影モード ................. ☞P.10、37-40
④ フラッシュモード .................. ☞P.62
⑤ ISO感度 ................................ ☞P.46
⑥ 測光方式 ................................ ☞P.42
⑦ AF方式 .................................. ☞P.49
⑧ 顔検出 ...................... ☞P.55、101
⑨ フラッシュ補正 ..................... ☞P.63
　 スーパー FP発光 FP ............... ☞P.62
⑩ AEロック AEL ........................ ☞P.44
　 オートブラケット BKT
　 ........................ ☞P.45、47、64、71
　 多重露出 ............................ ☞P.47
　 ホームポジション HP .............. ☞P.53
⑪ シャッター速度 ................. ☞P.37-40
⑫ 絞り値 ............................ ☞P.37-40
⑬ フラッシュ（点滅：充電中、点灯：充電完了）...................................... ☞P.121
⑭ 電池残量
　 点灯（緑）　（撮影できます）
　 点灯（緑）　（電池残量が少なくなっています）
　 点滅（赤）　（充電してください）
⑮ 合焦マーク ........................... ☞P.12
⑯ 仕上がり ............................... ☞P.72
　 アートフィルター／シーン ..... ☞P.11
⑰ ホワイトバランス ................. ☞P.68
⑱ 連写 ...................................... ☞P.56
　 セルフタイマー .................... ☞P.57
⑲ 手ぶれ補正 IS1 IS2 IS3 .......... ☞P.57
⑳ アスペクト比 ........................ ☞P.59
㉑ 画質モード ........................... ☞P.65
㉒ 撮影可能枚数 ...................... ☞P.139
　 録画可能時間
㉓ 露出補正値 ........................... ☞P.43
㉔ ヒストグラム ........................ ☞P.23

## 情報表示の切り換えについて

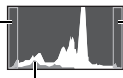
**INFO**ボタンを繰り返し押すか、**INFO**ボタンを押しながらメインダイヤルを回すと、表示される情報を切り換えることができます。

### こんなときは

**よく使う表示にすばやく切り換えたい：**

→「情報表示ON」以外の情報表示を表示しないようにできます。☞「INFO表示設定」（P.101）

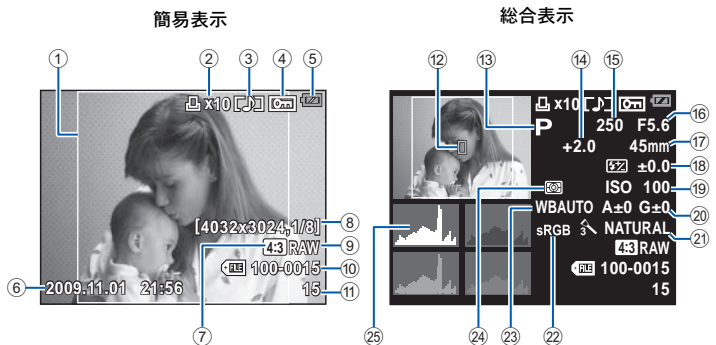
**ヒストグラム（輝度分布）表示について知りたい：**

→ヒストグラム表示の簡単な見かたは次の通りです。

このあたりでグラフに著しく突出した部分が多い場合、画像は黒くつぶれ気味に写ります。

このあたりでグラフに著しく突出した部分が多い場合、画像は白くとび気味に写ります。

ヒストグラムの緑色の部分は、スポット測光エリア内の輝度分布です。

# 液晶モニタ（再生）

**INFO**ボタンを使って表示を切り換えることができます。
☞「情報表示」（P.79）

| | |
|---|---|
| ① アスペクト枠 ☞P.59 | ⑭ 露出補正 ☞P.43 |
| ② プリント予約<br>プリント枚数 ☞P.109 | ⑮ シャッター速度 ☞P.37-40 |
| ③ 録音 ☞P.86 | ⑯ 絞り値 ☞P.37-40 |
| ④ プロテクト（保護） ☞P.87 | ⑰ 焦点距離 ☞P.131<br>（焦点距離は1 mm単位で表示されます。） |
| ⑤ 電池残量 ☞P.22 | ⑱ フラッシュ補正 ☞P.63 |
| ⑥ 日時 ☞P.7 | ⑲ ISO感度 ☞P.46 |
| ⑦ アスペクト比 ☞P.59、85 | ⑳ ホワイトバランス補正値 ☞P.69 |
| ⑧ ピクセルサイズ、圧縮率 ☞P.65 | ㉑ 仕上がり ☞P.72 |
| ⑨ 画質モード ☞P.65 | ㉒ カラー設定 ☞P.105 |
| ⑩ ファイル番号 ☞P.109 | ㉓ ホワイトバランス ☞P.68 |
| ⑪ コマ番号 ☞P.109 | ㉔ 測光方式 ☞P.42 |
| ⑫ AFターゲット表示 ☞P.52 | ㉕ ヒストグラム ☞P.79 |
| ⑬ 撮影モード ☞P.10、37-40 | |

## 本書の表記について

- 本文中の操作ボタンの表記は、カメラ本体上のマークを使用しています。「各部の名称と機能」（☞P.8）をご覧ください。
- 本文中の メインダイヤル は、メインダイヤルを回転させることを表しています。
- 本文中の サブダイヤル は、サブダイヤルを回転させることを表しています。
- 本文中の 十字ボタン は、十字ボタンを表しています。
  △ ▽ ◁ ▷ はそれぞれ十字ボタンの上下左右を表しています。
- 本文中、以下の表記を使用しています。

| | |
|---|---|
| 注意 | 故障やトラブルになるような、重要な注意事項が書かれています。絶対に避けていただきたい操作も書かれています。 |
| こんなときは | 活用するために、知っておくと便利なことや役に立つ情報などが書かれています。 |
| ☞ | 本書での参照先のページを表します。 |

## 本書の記載方法

本文中、ダイレクトボタン、ライブコントロール、スーパーコンパネ、メニューでの操作方法を以下のように表記しています。
•「+」は同時に操作をすることを示しています。
•「▸」は次の操作に進むことを示しています。

例：ホワイトバランスを設定する場合

**ダイレクトボタン**

**WB**

→**WB**ボタンを押す

**ライブコントロール**

**OK ▸ メインダイヤル：[ホワイトバランス]**

→OKボタンを押して、メインダイヤルを回転させて**[ホワイトバランス]**を選択する

**スーパーコンパネ**

**OK ▸ INFO ▸ 十字ボタン：[ホワイトバランス]**

→OKボタンを押して、**INFO**ボタンを押して、十字ボタンで**[ホワイトバランス]**を選択する

**メニュー**

**MENU ▸ [カスタム] ▸ [G] ▸ [WBモード]**

→**MENU**ボタンを押して、**[カスタム]**を選択して、**[G]**を選択して、**[WBモード]**を選択する

# もくじ

## かんたんガイド 2

各部の名称と、撮影・再生の基本を確認しましょう。

撮影前の準備 ........ 2
　同梱品を確認する ........ 2
　カメラを準備する ........ 3
　レンズを取り付ける ........ 5
　電源を入れる ........ 6
　日時を設定する ........ 7
各部の名称と機能 ........ 8
　カメラ ........ 8
基本操作 ........ 10
　モードダイヤル ........ 10
　撮影する ........ 12
　再生する／削除する ........ 14
　ダイレクトボタン ........ 15
　ライブコントロール ........ 16
　スーパーコンパネ ........ 18
　メニュー ........ 20
　液晶モニタ（撮影） ........ 22
　液晶モニタ（再生） ........ 24

## *1* 露出 37

撮影で重要な露出に関する機能の説明です。明るさを測って絞り値やシャッター速度などをどのように決めるかを選びます。

プログラム撮影 ........ 37
絞り優先撮影 ........ 38
シャッター優先撮影 ........ 39
マニュアル撮影 ........ 40
　バルブ撮影 ........ 41
プレビュー機能 ........ 41
測光方式の変更 ........ 42
露出補正 ........ 43
　露出補正を比較しながら撮影する ........ 43
AEロック ........ 44
AEブラケット撮影 ........ 45
ISO感度の設定 ........ 46
ISOブラケット撮影 ........ 47
多重露出撮影 ........ 47

## 2 ピント合わせ／撮影機能 49

撮影する状況や被写体に適切なピント合わせの方法を選びます。


AF方式の選択 ........ 49
S-AF（シングルAF）........ 49
C-AF（コンティニュアスAF）........ 50
MF（マニュアルフォーカス）........ 50
S-AFモードとMFモードの併用（S-AF+MF）........ 51
C-AF＋TR（追尾AF）........ 51
AFターゲットの選択 ........ 52
AFターゲットモードを登録する ........ 53
拡大表示の操作 ........ 54
顔検出機能を使う ........ 55
連写 ........ 56
セルフタイマー撮影 ........ 57
手ぶれ補正 ........ 57
アスペクト比を設定する ........ 59
パノラマ撮影 ........ 60
フラッシュ撮影 ........ 61
フラッシュモードの設定 ........ 62
フラッシュ発光量補正 ........ 63
フラッシュブラケット撮影 ........ 64


## 3 画質／色合い／仕上がり 65

画像の出来上がりを調整する機能について説明します。デジタルカメラに特有の機能です。


画質モードの選択 ........ 65
記録形式 ........ 65
画質モードの設定方法 ........ 66
ホワイトバランスの選択 ........ 68
オート／プリセット／カスタムホワイトバランスの設定 ........ 69
WB補正 ........ 69
ワンタッチホワイトバランスの設定 ........ 70
ホワイトバランスを比較しながら撮影する ........ 71
WBブラケット撮影 ........ 71
仕上がり ........ 72
階調 ........ 73

## 4 ムービー撮影 74

ムービーの撮影方法や機能について説明します。


ムービー撮影 .......... 74
ムービー撮影の設定を変更する .......... 75
　　ムービーに効果をつける .......... 75
　　画質モードの設定方法 .......... 76
　　ムービー撮影中録音する .......... 76
自動的に静止画を撮影する .......... 76


## 5 再生 77

撮影した画像を再生する際に使う機能について説明します。


1コマ再生／クローズアップ再生 .......... 77
インデックス再生／カレンダー再生 .......... 78
情報表示 .......... 79
スライドショー .......... 80
回転再生 .......... 81
ムービー再生 .......... 82
テレビ再生 .......... 83
画像編集 .......... 85
画像合成 .......... 87
画像のプロテクト .......... 87
画像の消去 .......... 88


## 6 セットアップ機能設定 90

カメラを使用する上での基本的な状態を設定します。


セットアップメニュー .......... 90
　　日時設定 .......... 90
　　（言語切り換え） .......... 90
　　モニタ調整 .......... 90
　　撮影確認 .......... 91
　　メニュー表示 .......... 91
　　バージョン .......... 91
設定のリセット .......... 92

## 7 カスタム機能の設定 93

カメラをお好みの状態にカスタマイズします。


AAF/MF ..... 93
AF方式 ..... 93
AFターゲット選択 ..... 93
[···]循環選択 ..... 94
レンズリセット ..... 94
BULB中MF ..... 94
フォーカスリング ..... 94
MFアシスト ..... 94
Bボタン／ダイヤル ..... 95
ダイヤル機能 ..... 95
ダイヤル方向 ..... 95
AEL/AFLモード ..... 96
AEL/AFL MEMO ..... 96
Fnボタン機能 ..... 97
◀ボタン機能 ..... 98
マイモード設定 ..... 98
ボタンON保持時間 ..... 98
AEL/AFL⇄Fn ..... 99
ボタン機能 ..... 99
Cレリーズ ..... 99
レリーズ優先S、レリーズ優先C ..... 99
D表示／音／接続 ..... 99
HDMI ..... 99
ビデオ出力 ..... 100
ビープ音 ..... 100
スリープ時間 ..... 100
USB接続モード ..... 100
LVブースト ..... 101
顔検出 ..... 101
INFO表示設定 ..... 101
音量 ..... 101
水準器 ..... 101
ムービー録音 ..... 102
EVF調整 ..... 102

E 露出／測光／ISO ........ 102
露出ステップ ........ 102
測光 ........ 102
AEL測光モード ........ 102
ISO感度 ........ 102
ISO感度ステップ ........ 103
ISOオート設定 ........ 103
ISOオート有効 ........ 103
BULBリミッター ........ 103
低振動モード[♦] ........ 103
ブラケット撮影 ........ 103
F フラッシュ ........ 104
フラッシュ ........ 104
フラッシュ補正 ........ 104
同調速度 ........ 104
低速制限 ........ 104
+連動 ........ 104
G 画質／色／WB ........ 104
長秒時ノイズ低減 ........ 104
高感度ノイズ低減 ........ 105
WBモード ........ 105
全WBモード補正 ........ 105
カラー設定 ........ 105
シェーディング補正 ........ 105
画質設定 ........ 106
ピクセルサイズ ........ 106
H 記録／消去 ........ 106
ワンプッシュ消去 ........ 106
RAW+JPEG 消去 ........ 106
ファイルネーム ........ 107
ファイルネーム編集 ........ 107
実行優先設定 ........ 107
dpi設定 ........ 108
I その他 ........ 108
ピクセルマッピング ........ 108
露出基準調整 ........ 108
警告レベル ........ 108
水準器調整 ........ 108

## *8* プリントする 109

撮影した画像をプリントする方法について説明します。

プリント予約（DPOF） ........ 109
　　プリント予約とは ........ 109
　　1コマ予約する ........ 110
　　全コマ予約する ........ 111
　　プリント予約を解除する ........ 111
ダイレクトプリント（PictBridge） ........ 112
　　カメラをプリンタに接続する ........ 112
　　かんたんプリントでプリントする ........ 113
　　設定しながらプリントする ........ 113

## *9* OLYMPUS Masterを使う 116

カメラの画像をパソコンに取り込んで保存する方法について説明します。

操作の流れ ........ 116
付属のOLYMPUS Masterを使う ........ 116
　　OLYMPUS Masterとは? ........ 116
カメラをパソコンに接続する ........ 117
OLYMPUS Masterを起動する ........ 118
カメラの画像をパソコンで表示する ........ 118
　　取り込んで保存する ........ 118
　　カメラを取り外す ........ 119
静止画を見る ........ 120
OLYMPUS Masterを使用せずにパソコンに画像を取り込んで保存する ........ 120

## *10* こんなときは?／カメラのお手入れ 121

困ったときやカメラのことがもっと知りたいときにご覧ください。

こんなときは? ........ 121
エラーコード ........ 123
アフターサービス ........ 126
お手入れ ........ 127
　　カメラのお手入れと保管 ........ 127
　　画像処理機能をチェックする―ピクセルマッピング ........ 128

## *11* 資料 129

別売アクセサリーの紹介、カメラの仕様情報を記載しています。撮影の参考にしてください。


カードについて ........ 129
使用できるカード ........ 129
カードを初期化する ........ 129
電池／充電器について ........ 130
海外での使用について ........ 130
交換レンズについて ........ 131
M. ZUIKO DIGITAL用交換レンズ ........ 131
主なM. ZUIKO DIGITALレンズの仕様 ........ 132
電子ビューファインダー（別売）を使う ........ 134
プログラム線図（**P**モード） ........ 135
シャッター速度連動範囲 ........ 135
露出警告表示 ........ 136
撮影モード別使用可能なフラッシュモード ........ 137
ホワイトバランス色温度 ........ 138
画質モードとファイル容量、撮影可能枚数 ........ 139
マイモード・カスタムリセット設定で登録可能な機能 ........ 140
メニュー一覧 ........ 141
仕様 ........ 146
安全にお使いいただくために ........ 149
製品の取り扱いについてのご注意 ........ 149
電池についてのご注意 ........ 151
充電器についてのご注意 ........ 152
使用上のご注意 ........ 153
その他のご注意 ........ 155
お問い合わせいただく前に（お願い） ........ 156
索引 ........ 157

# 撮りたい、知りたいときのもくじ

| 撮　影 | | |
|---|---|---|
| カメラまかせで撮りたい | モードダイヤルをiAUTOに合わせて撮影します。 | P.10 |
| ピントが合わない | フォーカスロックを使用します。 | P.50 |
| | AFターゲットを選択して撮影します。 | P.52 |
| | レンズによって最短撮影距離が異なります。使用しているレンズの最短距離まで被写体から離れて撮影します。 | P.131 |
| | オートフォーカスでピントが合いにくい被写体です。撮影したい位置であらかじめフォーカスロックしておくか、MFで距離を固定して撮影します。 | P.50、P.50、P.122 |
| 狙った一点にピントを合わせたい | AFターゲット選択して、狙ったAFターゲットで撮影します。 | P.52 |
| | 拡大表示で、ピントの確認やMFで調整します。 | P.54 |
| | MFで撮影します。ピント合わせはライブビューで拡大して撮影すると便利です。 | P.50、P.54 |
| 設定した効果を撮影前に確認したい | ライブビューの比較表示画面で、WBまたは露出補正の効果を比較しながら撮影できます。 | P.43、P.71 |
| | プレビューを行うと、絞り込んだ絞り値で被写界深度を確認できます。 | P.41 |
| | **[試し撮り撮影]**をすると、カードに記録することなく撮影画像を液晶モニタで確認できます。 | P.97 |
| 電池を長持ちさせて撮りたい | シャッターボタンの半押しや長時間の再生は電力を消費します。なるべく避けて撮影しましょう。 | — |
| | **[スリープ時間]**を短く設定します。 | P.100 |
| 撮影枚数を増やしたい | ピクセルサイズや圧縮率を低く設定します。 | P.65、P.106 |
| 暗い場所でもフラッシュを使わないで撮りたい | ISO感度を高く設定します。 | P.46 |

| | | |
|---|---|---|
| 白とび／黒つぶれを防ぎたい | ヒストグラムを確認しながら撮影します。 | P.23 |
| | シャッター速度や絞り値の表示を確認しながら撮影します。どちらかが、点滅しているときは適正露出ではありません。 | P.37-39、P.136 |
| | 階調を**[オート]**に設定します。明暗差の大きい被写体でも自動的に調整されます。 | P.73 |
| | 露出補正を調整します。 | P.43 |
| モノクロ撮影したい | **[仕上がり]**を**[モノトーン]**に設定します。白黒のほか、セピア・紫・青・緑のモノクロ画像が撮影できます。 | P.72 |
| | 撮影した画像をモノクロまたはセピアの画像に編集できます。 | P.85 |
| | アートフィルターの**[ラフモノクローム]**に設定します。 | P.11 |
| 逆光時に被写体が暗くならないようにしたい | 階調を**[オート]**に設定します。 | P.73 |
| | スポット測光にして、中央の被写体に合わせて露出を測ります。被写体が中央にない場合は、AEロックをして露出を固定した状態で、構図を変えて撮影します。 | P.42、P.44 |
| 逆光で暗くなってしまった画像を明るくしたい | 撮影した画像は**[JPEG編集]**の**[階調オート]**で調整することができます。 | P.85 |
| 背景をぼかして撮影したい | **A**（絞り優先）モードにして絞り値をできるだけ小さくします。被写体に近づいて撮影すると、さらに背景をぼかした撮影ができます。 | P.38 |
| 被写体の動きを止めて撮影したい／被写体の動きを表現したい | **S**（シャッター速度優先）モードにして撮影します。 | P.39 |
| 正しい色合いで撮影したい | 光源にあわせてホワイトバランスの設定をします。さらに微調整することもできます。 | P.68 |
| | WBブラケット撮影は、1回の撮影で色合いを変えた画像が3～9枚撮影されます。細かい調整を行わなくても好みの色合いで撮影できます。 | P.71 |
| 白いものを白く／黒いものを黒く撮影したい | スポット測光のハイライトコントロール／シャドウコントロールに設定します。被写体が中央にない場合は、AEロックをして露出を固定した状態で、構図を変えて撮影します。 | P.42、P.44 |
| | 露出補正をします。露出補正値に迷うときはAEブラケット撮影が便利です。 | P.43、P.45 |
| | シーンモードを**[ハイキー]**または**[ローキー]**にして撮影します。 | P.11 |

<table>
<tr><td rowspan="2">できるだけノイズ（ざらつき）を抑えた撮影をしたい</td><td>[長秒時ノイズ低減]を[オート]または[ON]に設定します。</td><td>P.104</td></tr>
<tr><td>暗いところでの撮影では、[高感度ノイズ低減]を[強]に設定します。</td><td>P.105</td></tr>
<tr><td rowspan="3">液晶モニタを見やすくしたい</td><td>液晶モニタの明るさを調整します。</td><td>P.90</td></tr>
<tr><td>ライブビュー中は[LVブースト]を[ON]にすると、露出が液晶モニタに反映されず見やすくなります。</td><td>P.101</td></tr>
<tr><td>光学ビューファインダー（別売：VF-1）を使うときに、液晶モニタを消灯したい。</td><td>P.97</td></tr>
<tr><td rowspan="6">手ぶれを防ぎたい</td><td>手ぶれ補正を設定します。</td><td>P.57</td></tr>
<tr><td>カメラをしっかり構えてシャッターボタンを押しましょう。シャッター速度が遅いときは三脚などを使用してカメラを固定してください。</td><td>P.13</td></tr>
<tr><td>別売りのフラッシュを使います。</td><td>P.61</td></tr>
<tr><td>シーンモードを[ぶれ軽減]に設定します。</td><td>P.11</td></tr>
<tr><td>ISO感度を高く設定します。オートに設定しているときは、オートの上限値をより高い値に設定します。</td><td>P.46、<br>P.103</td></tr>
<tr><td>セルフタイマーを使うと、シャッターボタンを押したときの振動を防ぐことができます。</td><td>P.57</td></tr>
<tr><td rowspan="2">水平・垂直を確認しながら撮影したい</td><td>水準器を表示して、カメラの傾きを確認することができます。</td><td>P.101</td></tr>
<tr><td>ライブビューで罫線を表示します。目安となる被写体と罫線が水平垂直になるように、構図を調整します。</td><td>P.23</td></tr>
</table>

| 再　生 | | |
|---|---|---|
| 撮影後に画像を確認したい | **[撮影確認]**の設定をします。画像を表示している秒数を設定できます。 | P.91 |
| 撮影後に画像を確認し、不要な画像をすぐに削除したい | **[撮影確認]**で**[AUTO ▶]**に設定します。撮影後、自動的に再生モードになりますので、1コマ削除をします。 | P.91 |
| ピントが合っているか確認したい | クローズアップ再生をしてピントが合っているか確認します。 | P.77 |
| 目的の画像をすばやく探したい | 4～100コマのインデックス再生で一覧表示して探すことができます。 | P.78 |
| | カレンダー再生で、撮影日から画像を探すことができます。 | P.78 |
| テレビに映して楽しみたい | AVケーブルまたはHDMIミニケーブル（市販品）でテレビに接続して画像を映し出します。スライドショーもできます。 | P.83 |

| 設　定 | | |
|---|---|---|
| 設定した内容を保存したい | **[カスタムリセット設定]**で2通りの設定状態を登録しておくことができます。設定を変更してもリセット操作で、登録した設定状態に戻ります。 | P.92 |
| | **[マイモード設定]**で現在のカメラの設定を2つまで登録しておくことができます。マイモードは**Fn**ボタンに機能を割り当てておくと、撮影時に簡単に呼び出せます。 | P.98 |
| メニューの表示言語を切り換えたい | 表示言語は切り換えることができます。 | P.90 |
| 設定した機能を購入時の設定に戻したいのでリセットしたが、戻らない設定がある | 以下の機能は**[リセット]**を行っても、ご購入時の初期値に戻りません。メニューでそれぞれ設定してください。初期値は「メニュー一覧」（☞P.141）で確認できます。<br>リセット1・2（カスタムリセット）／仕上がり／日時設定／言語設定／モニタ調整／ダイヤル機能／ダイヤル方向／マイモード設定／ビデオ出力／ISOオート有効／WB補正／ファイルネーム編集／dpi設定／露出基準調整／電池警告レベル | P.92、P.140 |

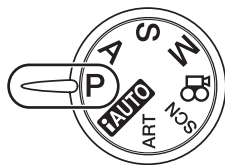
**Web版取扱説明書**

オリンパスホームページにて作例写真を使った撮影テクニックを紹介しています。
http://www.olympus.co.jp/jp/imsg/webmanual/

## プログラム撮影 P

被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定する自動露出モードです。

**モードダイヤルをPにします。**

• シャッター速度と絞り値が表示されます。

### プログラムシフト（Ps）

Pモードのときメインダイヤル（またはサブダイヤル）を回すと、適正露出を維持したまま、絞り値とシャッター速度の組み合わせを変更できます（プログラムシフト）。

☞「プログラム線図（Pモード）」（P.135）

• プログラムシフトは、撮影した後でも解除されません。解除するには、液晶モニタの撮影モード表示**Ps**が、**P**に変わるまでメインダイヤル（またはサブダイヤル）を回します。または、カメラの電源を一度切ります。

• フラッシュ使用時は、プログラムシフトはできません。

***こんなときは***

**シャッター速度と絞り値が点滅している：**

→適正露出が得られません。詳しくは「露出警告表示」（☞P.136）をご覧ください。

# 絞り優先撮影 A

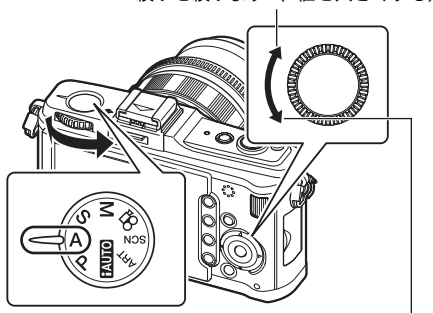
絞り値を設定すると、カメラが適正なシャッター速度を自動的に設定するオート露出モードです。絞りを開く（絞り値の数値を小さくする）ほど、ピントの合う範囲（被写界深度）が狭くなり、背景のボケが強くなります。絞りを絞る（絞り値の数値を大きくする）ほど、ピントの合う範囲が前後に広くなります。背景の描写に変化をつけたいときに、このモードをお使いください。



絞り値（F値）を小さくしたとき

絞り値（F値）を大きくしたとき

**モードダイヤルをAにし、メインダイヤル（またはサブダイヤル）を回して絞り値を設定します。**

絞り値

***こんなときは***

**設定した絞り値での被写界深度を確認したい：**

→「プレビュー機能」（☞P.41）をご覧ください。

**露出の調整間隔を変更したい：**

→1/3EV、1/2EV、1EVステップに変更できます。☞「露出ステップ」（P.102）

**シャッター速度が点滅している：**

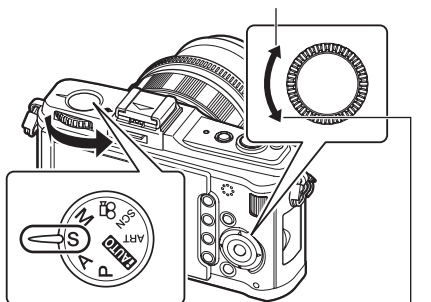
→適正露出が得られません。詳しくは「露出警告表示」（☞P.136）をご覧ください。

# シャッター優先撮影 S

シャッター速度を設定すると、カメラが適正な絞り値を自動的に設定するオート露出モードです。シャッター速度を速くして動きの中の一瞬をとらえたり、シャッター速度を遅くして躍動感を表現することができます。目的に応じて、シャッター速度を設定してください。

シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でも止まっているように撮影されます。

シャッター速度を遅くすると、動いているものはぶれて撮影されます。このぶれが躍動感や動きのある仕上がりになります。

**モードダイヤルをSにし、メインダイヤル（またはサブダイヤル）を回して、シャッター速度を設定します。**

***こんなときは***

**画像がぶれる：**

→近接撮影や超望遠撮影では、画像がぶれやすくなります。シャッター速度をより速く設定するか、一脚や三脚のご使用をおすすめします。

→シャッター速度が遅いときには手ぶれしやすくなります。手ぶれ補正を使って手ぶれを抑えることができます。☞「手ぶれ補正」(P.57)

**露出の調整間隔を変更したい：**

→1/3EV、1/2EV、1EVステップに変更できます。☞「露出ステップ」(P.102)

**絞り値が点滅している：**

→適正露出が得られません。詳しくは「露出警告表示」(☞P.136)をご覧ください。

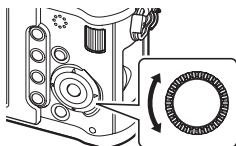
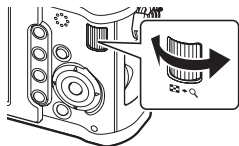
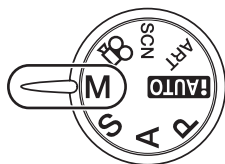
# マニュアル撮影 M

絞り値とシャッター速度を自分で設定します。適正露出との差は露出レベルインジケータで確認できます。このモードでは、適正露出にとらわれることなく、独自の撮影意図を反映することができます。



**モードダイヤルをMにし、ダイヤルを回して設定します。**

絞り値：サブダイヤルを回して設定します。

シャッター速度：メインダイヤルを回して設定します。

- 絞りの設定範囲はレンズにより異なります。
- シャッター速度は1/4000～60秒および**[BULB]**（バルブ）に設定できます。

**画像のノイズについて**

長秒時の撮影では、画面にノイズが多く発生する場合があります。これは撮像素子の温度上昇や、撮像素子内部の駆動回路が熱源となり、本来撮像素子に光のあたっていない部分にも電流を発生させてしまうためです。この現象は、高温の環境でISO感度を上げたり、長秒時の露出で顕著に現れます。これらのノイズを軽減するために、このカメラは長秒時ノイズ低減が働きます。
☞「長秒時ノイズ低減」（P.104）

***こんなときは***

**画像がぶれる：**

→シャッター速度を遅くして撮影するときは、一脚や三脚のご使用をおすすめします。
→シャッター速度が遅いときには手ぶれしやすくなります。手ぶれ補正を使って手ぶれを抑えることができます。☞「手ぶれ補正」（P.57）

**露出の調整間隔を変更したい：**

→1/3EV、1/2EV、1EVステップに変更できます。☞「露出ステップ」（P.102）

**メインダイヤルとサブダイヤルの操作を入れ換えたい：**

→ダイヤルで設定する機能を入れ換えることができます。
☞「ダイヤル機能」（P.95）

**注意**

- **M**モードでは、露出補正はできません。

## バルブ撮影

シャッターボタンを押している間露光し続けるバルブ撮影を行います。

**Mモードでシャッター速度を[BULB]に設定します。**
• **[BULB]**と表示されます。

***こんなときは***

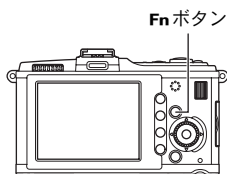
**一定時間経過後、バルブ撮影が自動で終了するようにしたい：**
→バルブ撮影の最長時間を設定できます。☞「BULBリミッター」（P.103）
**MFで撮影中にピントが動かないようにしたい：**
→露光中にフォーカスリングを回してもピントが動かないようにすることができます。☞「BULB中MF」（P.94）

**注意**
• バルブ撮影中は、以下の機能は使用できません。
連写／セルフタイマー撮影／AEブラケット撮影／手ぶれ補正／フラッシュブラケット

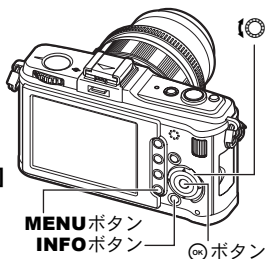
# プレビュー機能

実際に絞りを動作させて、設定されている絞り値まで絞りこみ、ピントの合っている範囲（被写界深度）を液晶モニタで確認することができます。
**Fn**ボタンを押してプレビュー機能が働くように、あらかじめメニューで**Fn**ボタンの機能を設定しておく必要があります。☞「Fnボタン機能」（P.97）

**Fnボタンを押すと、設定された絞り値まで絞り込まれます。**

1
露出

# 測光方式の変更

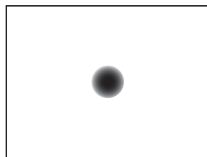
このカメラはデジタルESP測光、中央重点平均測光、スポット測光など5つの測光方式を備えています。撮影するシーンに応じて選択してください。

| | |
|---|---|
| *ライブコントロール* | OK ▸ ダイヤル：[測光] |
| *スーパーコンパネ* | OK ▸ INFO ▸ 十字ボタン：[測光] |
| *メニュー* | MENU ▸ [カスタム] ▸ [露出] ▸ [測光] |

**デジタルESP測光**
画面を324分割測光し、それぞれの輝度、輝度差などを考慮して露出を演算します。通常はこのモードをおすすめします。

**中央重点平均測光**
画面の中央部に重点を置いて、画面全域を平均測光します。周辺部の輝度を露出に影響させたくないときに使います。

**スポット測光**
画面中央の狭い範囲を測光します。デジタルESP測光で補正しきれないような強い逆光シーンなどに適しています。

：測光範囲

**HI スポット測光ハイライトコントロール**
測光したポイントの露出がオーバーになるように設定します。白い被写体を白く表現したいときに使います。
測光範囲はスポット測光と同じです。

**SH スポット測光シャドウコントロール**
測光したポイントの露出がアンダーになるように設定します。黒い被写体を黒く表現したいときに使います。測光範囲はスポット測光と同じです。

# 露出補正

撮影する被写体によっては、カメラが自動的に設定した露出を補正したほうがよいときがあります。通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、+に補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆に–に補正すると効果的です。他の露出補正機能と合わせて±3.0EVの範囲で補正できます。

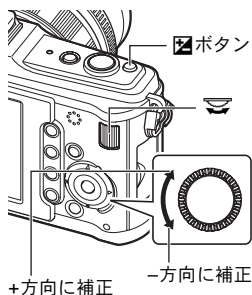
## ダイレクトボタン

**こんなときは**

**露出の調整間隔を変更したい：**

→1/3EV、1/2EV、1EVステップに変更できます。
「露出ステップ」（P.102）

**ダイヤルの操作だけで露出補正をしたい：**

→ボタンを押さないで露出補正が設定できるようにできます。
「ダイヤル機能」（P.95）

**注意**

- **M**、**SCN**モードでは、露出補正はできません。

## 露出補正を比較しながら撮影する

4分割された画面上で露出補正の効果を比較しながら撮影することができます。

**1 INFOボタンを繰り返し押して、比較表示画面を表示します。**

「情報表示の切り換えについて」（P.23）

- ホワイトバランスの比較画面が表示される場合は、△を押すと露出補正の比較画面になります。△▽を押して切り換えます。

**2 ◁▷またはダイヤルで設定値を選択し、OKボタンを押します。**

- 選択した設定値で、撮影できる状態になります。

**注意**

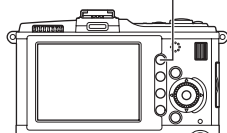
- **M**モードでは露出補正の設定はできません。
- **iAUTO**、**ART**および**SCN**モードではこの機能は使用できません。

# AEロック AEL

**AEL/AFL**ボタンを使用すると、測光して検出した露出値を固定（AEロック）できます。露出を撮影する構図とは別に決めたいときに使います。
通常は、シャッターボタンの半押しでAF（ピント）とAE（露出値）の両方が固定されますが、**AEL/AFL**ボタンを押して露出のみを固定することができます。



**測光値を固定したいところでAEL/AFLボタンを押すと、露出が固定されます。AEL/AFLボタンを押している間は露出が固定されるので、そのままシャッターボタンを押します。**

- **AEL/AFL**ボタンを離すと、AEロックが解除されます。

*こんなときは*

**露出を固定したい：**

→**AEL/AFL**ボタンから指を離しても、測光した状態を固定することもできます。
☞「AEL/AFL MEMO」（P.96）

**決まった測光方式でAEロックしたい：**

→AEロックで露出を固定するときの測光方式を設定しておくことができます。
☞「AEL測光モード」（P.102）

# AEブラケット撮影

1コマごとに自動的に露出を変えて撮影します。露出をどの程度変化させるか（露出量と補正ステップ）を設定できるので、逆光や夕景などの適正露出を得にくい条件や露出補正量に迷ったときでも、気に入った一枚を残すことができます。適正～–補正～+補正の順に撮影されます。

例）BKT設定が**[3F 1.0EV]**の場合

-1.0EV

±0

+1.0EV

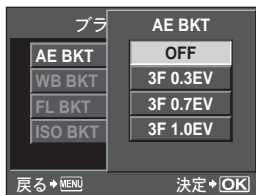
**補正量：0.3・0.7・1.0**

- 補正量は露出ステップを変更すると変わります。☞「露出ステップ」（P.102）

**撮影枚数：3枚**

***メニュー*** **MENU ▶ [⚙] ▶ [📷] ▶ [ブラケット撮影] ▶ [AE BKT]**

**撮影します。**

- 単写モードでは、シャッターボタンを全押しするごとに、露出を変えて撮影します。
- 連写モードでは、設定した撮影枚数を撮り終えるまで、シャッターボタンを全押しし続けます。
- シャッターボタンから指を離すと、ブラケット撮影が一時中断されます。一時中断したときは**BKT**が緑で表示されます。

**撮影モードによる補正の方法**

設定している撮影モードによって、AEブラケット撮影で補正される方法が異なります。

**P**モード：絞り値とシャッター速度
**A**モード：シャッター速度
**S**モード：絞り値
**M**モード：シャッター速度

***こんなときは***

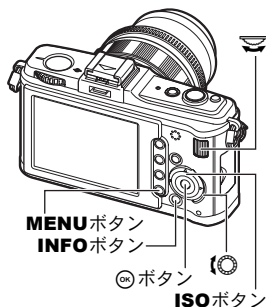
**補正した露出を中心にAEブラケット撮影をしたい：**

→露出補正値を設定した状態で、AEブラケットを設定してください。すでに補正されている値を中心としてAEブラケット撮影が行われます。

# ISO感度の設定 ISO

ISO感度は数値が大きいほどより暗いところでの撮影が可能になりますが、感度が高くなるにつれて画像のノイズ（ざらつき）が大きくなります。通常はノイズと階調のバランスがもっともとれているISO200をお勧めします。
より遅いシャッター速度や絞りを開放したいときは、ISO100をお使いください。



| | |
|---|---|
| *ダイレクトボタン* | **ISO** |
| *ライブコントロール* | Ⓞ ▶ ⟳ : **[ISO感度]** |
| *スーパーコンパネ* | Ⓞ ▶ **INFO** ▶ ✥ : **[ISO感度]** |
| *メニュー* | **MENU** ▶ [✿] ▶ [▣] ▶ **[ISO感度]** |

**[オート]** ：撮影状況に応じて自動的に感度が変わります。**[ISOオート設定]**で、基準値（適正露出が得られる撮影状況で通常使用する値）と上限値（自動的に変わる感度の上限値）を設定できます。☞「ISOオート設定」（P.103）

**[100～6400]** ：ISO 感度を固定します。ISO ステップは1/3EVまたは1EVステップで設定します。☞「ISO感度ステップ」（P.103）

*こんなときは*

**Mモードでも自動的に適正ISOになるようにしたい：**

→通常、**M**モードではオートの設定は使用できませんが、すべての撮影モードで使えるようにできます。☞「ISOオート有効」（P.103）

# ISOブラケット撮影

撮影時のシャッター速度と絞り値を固定したまま、ISO感度を自動的に変えてブラケット撮影します。1回の撮影で露出の異なる3枚の画像が、設定したISO感度（オート設定時は適正ISO）～–補正～+補正の順に記録されます。

**補正量：0.3・0.7・1.0**

• ISOステップの設定に関わらず、補正量は1/3EVステップになります。

**撮影枚数：3 枚**

*メニュー* **MENU ▸ [✿] ▸ [▣] ▸ [ブラケット撮影] ▸ [ISO BKT]**



**注意**

• **[ISOオート設定]**で設定した上限値とは関係なくブラケット撮影が行われます。

# 多重露出撮影

複数コマの画像を重ねて合成し、1つの画像として保存します。保存時に設定されている画質モードで保存されます。
撮影をしながら合成する方法と、撮影した画像を再生モードで合成する方法の2種類があります。

**多重露出**

撮影モードで、2コマの撮影画像を重ねて合成し、1つの画像として保存します。すでに保存されているRAW形式の画像に撮影画像を重ねて合成することもできます。

**[コマ数]**：**[2コマ]**に設定します。
**[自動ゲイン補正]**：**[ON]**に設定すると、各コマの明るさを1/2にしてから合成します。**[OFF]**に設定すると、各コマの明るさのままで合成します。
**[再生画+多重]**：**[ON]**に設定すると、カードに記録されたRAW形式の画像に重ねて多重露出撮影ができます。撮影回数は1回です。撮影した画像は別の画像として保存されます。

**画像合成**

再生モードで、最大3コマのRAW形式の画像を重ねて合成し、1つの画像として保存します。☞「画像合成」（P.87）

*メニュー* **MENU ▸ [◘₂] ▸ [多重露出]**

**設定中の表示**

• 多重露出を設定すると▣が表示されます。一コマ目を撮影した後は▣が緑で表示されます。

*こんなときは*

**撮影途中の画像を取り消したい：**

→ 🗑ボタンを押すと、直前に撮影した画像が取り消されます。

**1コマずつ構図を確認しながら多重露出撮影したい：**

→ 途中の合成画像が半透過で表示されるので、合成位置を確認しながら撮影できます。

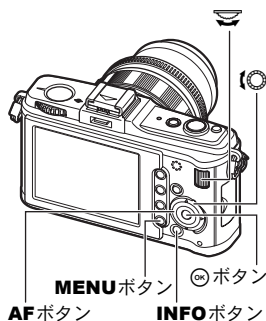


**注意**

- 多重露出を設定すると、自動的に**[スリープ時間]**は**[OFF]**に設定されます。
- 他のカメラで撮影したRAW形式の画像は、撮影画像を合成できません。
- **[再生画+多重]**を**[ON]**に設定し、RAW形式の画像を選択するときに表示される画像は、撮影時の設定で現像されたものです。
- 撮影に関する設定は、多重露出撮影を解除してから行ってください。一部設定できない機能があります。
- 次の場合は1枚目以降の多重露出が自動的に解除されます。
  電源を切る／▶ボタンを押す／**MENU**ボタンを押す／**P**/**A**/**S**/**M**以外の撮影モードにする／レンズ取り外しボタンを押す／電池残量がなくなる／USBケーブル、AVケーブルおよびHDMIミニケーブルの挿入／液晶モニタと電子ビューファインダーとの表示切換
- 多重露出撮影の1コマ目の情報が、撮影情報として表示されます。
- **[再生画+多重]**でRAW形式の画像を選択するとき、JPEG+RAWで記録した画像はJPEG画像が表示されます。
- 多重露出撮影とブラケット撮影を併用する場合は、多重露出撮影の動作が優先されます。合成した画像を保存中、ブラケット撮影は初期状態にリセットされます。

## AF方式の選択 AF

フォーカスモードにはS-AF、C-AF、MFの3つのモードがあります。
S-AFとMFを組み合わせたり、C-AFと自動追尾を組み合わせて撮影することもできます。

| | |
|---|---|
| *ダイレクトボタン* | **AF** |
| *ライブコントロール* | OK ▶ ◎ : [AF方式] |
| *スーパーコンパネ* | OK ▶ **INFO** ▶ ◈ :[AF方式] |
| *メニュー* | **MENU** ▶ [✻] ▶ [A] ▶ [AF方式] |

### S-AF（シングルAF）

シャッターボタンを半押ししたときに1回のピント合わせ動作をします。
ピントがうまく合わなかったときは、シャッターボタンを離してもう一度半押ししてください。静物や動きの激しくない被写体を撮影するのに適しています。

**シャッターボタンを半押しします。**
- ピントが固定され、液晶モニタの合焦マークが点灯します。
- ピピッと、ピントが合ったことを知らせる音がします。

*こんなときは*

**AF方式をすばやくMFモードに切り換えたい：**

→ **Fn**ボタンに**[MF切換]**を登録すると、**Fn**ボタンを押すだけでMFモードに切り換えられます。☞「Fnボタン機能」（P.97）

**ピントが合わない状態でも撮影できるようにしたい：**

→「レリーズ優先S、レリーズ優先C」（☞P.99）をご覧ください。

### ピントを固定してから構図を決めて撮影する（フォーカスロック）

フォーカスロックのまま撮影したい構図にして、シャッターボタンを押し込んで撮影します。
- 合焦マークが点滅したときは、ピントが合っていません。もう一度やり直してください。

例）中央の AF ターゲットでピント合わせをする場合

## C-AF（コンティニュアスAF）

シャッターボタンを半押ししている間、ピント合わせの動作を繰り返します。撮影距離が絶えず変化する被写体の撮影に適しています。

**シャッターボタンを半押しし続けます。**
- 被写体にピントが合い、固定されると合焦マークが点灯します。
- ピントが合ってもAFターゲットは点灯しません。
- カメラはピント合わせの動作を繰り返し、被写体が移動したり構図を変えても、ピントを追います。
- ピピッと、ピントが合ったことを知らせる音がします。3回目のAFからは、ピントが合っても音はしません。
- フォーサーズマウント規格レンズではS-AFで動作します。

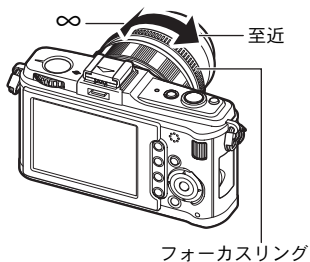
## MF（マニュアルフォーカス）

任意の位置に手動でピントを合わせることができます。

**フォーカスリングを使って、ピントを合わせます。**
- フォーカスリングを回すと自動的に拡大表示になります。拡大表示しないようにもできます。☞「MFアシスト」（P.94）

**こんなときは**

**フォーカスリングの回転方向を変えたい：**

→フォーカスリングの回転方向を選択し、ピントの移動方向を切り換えることができます。☞「フォーカスリング」（P.94）

## S-AFモードとMFモードの併用（S-AF+MF）

S-AFモードでAFした後に、フォーカスリングを回してマニュアル操作でピントを微調整できます。

- シャッターボタンを半押ししてAFが合ったら、フォーカスリングを回してピントの微調整をします。

**注意**

- フォーカスリングで微調整した後でシャッターボタンを押しなおすと、AFが作動し、微調整はキャンセルされます。

## C-AF＋TR（追尾AF）

シャッターボタンの半押しでAFした被写体を、半押ししている間追尾してピント合わせの動作を繰り返します。動きのある被写体の撮影に適しています。

**シャッターボタンを半押しし続けます。**

- 被写体にピントが合い、固定されると、合焦マークが点灯します。
- カメラはピント合わせを続け、被写体が移動したり構図を変えても、ピントを追います。
- フォーサーズマウント規格レンズではS-AFで動作します。
- **[顔検出]**が**[ON]**のときは、顔を中心に追尾します（オールターゲットAFモード時）。

***こんなときは***

**追尾が外れたとき：**

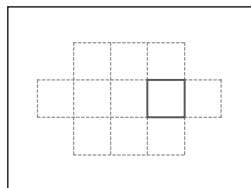
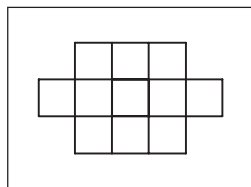
→追尾被写体を見失ったときはAFターゲットが赤く表示されます。シャッターボタンを離して、もう一度被写体に合わせてシャッターボタンを半押ししてください。

# AFターゲットの選択

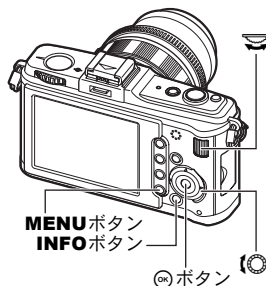
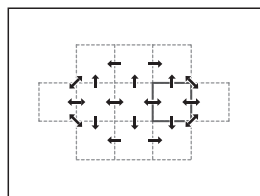
このカメラは、オートフォーカスで被写体にピントを合わせるためのAFターゲットが11点あります。被写体や構図にあわせて最適なAFターゲットモードを選択して撮影します。
AFターゲットモードは、すべてのAFターゲットを使ってAFを行う「オールターゲットAFモード」と、選択した1点を中心にAFを行う「シングルターゲットAFモード」があります。



**[:::::]オールターゲットAFモード**
11点のAFターゲットの中からカメラが自動的にピント合わせをします。ピント合わせをカメラまかせにして撮影するときに適しています。

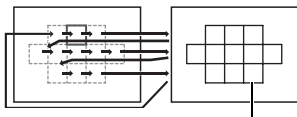
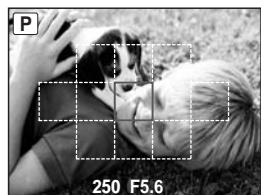
**[・]シングルターゲットAFモード**
選択した1つのAFターゲットでピント合わせをします。構図を決めて正確にピント合わせをしたいときに便利です。

*ライブコントロール* OK ▶ ダイヤル：[AFターゲット選択]

*スーパーコンパネ* OK ▶ INFO ▶ 十字ボタン：[AFターゲット選択]

*メニュー* MENU ▶ [カスタム] ▶ [AF] ▶ [AFターゲット選択]

• 現在設定しているAFターゲットが点灯します。
**[・]**の場合は、その状態から使用するAFターゲットを選択できます。操作については、次項「AFターゲットのモードと位置を選択する」（☞P.53）の手順2をご覧ください。

### AFターゲットのモードと位置を選択する

AFターゲットモードを選択します。また、シングルターゲットAFモードで使用するAFターゲットを選択します。

**1** **[AFターゲット選択]で[・]を選択すると、AFターゲットのモードと位置を選択できる状態になります。**

**2** **メインダイヤルとサブダイヤル、または十字ボタンを操作して、AFターゲットを選択します。**

[:::::]に設定されます。

*こんなときは*

**十字ボタンだけでAFターゲットの位置を選択したい：**

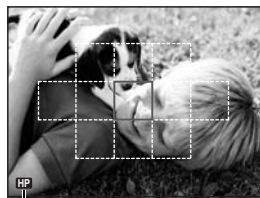
→十字ボタンを押してAFターゲットの位置を変更することができます。☞「ボタン機能」（P.99）

## AFターゲットモードを登録する

よく使うAFターゲットモードと、そのAFターゲットの位置を登録しておくことができます。登録した状態（ホームポジションと呼びます）を瞬時に呼び出して撮影することができます。

### 登録する

**1** **「AFターゲットのモードと位置を選択する」（☞P.53）の手順2の画面で、Fnボタンと⊠ボタンを同時に押します。**

- ボタンを押したときの状態でホームポジションが登録されます。
- メニューから操作した場合はホームポジションの登録はできません。

登録中であることを示します。

### 撮影する

この機能を使うには、あらかじめFnボタンに**[[▪▪▪]HOME]**機能を割り当てておきます。☞「Fnボタン機能」（P.97）

**1** **Fnボタンを押します。**

- 登録したホームポジションになります。再度押すと、元のAFターゲットモードに戻ります。

# 拡大表示の操作

被写体を拡大して、表示することができます。画像を拡大してピントの確認やMFで調整をするのに便利です。

**1 INFOボタンを繰り返し押して、拡大枠表示画面を表示します。**

☞「情報表示の切り換えについて」（P.23）

- 拡大枠が表示されます。
- この状態でシャッターボタンを半押しすると、AF ターゲットの設定にかかわらず拡大枠でピント合わせをします。

**2 で枠を移動し、ボタンを押します。**

- 枠の部分が拡大表示されます。
- この状態でシャッターボタンを半押しすると、拡大したままピント合わせをします。
- ボタンを長押しすると、移動した拡大枠は中央に戻ります。

**3 サブダイヤルを回して、倍率（7倍／10倍）を切り換えます。**

- 拡大表示中もでスクロールすることができます。
- ボタンを押すと、拡大表示は解除されます。

# 顔検出機能を使う

**[顔検出]**を**[ON]**にすると、画面の範囲内から人物の顔を検出し、ピント合わせや測光の調整を自動的に行います。

| | |
|---|---|
| *ダイレクトボタン* | **Fn（押すたびにON/OFFが切り換わります。）** |
| *ライブコントロール* | **OK ▶ ◎：[顔検出]** |
| *スーパーコンパネ* | **OK ▶ INFO ▶ ✥ ▶ [顔検出]** |
| *メニュー* | **MENU ▶ [✲] ▶ [D] ▶ [顔検出]** |

- **Fn** ボタンを使うには、あらかじめメニューで**[フェイス&バック]**を設定しておく必要があります。☞「Fnボタン機能」（P.97）
- **Fn** ボタンを使って**[顔検出]**を**[ON]**に設定すると、以下の機能が人物撮影に最適な設定に自動的に切り換わります。
  - 測光：[ESP]........................... ☞P.42
  - 階調：オート....................... ☞P.73
  - AF方式：S-AF.................... ☞P.49
  - AFターゲット選択：[:::::] ..... ☞P.52

## 1 カメラが顔を検出すると、その位置に枠が表示されます。

- シャッターボタンを押すと、検出された枠の位置でピントを合わせます（**[AFターゲット選択]**で**[・]**を選択しているときは、その位置でピント合わせをします）。

## 注意

- 連写中は最初の1コマのみ顔検出機能が働きます。
- 被写体によっては、顔が検出できないことがあります。

2
ピント合わせ／撮影機能

# 連写

単写□　一度のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます（通常の撮影モード、1コマ撮影）。

連写□　シャッターボタンを押している間、約3コマ／秒で連続撮影できます（S-AF、MF時）。

- 連写のときは、シャッターボタンを全押ししている間は連写が続きます。指を離すと連写は止まります。
- ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます（S-AF、MF時）。



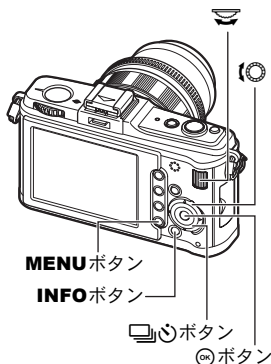
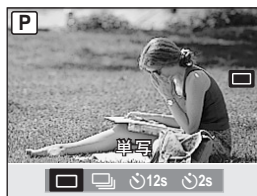
**注意**

- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。

***ダイレクトボタン***　□

***ライブコントロール***　OK ▶ ◎：[□]

***スーパーコンパネ***　OK ▶ **INFO** ▶ ✥：[□]

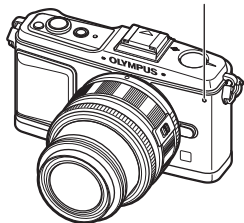
- 低振動モードが設定されている場合は、◆マークが付いた**[セルフタイマー]**、**[連写]**、**[単写]**が表示されます。☞「低振動モード[◆]」（P.103）

## セルフタイマー撮影

シャッターボタンを押してから、12秒後にシャッターが切れるセルフタイマーと、2秒後にシャッターが切れるセルフタイマーがあります。セルフタイマー撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定してください。
設定方法は「連写」（☞P.56）をご覧ください。

**シャッターボタンを全押しします。**

- **12s**の場合：セルフタイマーランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、撮影されます。
- **2s**の場合　：セルフタイマーランプが約 2 秒間点滅した後、撮影されます。
- 作動中のセルフタイマーを中止するには、ボタンを押します。

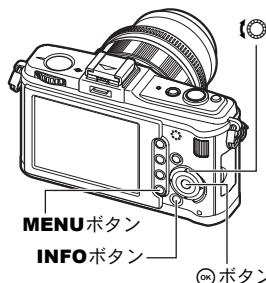
**注意**

- カメラの前でシャッターボタンを押さないでください。ピント合わせはシャッターボタンを半押ししたときに行われるので、カメラの前に立ってシャッターボタンを押すとピントがぼける原因になります。

## 手ぶれ補正

被写体が暗い場面や、高倍率撮影などで起きやすい手ぶれを抑えることができます。

**OFF**　手ぶれを補正しません。
**I.S. 1**　手ぶれを補正します。
**I.S. 2**　カメラの横方向の流し撮りをするときに使います。横方向の手ぶれ補正機能を停止し、縦方向の手ぶれのみ補正します。
**I.S. 3**　カメラの縦方向の流し撮りをするときに使います。縦方向の手ぶれ補正機能を停止し、横方向の手ぶれのみ補正します。

| | |
|---|---|
| *ライブコントロール* | OK ▶ ：**[手ぶれ補正]** |
| *スーパーコンパネ* | OK ▶ **INFO** ▶ ：**[手ぶれ補正]** |
| *メニュー* | **MENU** ▶ **[2]** ▶ **[手ぶれ補正]** |

2
ピント合わせ／撮影機能

**焦点距離の設定について**

レンズの焦点距離をあらかじめ設定することで、マイクロフォーサーズ／フォーサーズシステム以外のレンズでも手ぶれ補正機能を使うことができます。マイクロフォーサーズ／フォーサーズシステム装着時は、この設定は無効です。

**1** **手ぶれ補正設定中に⊠ボタンを押します。**

**2** **サブダイヤルで焦点距離を設定し、Ⓞを押します。**

**設定可能な焦点距離**

| 8mm | 10mm | 12mm | 16mm | 18mm | 21mm | 24mm | 28mm | 30mm | 35mm |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 40mm | 48mm | 50mm | 55mm | 65mm | 70mm | 75mm | 80mm | 85mm | 90mm |
| 100mm | 105mm | 120mm | 135mm | 150mm | 180mm | 200mm | 210mm | 250mm | 300mm |
| 350mm | 400mm | 500mm | 600mm | 800mm | 1000mm | | | | |

• ご使用のレンズの焦点距離が表にない場合は、最も近い値を選択してください。

**注意**

• 手ぶれが大きすぎるときやシャッター速度が極端に遅い場合、手ぶれが補正しきれないことがあります。このときは三脚を使用して撮影してください。
• 三脚使用時は**[手ぶれ補正]**を**[OFF]**に設定してください。
• 手ぶれ補正機能付きのレンズを使用している場合は、レンズまたはカメラのいずれかの手ぶれ補正機能をオフにしてください。
• 手ぶれ補正を**[I.S.1]**／**[I.S.2]**／**[I.S.3]**に設定している場合、電源を切ったときにカメラが振動します。これは手ぶれ補正機構の初期化動作です。
• 手ぶれ補正が作動していると、作動音や振動を感じることがあります。
• 液晶モニタの手ぶれ補正アイコンが赤く点滅したときは、手ぶれ補正機能の故障です。その状態で撮影すると、構図がずれることがあります。当社修理センターまたはサービスステーションにご相談ください。
• 2秒を超えるシャッター速度では、手ぶれ補正は作動しません。
• カメラの内部温度が所定温度を超えると手ぶれ補正は停止し、液晶モニタの手ぶれ補正アイコンが赤く点灯します。

# アスペクト比を設定する

撮影時のアスペクト比（横 × 縦）を変更します。撮影目的に応じた縦横比を**[4:3]**（基準）/**[16:9]**/**[3:2]**/**[6:6]**から選びます。JPEG形式の画像は、アスペクト比に応じてトリミングされて保存されます。

| | |
|---|---|
| *ライブコントロール* | OK ▶ ◎ ：**[アスペクト]** |
| *スーパーコンパネ* | OK ▶ **INFO** ▶ ✥ ：**[アスペクト]** |
| *メニュー* | **MENU** ▶ **[📷1]** ▶ **[アスペクト比設定]** |

**注意**

- RAW 画像はトリミングされずに、撮影時のアスペクト比情報が付加された状態で記録されます。
- RAW画像再生時は、アスペクト比に応じた枠が表示されます。

*こんなときは*

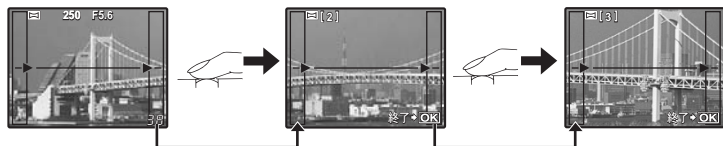
**撮影した画像のアスペクト比を変更したい：**

→画像のアスペクト比が**[4:3]**の場合のみ、アスペクト比変換が可能です。
☞「画像編集」（P.85）

**撮影した画像をトリミングしたい：**

→画像のアスペクト比が**[4:3]**の場合のみ、トリミングが可能です。
☞「画像編集」（P.85）

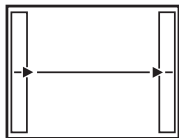
# パノラマ撮影

パノラマ撮影を簡単に楽しむことができます。被写体の端が重なるように撮影した何枚かの画像を、OLYMPUS Master（付属のCD-ROM）でつなぎ合わせ、1枚のパノラマ合成画像を作成することができます。
最大10枚までパノラマ撮影が可能です。

- 重なり合う画像の共通部分には、できるだけ目印となる被写体を入れて撮影してください。

**1 モードを設定します。** ☞「アートフィルター／シーンの設定方法」（P.11）

**2 ✥でつなげる方向を指定し、被写体の端が重なるように撮影します。**

▷：次の画像を右につなげます。
◁：次の画像を左につなげます。
△：次の画像を上につなげます。
▽：次の画像を下につなげます。

- 被写体が重なるように構図を変えながら撮影します。
- ピント、露出などは1枚目で決定されます。
- 10枚撮り終わると ✋（警告）マークが表示されます。
- 1コマ目の撮影前にⓄⓀボタンを押すと、シーンモードの選択メニューに戻ります。
- 撮影の途中で ⓄⓀ ボタンを押すと、一連のパノラマ撮影を終了し、続けて次のパノラマ撮影ができます。

**注意**

- パノラマ撮影時には、前に撮影した位置合わせ用の画像は残りません。画像に表示される枠や目印となる被写体を目安に、重なり合う画像の端が枠の中に重なるように構図を設定してください。

# フラッシュ撮影

このカメラはフラッシュを内蔵していません。フラッシュ撮影には別売の専用フラッシュが必要です。
専用フラッシュの取扱説明書も合わせてご覧ください。

**専用フラッシュの機能比較**

| 専用フラッシュ | FL-50R | FL-36R | FL-20 | FL-14 | RF-11 | TF-22 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 調光モード | TTL-AUTO, AUTO, MANUAL, FP TTL AUTO, FP MANUAL | | TTL-AUTO, AUTO, MANUAL | | TTL-AUTO, MANUAL | |
| GN（ガイドナンバー）（ISO100時） | GN50（85 mm*時）GN28（24 mm*時） | GN36（85 mm*時）GN20（24 mm*時） | GN20（35 mm*時） | GN14（28 mm*時） | GN11 | GN22 |

* カバーできるレンズ焦点距離（35 mmフィルムカメラ換算）

## 専用フラッシュを使った撮影

フラッシュの電源は、必ずフラッシュをカメラに取り付けてから入れてください。

**1 ホットシューカバーを図の矢印の向きにスライドさせて外します。**
- ホットシューカバーはなくさないように保管し、専用フラッシュを取り外した後は再度はめ込んでください。

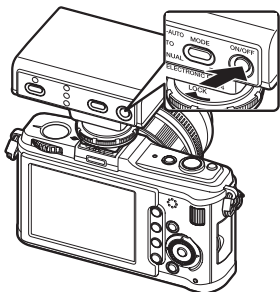
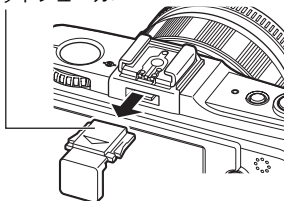
**2 専用フラッシュをカメラのホットシューに取り付けます。**

**3 フラッシュの電源を入れます。**
- フラッシュの充電ランプが点灯したら充電完了です。
- フラッシュの同調速度は1/180秒以下です。

**4 フラッシュモードを選択します。**
☞「フラッシュモードの設定」（P.62）

**5 フラッシュの調光モードを選択します。**
- 通常は TTL-AUTO の使用をおすすめします。

**6 シャッターボタンを半押しします。**
- カメラ・フラッシュ間で、ISO感度・絞り・シャッター速度などの撮影情報の通信が行われます。

**7 シャッターボタンを全押しします。**

- スーパー FP発光
  専用フラッシュ FL-50RやFL-36Rではスーパー FP発光が可能です。通常はフラッシュが使用できない高速のシャッター速度でも、フラッシュを発光させて撮影できます。屋外のポートレート撮影など開放絞りで日中シンクロ撮影が行えます。詳しくは専用フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

## フラッシュモードの設定 ϟ

発光パターンや発光タイミングなど、目的に合わせたフラッシュモードを設定します。設定可能なフラッシュモードは、露出モードによって異なります。



### オート発光 AUTO

暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
逆光で撮影するときは、撮りたいものにAFターゲットを合わせて撮影してください。

- フラッシュ同調速度・低速制限
  フラッシュ発光時のシャッター速度を変更することができます。
  ☞「ϟ同調速度」（P.104）、☞「ϟ低速制限」（P.104）

### 赤目軽減発光 ◎／◎ϟ

人物を撮影すると目が赤く写ることがありますが、赤目軽減発光に設定すると本発光の前に数回の予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。**S**/**M**モードでは強制発光になります。

**注意**

- 最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。
- フラッシュを正面から見ていない場合や、予備発光を見ていない場合、距離が遠い場合や個人差などにより、赤目軽減の効果が現れにくくなります。

### スローシンクロ（先幕シンクロ） ϟSLOW

遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。通常のフラッシュ撮影では手ぶれを防ぐため、シャッター速度が遅くならないように設定されていますが、このとき夜景などをバックに撮影すると、フラッシュの光が背景まで届かないため暗くつぶれてしまいます。遅いシャッター速度で撮影すると、被写体と背景の両方を写し込むことができます。シャッター速度が遅いので、背景がぶれないように三脚などでカメラを固定してください。

### スローシンクロ（後幕シンクロ） ϟSLOW2／2nd CURTAIN

通常はシャッターが開いた瞬間（直後）に光るようになっています（先幕シンクロ）。これに対して、シャッターが閉じる直前にフラッシュを光らせるモードです。フラッシュを発光させるタイミングを変えることで、夜間走行中の車のテールライトが後方に流れる様子を表現するなど、作画に変化をつけることができます。シャッター速度が遅いほうがより効果的です。**S**/**M**モードでは強制発光になります。

### スローシンクロ（先幕シンクロ）+ 赤目軽減発光 ◎SLOW

スローシンクロを使ってフラッシュ撮影をしながら、赤目軽減効果も得たいときに使用します。

**強制発光 ⚡**

フラッシュを必ず発光させます。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときに使用します。

**注意**

- フラッシュ発光時、シャッター速度は1/180秒より低速に設定されます。背景の明るい被写体では、強制発光すると背景が露出オーバーになることがあります。このような場合は、専用フラッシュ FL-50Rなどを使用して、スーパー FP発光モードで撮影してください。☞「スーパー FP発光」（P.62）

**発光禁止**

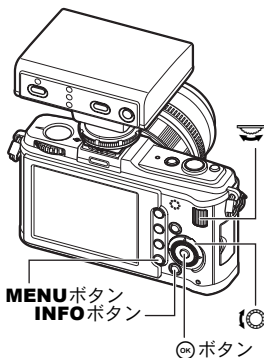
フラッシュは発光しません。

## フラッシュ発光量補正

フラッシュの発光量を+3～-3の範囲で調整します。
被写体が小さい、被写体の背景が遠いなど、場合によってはフラッシュの発光量を補正した方がよいときがあります。また、コントラスト（明暗の差）を意図的につけたいときにも有効です。

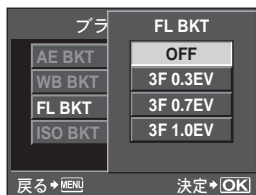
| *スーパーコンパネ* | OK ▶ **INFO** ▶ ✥ : **[フラッシュ補正]** |
|---|---|
| *メニュー* | **MENU** ▶ **[✲]** ▶ **[✲F]** ▶ **[フラッシュ補正]** |

**注意**

- 専用フラッシュの調光モードが MANUAL のときは、この設定は働きません。
- 専用フラッシュで発光補正されていると、カメラの発光補正量に加算されて働きます。
- **[⚡+☑連動]**が**[ON]**に設定されているときは、露出補正量に加算されます。
  ☞「⚡+☑連動」（P.104）

## フラッシュブラケット撮影

1コマごとにフラッシュの発光量を変えて撮影します。3コマの画像が適正発光量、–発光、+発光の順に撮影されます。

**メニュー** MENU ▶ [⚙] ▶ [▣] ▶ [ブラケット撮影] ▶ [FL BKT]

- 露出ステップにより補正量が変わります。
  ☞「露出ステップ」（P.102）
- 単写モードでは、シャッターボタンを全押しするごとに、発光量を変えて撮影します。
- 連写モードでは、設定した撮影枚数を撮り終えるまで、シャッターボタンを全押しし続けます。
- シャッターボタンから指を離すと、ブラケット撮影が一時中断されます。一時中断したときはBKTが緑で表示されます。

2

ピント合わせ／撮影機能

# 画質モードの選択

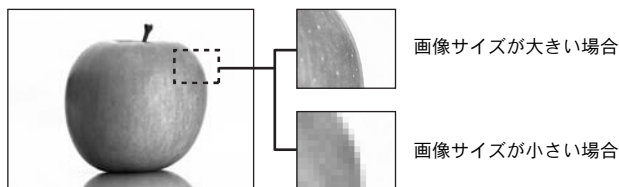
撮影する画像の画質を設定します。プリント用、パソコンでの加工用、ホームページ用など、用途に合わせて画質モードを選択します。

## 記録形式

### JPEG

JPEG形式の画像では、画像サイズ（L、M、S）と圧縮率（SF、F、N、B）の組み合わせを選択します。画像はピクセル（点）の集まりでできていて、ピクセル数が少ない画像を拡大するとモザイク状に表示されます。ピクセル数が多い画像は1枚の画像のファイルサイズ（データの量）が大きくなり、カードに記録できる枚数が少なくなります。また圧縮率が高いほどファイルサイズは小さくなりますが、画像を表示したときに粗く見えます。

画像サイズが大きい場合

画像サイズが小さい場合

画像が精細になる ←

↑ 画像サイズが大きくなる

| 用途 | 画像サイズ | ピクセルサイズ | 圧縮率 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | SF (Super Fine) 1/2.7 | F (Fine) 1/4 | N (Normal) 1/8 | B (Basic) 1/12 |
| プリントサイズに合わせて選択 | L (Large) | 4032 × 3024 | LSF | LF | LN | LB |
| | M (Middle) | 3200 × 2400 | MSF | MF | MN | MB |
| | | 2560 × 1920 | | | | |
| | | 1600 × 1200 | | | | |
| | S (Small) | 1280 × 960 | SSF | SF | SN | SB |
| | | 1024 × 768 | | | | |
| 小さいプリントやホームページ用 | | 640 × 480 | | | | |

3 画質／色合い／仕上がり

**RAW**

ホワイトバランス、シャープネス、コントラスト、色変換などの処理を行っていない未加工のデータです。パソコンで画像として表示するには、OLYMPUS Masterを使います。他のカメラで再生したり、一般のソフトウェアでの表示、プリント予約はできません。拡張子は「.ORF」です。
RAW画像をこのカメラで編集し、JPEGデータとして保存することができます。
☞「画像編集」（P.85）

## 画質モードの設定方法

**JPEG**

JPEGは3種類の画像サイズ（L、M、S)と4種類の圧縮率（SF、F、N、B）を組み合わせた12通りの設定から4通りを登録して使います。
☞「画質設定」（P.106）
画像サイズM、Sは、さらにピクセルサイズを変えることができます。
☞「ピクセルサイズ」（P.106）

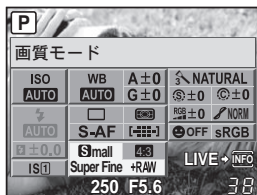
**JPEG+RAW**

1回の撮影でJPEGとRAWの2種類の画像を同時に記録します。

**RAW**

RAW形式で画像を記録します。

例）LF／LN／MN／SNを登録した場合に使用できる9つの画質モード
RAW　　　：RAW
JPEG　　　：LF／LN／MN／SN
JPEG+RAW：LF+RAW／LN+RAW／MN+RAW／SN+RAW

| | |
|---|---|
| ***ライブコントロール*** | ⓞ ▶ ◎：**[画質モード]** |
| ***スーパーコンパネ*** | ⓞ ▶ **INFO** ▶ ✧：**[画質モード]** |
| ***メニュー*** | **MENU** ▶ **[📷1]** ▶ **[画質モード]** ▶ **[静止画]** |

***こんなときは***

**画質モードをすばやく設定したい：**

→ **Fn** ボタンに**[RAW◀⁝⁝-]**を設定すると、**Fn** ボタンを押しながらメインダイヤルを回して画質モードを切り換えられるようになります。
**Fn** ボタンを押すたびにRAWデータを同時に記録するかどうかを切り換えられます。☞「Fnボタン機能」（P.97）

**各画質モードでのファイル容量、撮影枚数が知りたい：**

→「画質モードとファイル容量、撮影可能枚数」（☞P.139）

# ホワイトバランスの選択

被写体は光源によって色が変わります。たとえば、白い紙に晴天時の太陽があたっているときと、電球の灯りがあたっているときでは、それぞれの白が違います。デジタルカメラでは、デジタル演算処理により白が白らしくなるように調節します。これをホワイトバランスといいます。ホワイトバランスには、4つの設定があります。

**オートホワイトバランス [オート]**
自動的に画像の白い部分を判断して全体の色のバランスを調節します。通常はこのモードをお使いください。

**プリセットホワイトバランス [☼][⌂][☁][☀][☰1][☰2][☰3][WB⚡]**
光源別に8種類の色温度がプリセットされています。夕焼けをより赤く撮りたいときや暖かみのある電球色を表現したいときなどにはプリセットホワイトバランスで撮影してください。

**カスタムホワイトバランス [CWB]**
2000K～14000Kの範囲で色温度を設定して使用します。色温度については「ホワイトバランス色温度」(☞P.138)をご覧ください。

**ワンタッチホワイトバランス [⊡]**
カメラを白紙などの白い物に向けて、ホワイトバランスを設定します。設定されたホワイトバランスは、プリセットホワイトバランスの値の1つとしてカメラに記憶されます。

| WBモード | 適した撮影シーン |
|---|---|
| オート | 一般的なほとんどの撮影シーン（画面内に白に近い色が存在する撮影シーン）。通常はこのモードをお使いください。 |
| ☼ 5300K | 晴天の日に屋外で撮るとき、夕焼けを赤く撮るとき、花火を撮るとき |
| ⌂ 7500K | 晴天の日に屋外の日陰で撮るとき |
| ☁ 6000K | 曇天の日に屋外で撮るとき |
| ☀ 3000K | 電球に照らされている被写体を撮るとき |
| ☰1 4000K | 白色蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき |
| ☰2 4500K | 昼白色蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき |
| ☰3 6600K | 昼光色蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき |
| WB⚡ 5500K | フラッシュ撮影のとき |
| ⊡ | ワンタッチホワイトバランスで設定した色温度。<br>☞「ワンタッチホワイトバランスの設定」(P.70) |
| CWB | カスタムホワイトバランスで設定した色温度。2000K～14000Kの範囲で設定できます。未設定時は5400Kに設定されています。 |

## オート／プリセット／カスタムホワイトバランスの設定　WB

ホワイトバランスを光源の色温度で選択します。

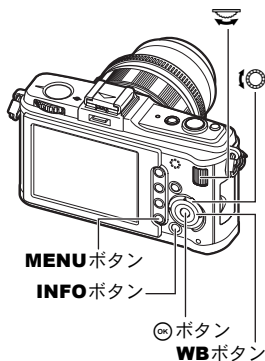
| | |
|---|---|
| ダイレクトボタン | WB |
| ライブコントロール | Ⓞ ▸ : [ホワイトバランス] |
| スーパーコンパネ | Ⓞ ▸ INFO ▸ : [ホワイトバランス] |

- カスタムホワイトバランスは[CWB]を選び、ボタンを押しながらサブダイヤルを回して設定します。

| | |
|---|---|
| メニュー | MENU ▸ [] ▸ [] ▸ [WBモード] |

*こんなときは*

**白くないものが白くなった：**

→オートホワイトバランスでは、画面に白に近い色がまったくない場合は、正しいホワイトバランスが測定されないことがあります。プリセットホワイトバランスかワンタッチホワイトバランスを試してください。

## WB補正

オートホワイトバランス、プリセットホワイトバランスそれぞれに、補正値を設定して微調整できます。

| | |
|---|---|
| スーパーコンパネ | Ⓞ ▸ INFO ▸ :[WB補正] |
| メニュー | MENU ▸ [] ▸ [] ▸ [WBモード] |

- 補正したいホワイトバランスを選択し、▷を押します。

**A方向（赤-青）で補正する場合**
現在のホワイトバランスの値に対し、+方向で赤味がかり、–方向で青味がかった画像になります。

**G方向（緑-赤紫）で補正する場合**
現在のホワイトバランスの値に対し、+方向で緑の色味が増し、–方向で赤紫がかった画像になります。
• それぞれ7段階の補正が可能です。

*こんなときは*

**補正したホワイトバランスを確認したい：**
→補正値を設定した後、試し撮りをするために被写体にカメラを向けます。**AEL/AFL**ボタンを押すと、設定したホワイトバランスの条件で撮影したサンプル画像が表示されます。

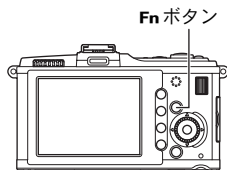
**すべてのホワイトバランスモードを一括して補正したい：**
→「全WBモード補正」（☞P.105）をご覧ください。

## ワンタッチホワイトバランスの設定

プリセットホワイトバランスでは調整しきれない微妙な色合いを設定します。撮影する光源で照らされた白い紙などにカメラを向けてホワイトバランスを測定することにより、実際の撮影状況に最適なホワイトバランスをカメラに記憶させることができます。自然光だけでなく、複数の異なる色温度の光源に照らされた被写体の撮影などに有効です。
あらかじめ**[Fnボタン機能]**を**[ワンタッチWB]**に設定しておきます。（☞P.97）

**1 カメラを白い紙に向けます。**
• 紙を画面いっぱいに写るように置き、影の部分ができないようにしてください。

**2 Fn ボタンを押しながら、シャッターボタンを押します。**
• ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。

**3 [実行]を選択して、Ⓞボタンを押します。**
• ホワイトバランスが登録されます。
• 登録されたホワイトバランスは、プリセットホワイトバランスのひとつとして、カメラに記憶されます。電源を切っても消去されません。

*こんなときは*

**シャッターボタンを押したら、[不適切なデータです 撮り直してください]と表示された：**
→白い部分の面積が足りないとき、明るすぎるとき、暗すぎるとき、極端な色味がついているときは、ホワイトバランスは登録できません。絞り、シャッター速度などの撮影条件を変えて、再度、手順1からやりなおしてください。

## ホワイトバランスを比較しながら撮影する

4分割された画面上でホワイトバランスの効果を比較しながら撮影することができます。

**1 INFOボタンを繰り返し押して、比較表示画面を表示します。**

☞「情報表示の切り換えについて」（P.23）

- 露出補正の比較画面が表示された場合は、△を押すとホワイトバランスの比較画面になります。△▽を押して切り換えます。

**2 ◁▷またはダイヤルでホワイトバランスを選択し、㊉ボタンを押します。**

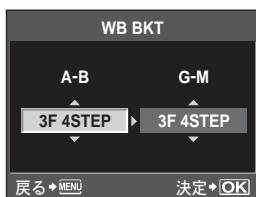
- 選択したホワイトバランスで、撮影できる状態になります。

- iAUTO、**ART**および**SCN**モードではこの機能は使用できません。

## WBブラケット撮影

1回の撮影から、1つの補正方向に対して色合い（ホワイトバランス）を変えた3枚の画像を自動的に作成します。カードには、カメラの設定で撮影された画像と、その画像から色合いを変更した画像が記録されます。

*メニュー* **MENU ▸ [⚙] ▸ [▣] ▸ [ブラケット撮影] ▸ [WB BKT]**

- 補正ステップはA-B（赤-青）方向、G-M（緑-赤紫）方向それぞれ**[OFF]**/**[3F 2STEP]**/**[3F 4STEP]**/**[3F 6STEP]**から選択します。
- 1回の撮影で、1つの補正方向に対して3コマの画像を作成します。

*こんなときは*

**補正したホワイトバランスを中心にWBブラケット撮影をしたい：**

→WB補正をした状態で、WBブラケットを設定してください。すでに補正されている値を中心としてWBブラケット撮影が行われます。

**注意**

- WBブラケット撮影では、カメラのメモリとカードに設定枚数以上の空きがないと、撮影ができません。

# 仕上がり

画像の色調を、撮影目的に応じて選択することができます。また個別に、コントラストやシャープネスなどの画像パラメータを微調整することもできます。調整したパラメータは各仕上がり項目ごとに記録されます。

**[i-FINISH]**：撮影シーンに合った印象的な仕上がりになります。
**[VIVID]**：色鮮やかに仕上げます。
**[NATURAL]**：自然な色合いに仕上げます。
**[FLAT]**：素材性を重視した仕上がりになります。
**[PORTRAIT]**：肌色をきれいに仕上げます。
**[モノトーン]**：モノクロ調に仕上げます。
**[カスタム]**：仕上がり項目の１つを選んで各パラメータを設定し、登録します。**[カスタム]**では階調の設定も登録しておくことができます。この設定は、メニューの**[階調]**とは別に記憶されます。☞「階調」（P.73）

| | |
|---|---|
| *ライブコントロール* | OK ▸ ：**[仕上がり]** |
| *スーパーコンパネ* | OK ▸ **INFO** ▸ ：**[仕上がり]** |
| *メニュー* | **MENU** ▸ **[]** ▸ **[仕上がり]** |

各仕上がり項目に合わせて調整できるパラメータが異なります。
それぞれのパラメータの内容は次の通りです。

**[コントラスト]**：明暗の差
**[シャープネス]**：鮮鋭さ
**[彩度]**：色の鮮やかさ
**[効果]**：効果のかかり方の強弱を設定します。（i-FINISH）
**[フィルター効果]**：フィルター色と同じ色を明るく、補色を暗くした白黒画像にします。（モノトーン）

- **[N:無し]**：通常の白黒画像になります。
- **[Ye:黄]**：自然な青空にくっきりとした白い雲が再現されます。
- **[Or:オレンジ]**：青空らしさ・夕日の輝きが少し強調されます。
- **[R:赤]**：青空らしさ・紅葉の輝きがよりいっそう強調されます。
- **[G:緑]**：赤い唇・緑の葉がよりいっそう強調されます。

**[調色]**　：白黒画像に色味をつけます。（モノトーン）
- **[N:無し]**　：通常の白黒画像になります。
- **[S:セピア]**　：セピア
- **[B:青]**　：青味
- **[P:紫]**　：紫味
- **[G:緑]**　：緑味

## 階調

標準階調以外に3種類の階調を選択できます。

- **[ハイキー]**：明るい被写体に適した階調にします。
- **[ローキー]**：暗い被写体に適した階調にします。
- **[オート]**　：画像を細かい領域にわけて部分的に明るさを補正します。黒つぶれ・白とびの起きやすい明暗差の大きい画像に有効です。
- **[標準]**　：通常は**[標準]**に設定してください。

**ハイキー**
ハイライト部の多い被写体に最適です。

**ローキー**
シャドウ部の多い被写体に最適です。

***スーパーコンパネ***　Ⓞ ▸ ◈：**[階調]**

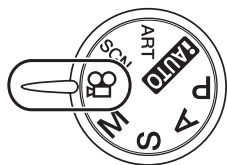
***メニュー***　**MENU ▸ [撮1] ▸ [階調]**

### 注意

- **[ハイキー]**、**[ローキー]**、**[オート]**の階調ではコントラスト調整は反映されません。

## ムービー撮影

ハイビジョン画質のムービーを撮影することができます。同時にステレオ音声で録音します。
自動露出に加え、絞り値を好みに合わせて変えたり、絞り値とシャッター速度の両方を手動で設定したり、アートフィルターの効果を生かすこともでき、より表現力豊かなムービーを撮影することができます。

**1 モードダイヤルを🎥にします。**

**2 シャッターボタンを半押しして、撮りたいものにピントを合わせます。**

- オートフォーカスによるピント合わせが行われ、合焦マークが点灯します。

**3 シャッターボタンを全押しして、撮影を始めます。**

- 音声も同時に記録が始まります(**[ムービー録音]**が**[ON]**のとき)。
  ☞「ムービー撮影中録音する」(P.76)

**4 シャッターボタンを全押しして、撮影を終了します。**

*こんなときは*

**オートフォーカスがうまく作動していない：**
→**AEL/AFL**ボタンを押すと、AF動作を行います。
- レンズの駆動音が録音されます。

**注意**

- ムービー撮影中は露出補正、絞り値、シャッター速度の設定変更はできません。
- ムービーモードでの**[手ぶれ補正]**は電子手ぶれ補正になり、この機能を使うと画像が少し拡大されて記録されます。また**[I.S.1]**、**[I.S.2]**、**[I.S.3]**の設定によらず、**[I.S.1]**の動作になります。
- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないときがあります。
- 手ぶれ補正機能付きのレンズを使用している場合は、レンズまたはカメラのいずれかの手ぶれ補正機能をオフにしてください。
- ムービーモードでは**[顔検出]**は使用できません。
- カードによっては、最長時間まで撮影できずに途中で自動的に撮影が終了する場合があります。また、1ファイルは2GBに制限されます。
- カメラの内部が高温になると、カメラ保護のため自動的に撮影を中止します。
- 撮影終了後、カードアクセスランプが点滅中は次の撮影はできません。
- ムービー撮影にはSDスピードクラス6に対応したカードのご使用をお勧めします。

# ムービー撮影の設定を変更する

## ムービーに効果をつける

*ライブコントロール* ⊛ ▸ ◎ ▸ **[ムービー AEモード]**

*メニュー* **MENU ▸ [2] ▸ [ムービー AEモード]**

- △ ▽ で選択して⊛ボタンを押します。

**[P]** 被写体の明るさに応じて、最適な絞り値を自動的に設定します。

**[A]** 絞り値を設定することで、背景の描写に変化がつけられます。サブダイヤルを回して絞り値を設定します。

**[M]** 絞り値とシャッター速度を設定します。サブダイヤルを回して絞り値を設定し、メインダイヤルを回してシャッター速度を設定します。設定可能なシャッター速度は、1/30～1/4000秒です。ISO感度は200～1600のマニュアル設定だけです。

**[ART1]**～**[ART8]**
アートフィルターの効果を使用して撮影します。

**注意**

- アートフィルターモードで撮影する場合は、表示される録画時間が実際の時間と異なる場合があります。
**[ART7]**（ジオラマ）では高速再生となるため、撮影時間表示が再生時の時間経過に合わせた表示となり、時間の進みが遅くなります。

4 ムービー撮影

### 画質モードの設定方法

**ライブコントロール** ⊛ ▶ ◎ ▶ **[画質モード]**

**メニュー** **MENU ▶ [📷1] ▶ [画質モード] ▶ [ムービー ]**

**ムービーの画質モード**

| 画質モード | 用途 |
| --- | --- |
| **HD** | 画像サイズが1280×720になります。ハイビジョン画質のムービーを撮影することができます。 |
| **SD** | 画像サイズが640×480になります。 |

## ムービー撮影中録音する

**[ON]**に設定すると、ムービー撮影が始まると同時に音声も録音します。

**ライブコントロール** ⊛ ▶ ◎ ▶ **[ムービー録音]**

**メニュー** **MENU ▶ [🎬] ▶ [ムービー録音]**

- △ ▽ で選択して⊛ボタンを押します。

**注意**

- ムービー撮影中の録音では､レンズの駆動音やカメラの操作音が入ることがあります。気になるときは、**[AF方式]**を**[S-AF]**にして撮影したり、ボタンをなるべく押さないようにするなど、音の発生を抑えてください。
- **[ART7]**（ジオラマ）では、録音できません。

# 自動的に静止画を撮影する

**[ON]**に設定すると、ムービー撮影終了の操作で静止画を撮影します。ムービーだけでなく、静止画も残したいときに便利です。

**メニュー** **MENU ▶ [📷2] ▶ [ムービー +静止画撮影]**

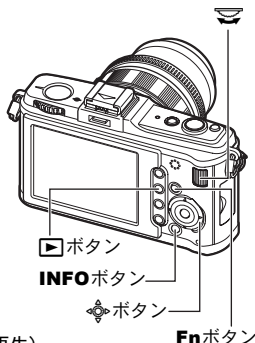
- △ ▽ で選択して⊛ボタンを押します。

## 1コマ再生／クローズアップ再生

**1 ▶ボタンを押します（1コマ再生）。**
- 最後に撮影された画像が表示されます。
- 撮影時に記録した音声も同時に再生されます。
- 1 分以上何も操作しないと、カメラは液晶モニタを消灯して動作を停止します。

**2 ✥で表示したい画像を選択します。サブダイヤルを🔍側に回して、クローズアップ再生することができます。**

（1コマ再生）

△：10コマ前の画像を表示
▽：10コマ先の画像を表示
▷：次の画像を表示
◁：1コマ前の画像を表示

（クローズアップ再生）

✥を押して、クローズアップ位置を変更できます。

INFOボタンを押す

（クローズアップ位置再生）

✥を押して、クローズアップ位置の表示を移動できます。
メニューの**[☻ 顔検出]**（☞P.55）が**[ON]**のときは、顔を中心に枠が表示されます。Ⓞを押すと他の顔に枠が移動します。

Fn ボタンを押す
- 10 倍にクローズアップ位置再生されます。

INFOボタンを押す

（クローズアップコマ送り再生）

◁ ▷ を押して、クローズアップのままコマ送りできます。
**[☻ 顔検出]** が **[ON]** のときは、△ ▽ を押すとクローズアップ状態のまま他の顔に移動します。
- **INFO** ボタンを押すとクローズアップ再生に戻ります。

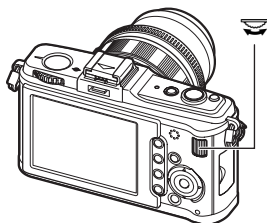
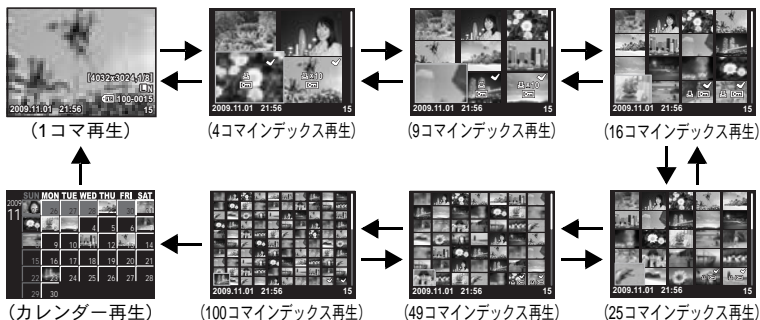
- 再生を終了するときは、再度、▶ボタンを押します。
- シャッターボタンを半押しすると、撮影に戻ります。

# インデックス再生／カレンダー再生

複数の画像を一度に表示します。多くの画像の中から必要な画像を検索するのに便利です。

**1コマ再生中に、サブダイヤルを 側に回すたびにコマ数が4、9、16、25、49、100コマと変化します。**

◁：前のコマへ移動
▷：次のコマへ移動
△：上のコマへ移動
▽：下のコマへ移動

- 1コマ再生に戻るにはサブダイヤルを 側に回します。

（1コマ再生）
（4コマインデックス再生）
（9コマインデックス再生）
（16コマインデックス再生）
（カレンダー再生）
（100コマインデックス再生）
（49コマインデックス再生）
（25コマインデックス再生）

**カレンダー再生について**

カードに保存されている画像を、カレンダー上の日付で指定して表示することができます。同じ日付に複数の画像がある場合は、その日最初に撮影された画像が表示されます。

で日付を選択し ボタンを押すと、選択した日付の画像が1コマ再生されます。

5

再生

# 情報表示 INFO

画像の詳細情報を表示することができます。
また、画像の輝度情報を、ヒストグラムやハイライト表示で図示することもできます。

**INFOボタンを押すごとに、表示が切り換わります。**
- この設定は記憶され、次回表示する際も同じ情報が表示がされます。

表示OFF

簡易表示

総合表示

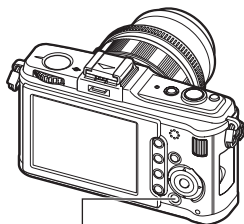
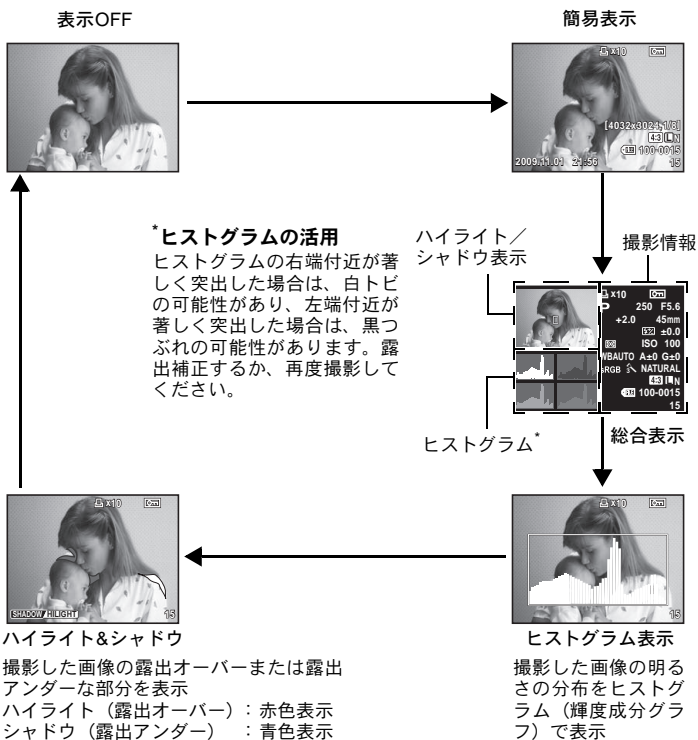
ハイライト／シャドウ表示

撮影情報

ヒストグラム*

***ヒストグラムの活用**
ヒストグラムの右端付近が著しく突出した場合は、白トビの可能性があり、左端付近が著しく突出した場合は、黒つぶれの可能性があります。露出補正するか、再度撮影してください。

**ヒストグラム表示**
撮影した画像の明るさの分布をヒストグラム（輝度成分グラフ）で表示

**ハイライト&シャドウ**
撮影した画像の露出オーバーまたは露出アンダーな部分を表示
ハイライト（露出オーバー）：赤色表示
シャドウ（露出アンダー）　：青色表示

***こんなときは***

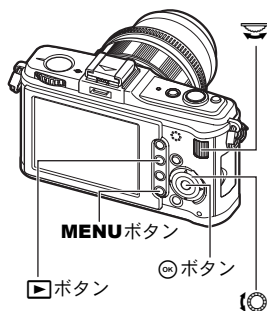
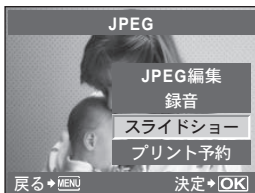
**よく使う表示にすばやく切り換えたい：**
→「簡易表示」以外を表示しないようにできます。☞「INFO表示設定」（P.101）

5 再生

# スライドショー

カードに記録された画像を自動的に連続して再生します。表示している画像から、順に再生されます。

**1 MENU ▸ [▶] ▸ [スライドショー]**

- 再生中にⓞボタンを押して、選択することもできます。

**2 スライドショーの設定をします。**

| | |
|---|---|
| **[スタート]** | ：現在の設定でスライドショーを行います。 |
| **[BGM]** | ：BGM（5種類）または**[OFF]**を設定します。 |
| **[スライド]** | ：スライドショーを実行する種類を設定します。 |
| **[1コマ再生時間]** | ：次の画像に切り換わる間隔を2〜10秒の間で設定します。 |
| **[ムービー再生]** | ：ムービーを再生するときに、ムービー全編を再生する**[フル]**か、途中までの部分を再生する**[ショート]**を設定します。 |

**3 [スタート]を選択してⓞボタンを押します。**

- スライドショーが始まります。

**4 ⓞボタンを押すとスライドショーが停止します。**

**スライドショー再生中の操作**

- メインダイヤルを回すと、全体の音量が調節できます（カメラのスピーカーでの再生時のみ）。
- サブダイヤルを回すと、BGMに対する録音音量のバランスが調節できます。

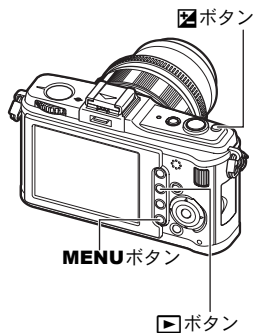
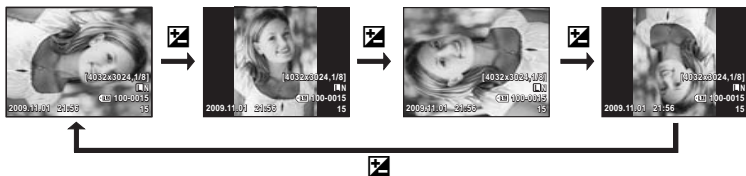
**注意**

- スライドショーを30分続けると、カメラの電源が自動的に切れます。

# 回転再生

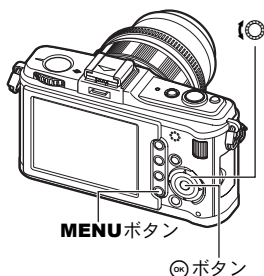
1コマ再生中に、撮影した画像を回転して縦位置表示することができます。縦位置で撮影したときなどに便利です。カメラを回転させても、自動的に正しい方向で画像を見ることができます。

**1 MENU ▸ [▶] ▸ [回転再生]**

- **[ON]**に設定すると、縦位置で撮影した画像を再生したときに自動的に回転して表示します。また、ボタンを押して画像を回転して表示することもできます。
- 回転表示した画像は、その状態でカードに記録されます。
- ムービーは回転再生できません。

回転する前の画像

# ムービー再生

**1 ムービーを選び、Ⓞボタンを押します。**

**2 [ムービープレイ]を選択してⓄボタンを押します。**

• 再生が始まります。

**ムービー再生中の操作**

• 音量：メインダイヤルを回して、カメラのスピーカーから出る音量の調節ができます。

• 巻き戻し／早送り：◁ ▷ で選びます。

再生時間／録画時間

• Ⓞ ボタンを押してムービーを一時停止にすると、十字ボタンでムービーの操作ができます。

△：先頭のフレームを表示します。
▽：最終のフレームを表示します。
▷：押している間再生します。
◁：押している間逆再生します。
Ⓞ：再生をはじめます。

**ムービー再生を中止するには**

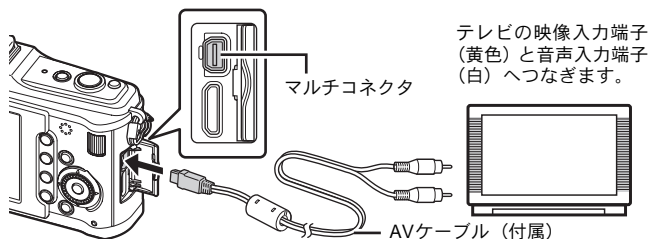
**MENU**ボタンを押します。

5 再生

# テレビ再生

付属のAVケーブルでテレビに接続して画像を再生します。市販のHDMIミニケーブルを使ってハイビジョン対応のテレビに接続すると、高画質な画像をテレビで観ることができます。

### AVケーブルで接続する場合

• カメラとテレビの電源を切ってから接続してください。

**1** **カメラで、接続するテレビの映像信号方式と同じ方式を選びます（[NTSC]／[PAL]）。****☞「ビデオ出力」（P.100）**

**2** **カメラの電源を切ります。**

**3** **テレビとカメラを接続します。**

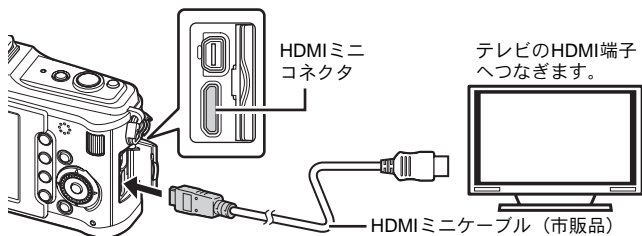
**4** **テレビの電源を入れて、[入力]を[ビデオ（カメラを接続した入力端子）]に切り換えます。**

**5** **カメラの電源を入れ、▶ボタンを押します。**

**注意**

• AVケーブルを接続するとカメラの液晶モニタは消灯します。
• テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
• テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。

### HDMIミニケーブルで接続する場合

- カメラとテレビの電源を切ってから接続してください。

**1** **カメラで、接続するテレビの映像信号方式と同じ方式を選びます（[NTSC]／[PAL]）。****☞「ビデオ出力」（P.100）**

**2** **カメラの電源を切ります。**

**3** **テレビとカメラを接続します。**

**4** **テレビの電源を入れて、[入力]を[HDMI入力]に切り換えます。**

**5** **カメラの電源を入れます。**

**注意**

- テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- カメラ側は HDMI ミニコネクタ、テレビ側はテレビの HDMI コネクタに合った HDMIミニケーブルをご使用ください。
- AV ケーブルと HDMI ミニケーブルの両方がカメラとテレビに接続されている場合は、HDMIが優先されます。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
- HDMIミニケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選ぶことができます。☞「HDMI」（P.99）
- HDMIミニケーブルの接続中は撮影できません。
- 他のHDMI出力機器と接続しないでください。故障の原因となります。
- パソコンやプリンターとのUSB接続中は、HDMI出力は行われません。

### テレビのリモコンを使う

HDMIによるコントロールに対応したテレビに接続すると、テレビのリモコンで操作することができます。

**1** **MENU ▶ [✿] ▶ [D] ▶ [HDMI] ▶ [HDMIコントロール]**

- **[ON]**に設定します。

**2** **テレビのリモコンで操作します。**

- テレビに表示された操作ガイドにしたがって操作できます。
- 1コマ再生のときに**[赤]**ボタンで情報表示の切り換え、**[緑]**ボタンでインデックス表示への切り換えができます。
- テレビによっては、表示されても使用できない機能が発生する場合があります。

# 画像編集

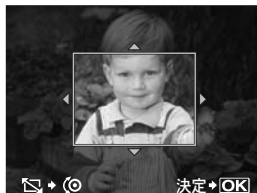
撮影した画像を編集して別の画像として保存します。画像のデータ形式によって、可能な編集が決定します。
プリント可能なファイルはJPEGです。RAWファイルは、そのままではプリントできません。プリントする場合はRAW編集機能を使ってJPEGファイルにします。

**RAWデータ形式で記録した画像の編集**
RAWデータ形式の画像にホワイトバランスやシャープネス、アートフィルターなどの画像処理を行って、JPEGの画像として保存します。撮影後に結果を確かめながら、自分のイメージに近い画像にすることができます。
**この操作を行う時点のカメラの設定で、画像が処理されます。目的に合わせてあらかじめカメラの設定を変更しておきます。**

**JPEG形式で記録した画像の編集**

**[階調オート]** 逆光時に暗く写った被写体を明るくします。

**[赤目補正]** フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減させます。

**[トリミング]** メインダイヤルでトリミングサイズ、十字ボタンでトリミング位置を指定します。

**[アスペクト]** アスペクト比が4:3（基準）の画像のアスペクト比を**[3:2]**/**[16:9]**/**[6:6]**に変更します。アスペクト比変更後、十字ボタンでトリミング位置を指定します。

**[モノクロ作成]** 白黒に変換します。

**[セピア作成]** セピア色に変換します。

**[鮮やかさ調整]** 画像の色をより鮮やかにします。画面で確認しながら鮮やかさを調整します。

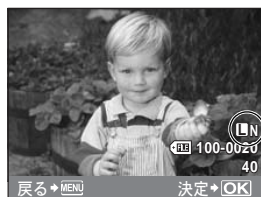
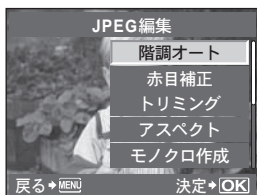
**[リサイズ]** 画像サイズを1280 × 960、640 × 480、または320 × 240に変換します。アスペクト比が4:3（基準）以外の画像は、近い大きさの画像サイズに変換されます。

**[eポートレート]** なめらかな肌に補正します。
- 顔が検出できないなど、画像によっては補正できない場合があります。

5 再生

**1** **MENU ▸ [▶] ▸ [編集] ▸ [画像選択]**
- 再生中に㊎ボタンを押して、選択することもできます。

**2** **◁ ▷ で画像を選択し、㊎ボタンを押します。**
- 画像のデータ形式をカメラが認識します。
- JPEG+RAW で記録した画像は、どちらのデータを編集するかを選択する画面が表示されます。
- ムービーの編集はできません。

データ形式をここで確認します。

**3** **画像のデータ形式によって、表示される画面が変わります。編集項目を選択し、各手順を行ってください。**

- 編集した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。
- 編集を終了するときは、**MENU**ボタンを押します。

**注意**
- 画像によっては赤目補正できないことがあります。また、目以外の部分が補正されることがあります。
- 次の場合はJPEG編集できません。
  RAWで記録した画像／パソコンで編集した画像／カードの空き容量が不足している場合／他のカメラで撮影した画像
- **[リサイズ]**では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。
- **[トリミング]**/**[アスペクト]**は、アスペクト比が4：3（基準）の画像のみ編集できます。

## 静止画に音声を追加する

静止画の再生中に最長約30秒間、音声を追加（録音）し、撮影時のメモ代わりとして音声を残しておくことができます。

**1** **MENU ▸ [▶] ▸ [編集] ▸ [画像選択] ▸ [録音]**
- 再生中に㊎ボタンを押して、選択することもできます。

**2** **△ ▽ で選択し、㊎ボタンを押します。**

**[中止]**　:録音しません。
**[録音スタート]**　:録音がはじまります。
**[消去]**　:追加した音声を消去します。

**注意**
- プロテクトされた画像には録音できません。
- 途中で録音を中止するときは㊎を押します。

# 画像合成

撮影したRAW形式の画像を最大3コマまで重ねて合成し、別の画像として保存します。保存時に設定されている画質モードで保存されます。

**1** **MENU ▸ [▶] ▸ [編集] ▸ [画像合成]**
- 再生中にⓄボタンを押して、選択することもできます。

**2** **画像合成するコマ数を選択し、Ⓞボタンを押します。**

**3** **✥ を押してコマを選択し、Ⓞ ボタンを押します。**
- 手順 2 で選択したコマ数の数だけ、繰り返し画像を選択します。
- 選択を取り消すには、再度Ⓞボタンを押します。

**4** **◁ ▷ で画像を選択し、△ ▽ で各画像の明るさを選択します。Ⓞボタンを押します。**
- 0.1～2.0まで選択できます。
- 明るさを変更するたびに表示画像が更新されます。

**5** **△ ▽ で[実行]を選択し、Ⓞボタンを押します。**

**注意**
- 画質モードが**[RAW]**に設定されていると、画像合成した画像は**[LN+RAW]**で保存されます。
- 合成するコマを選択するとき、JPEG+RAWで記録した画像はJPEG画像が表示されます。

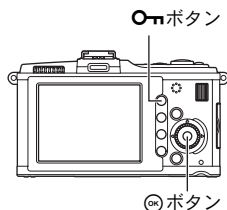
# 画像のプロテクト

残しておきたい大切な画像は、プロテクト（保護）を設定してください。1コマ消去や全コマ消去の操作をしても、プロテクトされた画像は消去されません。

### 1コマプロテクト

**プロテクトをかけたい画像を再生して、О┳ボタンを押します。**
- 画面右上に[О┳]（プロテクトマーク）が表示されます。

**プロテクトを解除するには**
プロテクトされている画像を再生しО┳ボタンを押します。

5 再生

### 選択コマプロテクト

インデックス再生で、画像を複数選択して一度にプロテクトをかけることができます。

**1 インデックス再生中にプロテクトをかけたい画像を で選択して、 ボタンを押します。**
- 画像が選択され、 が表示されます。
- 選択を取り消すには、再度 ボタンを押します。

**2 を押してプロテクトしたい次の画像を選択して、 ボタンを押します。**

**3 プロテクトする画像を選択し終えたら、 ボタンを押します。**

### 全プロテクト解除

複数のプロテクトされている画像を一度に解除できます。

**1 MENU ▸ [ ] ▸ [全プロテクト解除]**

**2 △ ▽ で[実行]を選択し、 ボタンを押します。**

**注意**
- カードを初期化した場合は、プロテクトされている画像も消去されます。
  「カードを初期化する」（P.129）
- プロテクトされた画像は、 ボタンを押しても回転再生できません。

5

再生

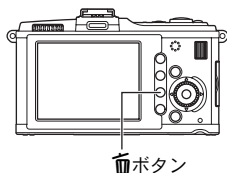
## 画像の消去

撮影した画像を消去します。再生している1コマのみを消去する1コマ消去、カード内の画像すべてを消去する全コマ消去および選択したコマを消去する選択コマ消去があります。

**注意**
- RAW+JPEGで記録した画像は、全コマ消去、選択コマ消去では、RAW・JPEG両方の画像が同時に消去されます。1コマ消去では、消去される画像をJPEGのみ、RAWのみ、RAW・JPEG両方から選べます。「RAW+JPEG 消去」（P.106）
- 消去したい画像がプロテクトされている場合は消去できません。画像のプロテクトを解除してから消去してください。
- 消去した画像は元に戻せません。大切なデータを消さないように十分に注意してください。「画像のプロテクト」（P.87）

## 1コマ消去

**1　消去したい画像を表示して、🗑ボタンを押します。**

**2　△▽で[実行]を選択し、OKボタンを押します。**

## 選択コマ消去

インデックス再生で、画像を複数選択して一度に消去することができます。

**1　インデックス再生中に消去したい画像を選択して、OKボタンを押します。**
- 画像が選択され、✔が表示されます。
- 選択を取り消すには、再度OKボタンを押します。

**2　十字ボタンを押して消去したい次の画像を選択して、OKボタンを押します。**

**3　消去する画像を選択し終えたら、🗑ボタンを押します。**

**4　△▽で[実行]を選択し、OKボタンを押します。**

## 全コマ消去

**1　MENU ▸ [▶1] ▸ [カードセットアップ]**

**2　△▽で[全コマ消去]を選択し、OKボタンを押します。**

**3　△▽で[実行]を選択し、OKボタンを押します。**
- 全コマ消去が実行されます。

***こんなときは***

**画像をすぐに消去したい：**

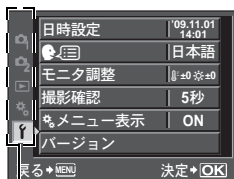
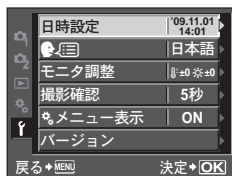
→「ワンプッシュ消去」(☞P.106) を設定すると、🗑ボタンを押すとすぐに画像を消去できます。

→初期設定のカーソルの位置を**[実行]**に設定することができます。☞「実行優先設定」(P.107)

5

再生

## セットアップメニュー

セットアップメニューでは、カメラの基本的な機能を設定します。

△ ▽ で[ᛘ]を選択し、▷ を押します。

△ ▽ で機能を選択し、 ▷ を押します。

メニューの操作方法は「メニュー」（☞P.20）をご覧ください。

### 日時設定 ☞P.7

日時を設定します。日時の情報は画像とともにカードに記録され、ファイル名も日付の情報をもとに付けられます。

### （言語切り換え）

液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを、日本語ではなく他の言語にすることができます。

### モニタ調整

液晶モニタの明るさと色温度を調整します。色温度の調整は再生時のモニタ表示にのみ適用されます。◁ ▷ で（色温度）と（明るさ）を切り換え、△ ▽ で**[+7]**～**[-7]**の範囲で調整します。

- 電子ビューファインダーを調整するには、「EVF調整」（☞P.102）をご覧ください。

### 撮影確認

撮影した画像をカードに記録する間、表示することができます。また、表示する時間も設定できます。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。撮影確認中でもシャッターボタンを半押しするとすぐに次の撮影に入れます。

**[1秒]～[20秒]** 画像を表示する時間を指定します。1秒刻みで設定することができます。
**[OFF]** 記録中の画像は表示されません。
**[AUTO▶]** 記録中の画像を表示し、そのまま再生モードに切り換わります。画像を確認した後、消去したいときに便利です。

### メニュー表示 ☞P.21

**[ON]**にすると、カスタムメニューが追加され、各種設定や操作を撮影者の好みのスタイルにすることができます。

### バージョン

カメラや接続しているアクセサリのファームウェアのバージョンが表示されます。
お問い合わせいただく際やソフトウェアをダウンロードする場合に必要になることがあります。

# 設定のリセット

このカメラでは、P/A/S/M/🎥モードで変更した設定は、電源を切ってもリセットされません。カメラを出荷時の設定に戻すには**[リセット]**を実行します。

### [リセット１][リセット2]を登録する

**[リセット1]**･**[リセット2]**にあらかじめリセット後の設定内容を登録しておくと、**[リセット1]**・**[リセット2]**を実行することで、登録時のカメラの設定内容にセットされます。🎥モードの場合は、🎥モードに対応した設定内容がセットされます。

登録される機能については、「マイモード・カスタムリセット設定で登録可能な機能」（☞P.140）をご覧ください。

**メニュー**　**MENU ▸ [📷1] ▸ [カスタムリセット設定]**

**1 登録先（[リセット1]または[リセット2]）を選択し、▷を押します。**

- すでに登録している場合、**[リセット1]**/**[リセット2]**に**[登録]**と表示されます。もう一度**[登録]**を選択すると、登録内容が上書きされます。
- 登録を解除する場合は**[クリア]**を選択します。

**2 [登録]を選択し、Ⓞボタンを押します。**

### リセット操作

出荷時の設定に戻します。または、**[リセット1]**、**[リセット2]**の登録内容にリセットします。

| | |
|---|---|
| **[リセット]** | カメラを出荷時の設定に戻します。初期設定は「メニュー一覧」（☞P.141）をご覧ください。 |
| **[リセット1]**/**[リセット2]** | 登録した内容にリセットします。 |

**メニュー**　**MENU ▸ [📷1] ▸ [カスタムリセット設定]**

**1 [リセット]/[リセット1]/[リセット2]のいずれかを選択した状態でⓄボタンを押します。**

**2 △▽で[実行]を選択し、Ⓞボタンを押します。**

# カスタム機能の設定

カスタムメニューでは、撮影機能をカスタマイズします。設定する機能によって A～I の9つのタブに分類されています。
カスタムメニューは初期設定では、表示されていません。カスタム機能を設定する場合は、セットアップメニューの**[ メニュー表示]**を**[ON]**してカスタムメニューを表示してください。（☞P.21）

△ ▽ で**[ ]**を選択し、▷を押します。

△ ▽ でタブ A～I を選択し、▷を押します。

△ ▽ で機能を選択し、▷を押します。

メニューの操作方法は「メニュー」（☞P.20）をご覧ください。

## AF/MF

### AF方式 ☞P.49

被写体に合わせてフォーカスモードを選択してください。
静物や動きの激しくない被写体に適した**[S-AF]**モード、撮影距離が絶えず変化する被写体に適した**[C-AF]**モード、手動でピントを合わせる**[MF]**モード、自動でピントを合わせてフォーカスリングで微調整する**[S-AF+MF]**モード、被写体の動きに追随してピントを合わせる**[C-AF+TR]**モードがあります。

### AFターゲット選択 ☞P.52

すべてのAFターゲットを使ってAFを行う**[:::::]**（オールターゲットAFモード）か、選択した1点を中心にAFを行う**[・]**（シングルターゲットAFモード）を選択します。

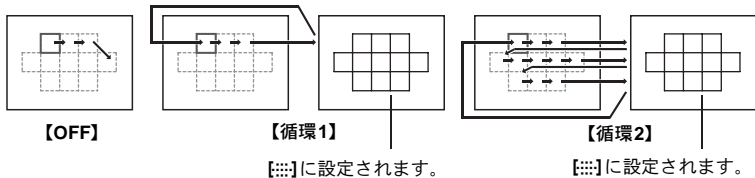
## [···]循環選択

AFターゲット選択時のダイヤルおよび十字ボタンの動作を選択します。

**[OFF]** 一番端のAFターゲットまで移動したところで止まります。

**[循環1]** 一番端のAFターゲットまで移動した後、同じ行または同じ列の反対側の端のAFターゲットに移動します。反対側のAFターゲットに移動する前に、すべてのAFターゲットが選択され、**[AFターゲット選択]**が**[::::]**に設定されます。

**[循環2]** 一番端のAFターゲットまで移動した後、次の行または次の列の反対側の端のAFターゲットに移動します。反対側のAFターゲットに移動する前に、すべてのAFターゲットが選択され、**[AFターゲット選択]**が**[::::]**に設定されます。

例）左上のAFターゲットから右方向に移動する場合

## レンズリセット

**[ON]**に設定すると、カメラの電源を切ったときに、レンズのフォーカス位置をリセット（無限遠）します。

## BULB中MF

MFでバルブ撮影しているときのピント調整について設定します。

**[ON]** 露光中もフォーカスリングを回してピントを変えることができます。

**[OFF]** 露光中はピントが固定されます。

## フォーカスリング

フォーカスリングの回転方向とピントの移動方向を切り換えることができます。

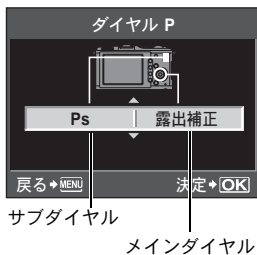
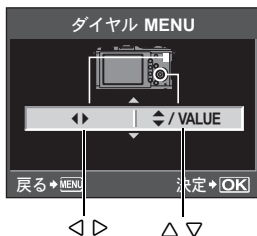
## MFアシスト

**[AF方式]**が**[S-AF+MF]**や**[MF]**のとき、フォーカスリングを回すと、自動的に拡大表示します。

## ボタン／ダイヤル

### ダイヤル機能

**P**、**A**、**S**、**M**モードのとき、出荷時とは異なる機能をメインダイヤルとサブダイヤルそれぞれに割り当てることができます。また、メニュー操作時のメインダイヤルとサブダイヤルの動作を出荷時とは逆に設定できます。

**P**　：**[Ps]/[露出補正]/[フラッシュ補正]**
**A**　：**[絞り]/[露出補正]/[フラッシュ補正]**
**S**　：**[シャッター速度]/[露出補正]/[フラッシュ補正]**
**M**　：**[シャッター速度]/[絞り]**
**MENU**：**[◀▶]/[▲▼/ VALUE]**

- **[MENU]**の**[◀▶]**は、ダイヤル操作が横方向（◁ ▷）の動作をすることを意味しています。**[▲▼/ VALUE]**は、ダイヤル操作が縦方向（△ ▽）の動作をすることを意味しています。

### ダイヤル方向

ダイヤルの回転方向と、シャッター速度／絞り値の増減方向、およびメニューやライブコントロールのカーソル移動方向を切り換えることができます。

**露出設定**

| 設定 | （ダイヤル回転方向） | （ダイヤル回転方向） |
|---|---|---|
| ダイヤル1 | • シャッター速度が遅くなる<br>• 絞りを開く（F値が小さくなる） | • シャッター速度が速くなる<br>• 絞りを絞る（F値が大きくなる） |
| ダイヤル2 | • シャッター速度が速くなる<br>• 絞りを絞る（F値が大きくなる） | • シャッター速度が遅くなる<br>• 絞りを開く（F値が小さくなる） |

**MENU設定**

| 設定 | （ダイヤル回転方向） | （ダイヤル回転方向） |
|---|---|---|
| ダイヤル1 | 縦方向：下に移動 | 縦方向：上に移動 |
| ダイヤル2 | 縦方向：上に移動 | 縦方向：下に移動 |

## AEL/AFLモード

シャッターボタンでオートフォーカス動作や測光を行う代わりに、**AEL/AFL**ボタンを押してオートフォーカス動作や測光を行うことができます。
シャッターボタンを押したときの動作と組み合わせてボタンの機能を選択できます。それぞれのフォーカスモードで**[mode1]**〜**[mode4]**を選択します（**[mode4]**はC-AFモードのときのみ選択できます）。

| モード | シャッターボタンの役割 | | | | AEL/AFLボタンの役割 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 半押し時 | | 全押し時 | | 押している間 | |
| | ピント | 露出 | ピント | 露出 | ピント | 露出 |
| **[S-AF]** | | | | | | |
| **mode1** | S-AF動作 | 固定 | — | — | — | 固定 |
| **mode2** | S-AF動作 | — | — | 固定 | — | 固定 |
| **mode3** | — | 固定 | — | — | S-AF動作 | — |
| **[C-AF]** | | | | | | |
| **mode1** | C-AF開始 | 固定 | 固定 | — | — | 固定 |
| **mode2** | C-AF開始 | — | 固定 | 固定 | — | 固定 |
| **mode3** | — | 固定 | 固定 | — | C-AF開始 | — |
| **mode4** | — | — | 固定 | 固定 | C-AF開始 | — |
| **[MF]** | | | | | | |
| **mode1** | — | 固定 | — | — | — | 固定 |
| **mode2** | — | — | — | 固定 | — | 固定 |
| **mode3** | — | 固定 | — | — | S-AF動作 | — |

**各モードでの基本の使い方**

**[mode1]** ピント合わせと同時に測光して露出を決めて撮影します。**AEL/AFL**ボタンを押している間はAEロックされるので、ピント合わせと露出を別々に決めることもできます。

**[mode2]** シャッターボタンを全押ししたときに露出を決めて撮影します。舞台など撮影時の照明状態が大きく変わるシーンの撮影に適しています。

**[mode3]** シャッターボタンではなく、**AEL/AFL**ボタンを使ってピント合わせを行いたいときに使います。

**[mode4]** **AEL/AFL**ボタンでピント合わせの動作を行い、シャッターボタンを全押ししたときに露出を決めて撮影します。

## AEL/AFL MEMO

**AEL/AFL**ボタンを押すと露出の固定と保持ができます。

**[ON]** **AEL/AFL**ボタンを押すと露出を固定して保持します。もう一度押すと保持を解除します。

**[OFF]** **AEL/AFL**ボタンを押している間だけ露出を固定します。

## Fnボタン機能

Fnボタンに機能を登録することができます。

**[フェイス&バック]**

Fnボタンを押すと、**[☻顔検出]**が**[ON]**になり、人物撮影に最適な設定に切り換わります。再度押すと**[OFF]**になります。

☞「顔検出機能を使う」（P.55）、「☻顔検出」（P.101）

**[プレビュー]（電子式）**

Fnボタンを押している間、設定された絞り値まで絞り込みます。

☞「プレビュー機能」（P.41）

**[ワンタッチWB]**

Fnボタンを押して、ホワイトバランスの値を取得します。

☞「ワンタッチホワイトバランスの設定」（P.70）

**[[▪▪▪] HOME]**

Fnボタンを押すと、登録したAFホームポジションに切り換わります。再度押すと元のAFターゲットモードに戻ります。AFホームポジションに切り換えた状態で電源をOFFにすると、元の位置は記憶していません。

☞「AFターゲットモードを登録する」（P.53）

**[MF切換]**

Fnボタンを押すと、AF方式が**[MF]**に切り換わります。再度押すと、元のAF方式に戻ります。

**[RAW◀:::]**

Fnボタンを押すと、JPEG撮影時はJPEG+RAWの画質モードに、JPEG+RAW撮影時はJPEGのみの画質モードに切り換わります。

Fnボタンを押しながらダイヤルを回すと、画質モードを変更できます。

**[試し撮り撮影]**

Fnボタンを押しながらシャッターボタンを押すと、画像をカードに記録することなく液晶モニタで画像の確認ができます。すばやく設定値の効果を確認するのに便利です。

**[マイモード撮影]**

Fnボタンを押している間、**[マイモード設定]**で登録した設定内容で撮影することができます。

☞「マイモード設定」（P.98）

**[バックライト]**

Fnボタンを押すと、液晶モニタの表示が消えます。別売の光学ビューファインダーを使用するときに便利です。再度Fnボタンを押すと、液晶モニタが表示されます。

電子ビューファインダーを装着しているときは、この機能は働きません。

**[OFF]**

機能は割り当てられていません。

## ◀ボタン機能

◀ボタンに別の機能を登録することができます。

**[AF方式]**
☞「AF方式の選択」（P.49）

**[測光]**
☞「測光方式の変更」（P.42）

**[フラッシュ ]**
☞「フラッシュ撮影」（P.61）

**[バックライト]**
☞「Fnボタン機能」（P.97）

**[手ぶれ補正]**
☞「手ぶれ補正」（P.57）

## マイモード設定

よく使う設定状態をマイモードとして2つ記憶させておくことができます。どちらのマイモードを使用するかは、以下の「実行する」の操作をしてあらかじめ設定しておきます。マイモードは**[Fnボタン機能]**を**[マイモード撮影]**に設定し、使用するときはFnボタンを押しながら撮影します。☞「Fnボタン機能」（P.97）

**登録する**

1) **[マイモード1]**または**[マイモード2]**を選択し、▷を押します。
2) **[登録]**を選択し、OKボタンを押します。
   - 現在の設定がカメラに登録されます。マイモードに登録できる機能は「マイモード・カスタムリセット設定で登録可能な機能」（☞P.140）をご覧ください。
   - 登録を解除するには**[クリア]**を選択します。

**実行する**

1) **[マイモード1]**または**[マイモード2]**を選択し、OKボタンを押します。
2) **[実行]**を選択し、OKボタンを押します。
   - 使用するマイモードに設定されます。
   - 撮影するときはFnボタンを押しながらシャッターボタンを押します。

## ボタンON保持時間

ダイレクトボタンから指を離しても、押した状態を保持します。

| | |
|---|---|
| **[OFF]** | 保持しません。 |
| **[3秒]/[5秒]/[8秒]** | それぞれの秒数の間、押した状態を保持します。 |
| **[HOLD]** | もう一度ボタンを押すまで、押した状態を保持します。 |

- **[ボタンON保持時間]**で対象となるボタン
  **ISO**、±、**WB**、**AF**、□/ⓢ

7
カスタム機能の設定

### AEL/AFL ⇄ Fn

AEL/AFLボタンとFnボタンの機能を切り換えることができます。[ON]を選択すると、AEL/AFLボタンがFnボタンとして、FnボタンがAEL/AFLボタンとして機能します。

### ボタン機能

十字ボタンの機能を設定します。

- **[OFF]** 誤動作防止のため、十字ボタンに割り当てられている機能が、ボタンを押しても作動しないよう設定します。
- **[ON]** 十字ボタンに割り当てられている機能が作動します。
- **[[···]]** 十字ボタンでAFターゲットの位置を選択できます。
  ☞「AFターゲットのモードと位置を選択する」（P.53）

## レリーズ

### レリーズ優先S、レリーズ優先C

このカメラはAF作動中はシャッターが切れませんが、次の設定により、これらの完了を待たずに、シャッターを切ることができます。シャッターチャンスを優先する撮影に適しています。AF方式により個別に設定できます。

レリーズ優先S　S-AFモード（☞P.49）のレリーズ優先を設定します。
レリーズ優先C　C-AFモード（☞P.50）のレリーズ優先を設定します。

## 表示／音／接続

### HDMI

カメラをHDMIミニケーブルでテレビに接続した場合の設定をします。

**HDMI出力**

HDMIミニケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選択します。

- **[1080i優先]** 1080i形式で再生します。
- **[720p優先]** 720p形式で再生します。
- **[480p/576p]** 480p／576p形式で再生します（**[ビデオ出力]**が**[PAL]**設定時は576pで再生します）。

**注意**

- **[1080i優先]**に設定すると1080iを優先してHDMI出力されますが、テレビ側の入力設定が適合しない場合は、720p、480pの解像度に順次変更します。テレビの入力設定については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

**HDMIコントロール**

**[ON]**を選択すると、HDMIミニケーブルでテレビに接続したときに、テレビのリモコンで操作ができます。

## ビデオ出力

お使いのテレビの映像信号に合わせて、NTSCまたはPALを選択します。
海外でテレビに接続して再生するときに、設定を合わせてください。設定してからテレビにつないでください。間違った映像（ビデオ）信号を選択すると、テレビで画像が正しく再生できません。

**主な国と地域の映像信号**
海外でカメラを接続する前に、あらかじめご確認ください。

| NTSC | 日本、台湾、韓国、北米 |
|---|---|
| PAL | ヨーロッパ諸国、中国 |

## ビープ音

**[OFF]**を設定すると、シャッターボタンを押してピントが合ったときのピピッという音を鳴らさないようにできます。

## スリープ時間

カメラは何も操作しない状態で一定の時間が経過すると、スリープモード（待機状態）になり動作を停止し、電池の消費を抑えます。**[スリープ時間]**では、スリープモードに入るまでの時間を**[1分]**/**[3分]**/**[5分]**/**[10分]**から設定することができます。**[OFF]**に設定すると、スリープモードには入りません。
スリープモードを解除するには、シャッターボタン、▶ボタンなどのボタンを操作してください。

## USB接続モード

あらかじめ何に接続するかを設定しておくと、カメラを接続した際に毎回設定する手間を省くことができます。カメラをこれらの機器に接続した際の使い方は、「カメラをプリンタに接続する」（☞P.112）、「カメラをパソコンに接続する」（☞P.117）をお読みください。

**[オート]**
カメラを他の機器と接続したときの使い方を毎回設定します。選択画面が毎回表示されます。

**[ストレージ]**
パソコンに画像を転送するときに使用します。カメラをパソコンと接続してOLYMPUS Masterを使うときにもこれに設定します。

**[MTP]**
Windows Vista/7で、OLYMPUS Masterを使わずに画像を転送するときに設定します。

**[プリント]**
PictBridge対応プリンタと接続するときに設定します。プリント枚数や用紙などを設定してプリントすることができます。☞「カメラをプリンタに接続する」（P.112）

### LVブースト

ライブビュー撮影中に、液晶モニタを明るくして被写体を確認しやすくすることができます。

**[OFF]**

設定した露出に応じた明るさで被写体が表示されます。撮影結果に近い画像を、あらかじめ確認しながら撮影できます。

**[ON]**

被写体を確認しやすいように、カメラが明るさを自動的に調整して表示します。露出補正の調整結果は表示には反映されません。

### 顔検出

**[ON]**に設定すると、人物の顔を検出して自動でピント合わせを行います。☞「顔検出機能を使う」(P.55)
顔を中心にしたクローズアップ再生ができます。☞「1コマ再生／クローズアップ再生」(P.77)

### INFO表示設定

ライブビュー時または再生時、**INFO**ボタンを押して表示する情報を選択します。

**[▶INFO]** 再生時の**[表示OFF]**/**[総合表示]**/**[ヒストグラム表示]**/**[ハイライト&シャドウ]**の表示、非表示を設定します。☞「情報表示」(P.79)

**[LV-INFO]** ライブビュー時の**[ヒストグラム表示]**/**[拡大枠表示]**/**[比較表示]**/**[表示OFF]**/**[方眼表示]**/**[黄金分割表示]**/**[目盛表示]**の表示、非表示を設定します。☞「情報表示の切り換えについて」(P.23)

### 音量

スピーカーの音量を0～5の間で調節します。

### 水準器

**[ON]**に設定すると、カメラに内蔵されている加速度センサーにより、カメラの「あおり」と「水平傾き」に対応した2方向の水準器表示をすることができます。水平な線がない場合や夜景撮影時に画面が暗くて見えない場合などに目安としてご使用ください。

**液晶モニタの表示：**
**INFO**ボタンを繰り返し押して水準器表示に切り換えます。☞「情報表示の切り換えについて」（P.23）

表示範囲をオーバーしているときに表示されます。

*こんなときは*

**水準器の0点を調整したい：**
→ ☞「水準器調整」（P.108）

**注意**
- カメラのあおりが大きい場合には、水平方向の傾きの誤差が大きくなります。

### ムービー録音 ☞P.76

**[ON]**に設定すると、ムービー撮影時に録音します。

### EVF調整

電子ビューファインダーの明るさと色温度を調整します。調整するには電子ビューファインダーを装着して、表示を電子ビューファインダーに切り換えてください。
色温度の調整は再生時の表示にのみ適用されます。
◁ ▷ で（色温度）と☼（明るさ）を切り換え、△ ▽ で**[+7]**～**[-7]**の範囲で調整します。
- カメラ本体の液晶モニタを調整するには、「モニタ調整」（☞P.90）をご覧ください。

## 露出／測光／ISO

### 露出ステップ

シャッター速度・絞り値・露出補正値などの露出パラメータ設定の変更ステップを**[1/3EV]**/**[1/2EV]**/**[1EV]**から切り換えます。

### 測光 ☞P.42

撮影するシーンに応じて測光方式を選択します。

### AEL測光モード

**AEL**/**AFL**ボタンを押して露出を固定するときの測光方式を設定します。
- **[オート]**は**[測光]**で選択されているモードで測光します。

### ISO感度 ☞P.46

ISO感度を、自動的に変わる**[オート]**または**[100]**～**[6400]**の範囲で選択します。

### ISO感度ステップ

ISO感度の補正ステップを**[1/3EV]**/**[1EV]**から切り換えます。

### ISOオート設定

ISO感度をオートに設定しているときの上限値と基準値を設定します。

**[上限値]**

自動的に変わるISO感度の上限値を200～6400の間で、1/3EVステップで設定します。

**[基準値]**

適正露出が得られる撮影状況で通常使用する値を200～6400の間で、1/3EVステップで設定します。

### ISOオート有効

ISO感度の**[オート]**の設定が有効になる撮影モードを設定します。

**[P/A/S]**

**M**モードをのぞく撮影モードで**[オート]**の設定が有効になります。**M**モードでは**[オート]**に設定されていると、ISO200になります。

**[ALL]**

すべての撮影モードで**[オート]**の設定が有効になります。**M**モードでも適正ISOになるようにISO感度が自動的に変わります。

### BULBリミッター

バルブ撮影の最長時間（分）を設定します。

### 低振動モード[♦]

シャッターボタンを全押しした後、少し時間を空けてシャッターが切れるよう、撮影されるまでの時間を1/8～30秒の間で設定します。
カメラぶれを最小限に抑えた撮影をすることができます。顕微鏡撮影や超望遠レンズでの撮影などの場面で使います。

**注意**

- 撮影機能（単写／連写／セルフタイマー撮影）に低振動モードがそれぞれ追加されます。☞「連写」（P.56）

### ブラケット撮影

**1コマごとに設定値を自動的に変えて撮影します。**

**[AE**ブラケット**]**☞P.45
**[WB**ブラケット**]**☞P.71
**[FL**ブラケット**]**☞P.64
**[ISO**ブラケット**]**☞P.47

## フラッシュ

### フラッシュ ☞P.62

専用フラッシュを使用するときの、発光パターンや発光タイミングなどを選択します。選択可能なフラッシュモードは、露出モードによって異なります。

### フラッシュ補正 ☞P.63

フラッシュの発光量を**[+3]**～**[-3]**の範囲で調整します。

### 同調速度

フラッシュ発光時のシャッター速度を1/60～1/180の間で、1/3EVステップで設定できます。

### 低速制限

フラッシュ発光時のシャッター速度の低速制限を1/30～1/180の間で、1/3EVステップで設定できます。

### + 連動

**[ON]**に設定しているときは、露出補正量に加算して、フラッシュ補正が行われます。

## 画質／色／WB

### 長秒時ノイズ低減

長時間露光時に発生するノイズを軽減します。夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。**[長秒時ノイズ低減]**では、カメラが自動的にノイズの軽減処理を行い、きれいな画像を撮影することができます。
**[オート]**に設定すると、シャッター速度が遅い場合にこの機能が作動し、**[ON]**に設定すると常にノイズ低減処理が行われます。

**[OFF]**設定時

**[ON]/[オート]**設定時

- 長秒時ノイズ低減を行うと、撮影時間は通常の約2倍になります。
- 撮影後にノイズを取り除く動作をします。
- 処理中は、カードアクセスランプが点滅します。カードアクセスランプが消えるまで、次の撮影はできません。

**注意**

- 連写設定時は、**[長秒時ノイズ低減]**は自動的に**[OFF]**になります。
- 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。

### 高感度ノイズ低減

ノイズの処理レベルを選択できます。通常は**[標準]**に設定し、高感度撮影では**[強]**に設定することをおすすめします。

### WBモード

☞P.68

光源に合わせてホワイトバランスを選択します。カスタムホワイトバランス**[CWB]**以外は、A方向（赤-青）とG方向（緑-赤紫）で**[+7]**～**[-7]**の範囲で調整します。

### 全WBモード補正

ホワイトバランスの各モードを一括して同じ値に補正します。

**[ALL SET]**　すべてのWBモードを一括して同じ値に補正します。
**[ALL CLEAR]**　すべてのWB補正値を一括して0にします。

**[ALL SET]を選択した場合**

1) ◁ ▷ で補正方向を選択します。
A方向：赤-青／G方向：緑-赤紫
2) △ ▽ で補正します。☞「WB補正」（P.69）
**AEL/AFL**ボタンを押すと、サンプル画像が撮影されます。補正したホワイトバランスを確認できます。

**[ALL CLEAR]を選択した場合**

1) △ ▽ で**[実行]**を選択します。

### カラー設定

撮影した画像をモニタやプリンタで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。設定したカラー空間は、画像のファイル名に表示されます。
☞「ファイルネーム」（P.107）

Pmdd0000.jpg
P : sRGB
_ : Adobe RGB

**[sRGB]**　Windowsの標準の色空間。
**[Adobe RGB]**　Adobe Photoshopで設定できる色空間。

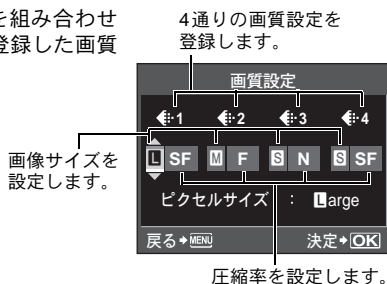
### シェーディング補正

レンズの特性により、画面の周辺が暗くなることがあります。これを補正して、明るくします。特に広角レンズを使用したときに、この機能が効果を発揮します。

**注意**

- テレコンバーターやエクステンションチューブを装着しているときは、この機能は働きません。
- ISO感度の高い設定で行うと、画面周辺のノイズが目立つことがあります。

### 画質設定

3種類の画像サイズと4種類の圧縮率を組み合わせて、4通りの画質設定を登録します。登録した画質設定は**[画質モード]**で選択します。
☞「画質モードの選択」(P.65)

### ピクセルサイズ

画像サイズ**[M]**、**[S]**のピクセルサイズを設定します。

**[Middle]**　**[3200 × 2400]**/**[2560 × 1920]**/**[1600 × 1200]**から選択します。
**[Small]**　**[1280 × 960]**/**[1024 × 768]**/**[640 × 480]**から選択します。

## 記録／消去

### ワンプッシュ消去

🗑ボタンを押して、すぐに画像を消去するように設定します。

**[OFF]**　🗑ボタンを押すと消去を実行するかどうかを確認する画面が表示されます。
**[ON]**　🗑ボタンを押すとすぐに消去が実行されます。

### RAW+JPEG 消去

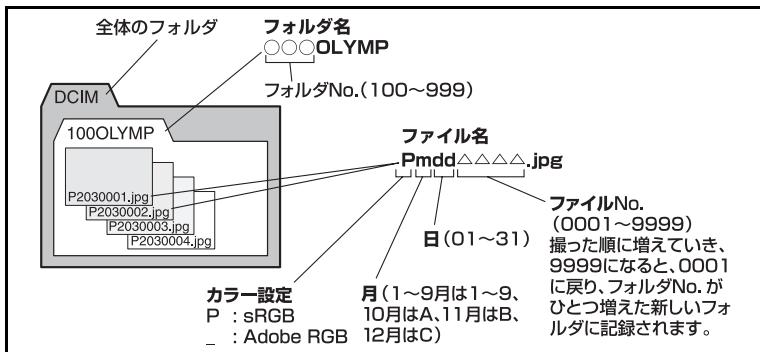
RAW+JPEGで記録した画像の消去方法を設定できます。1コマ消去を行うときのみ有効な機能です。

**[JPEG]**　JPEGの画像を消去してRAWのみ残します。
**[RAW]**　RAWの画像を消去してJPEGのみ残します。
**[RAW+JPEG]**　同時に両方を消去します。

**注意**

- この機能は、1コマ消去する場合にのみ有効です。全コマ消去や選択コマ消去の場合は、この設定に関係なくRAW、JPEG両方とも同時に消去されます。

## ファイルネーム

撮影した画像は、カードに記録されるときにファイル名が付けられ、フォルダに入れられます。
ファイル名とフォルダ名は、図のように付けられます。

**[オート]**
カードを入れ換えても、ファイルNo.は通し番号で付けられます。ただし、カード内に記録された画像のファイルNo.と重複する場合は、そのカードの中のもっとも大きいファイルNo.に続いた番号が付けられます。

**[リセット]**
新しいカードを入れたときは、フォルダNo.は100、ファイル名は0001から始まります。すでに画像が記録されたカードでは、もっとも大きいファイルNo. に続けて番号が付けられます。

## ファイルネーム編集

画像のファイル整理に便利なようにファイルネームの一部を変更できます。
カラー設定により変更できる部分が異なります。☞「カラー設定」（P.105）

## 実行優先設定

「画像の消去」や「カードの初期化」などの画面で、カーソルの初期位置を**[実行]** **[中止]**のどちらにするかを選択できます。

### dpi設定

プリントするときの解像度をあらかじめ設定できます。設定した値が撮影時に画像と共にカードに記憶されます。

**[オート]**　画像サイズにあわせて自動的に設定されます。
**[カスタム]**　任意の数値を設定します。▷を押すと設定画面が表示されます。

## その他

### ピクセルマッピング　☞P.128

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。

### 露出基準調整

適正露出の基準値をお好みに合わせて、測光方式ごとに調整します。±1.0EVの範囲を1/6ステップで、設定できます。

**注意**

- 露出補正の範囲は±3.0EVです。**[露出基準調整]**をすると、基準値を調整した方向の範囲が狭まります。
- 露出基準調整量は撮影時に確認できません。通常の露出補正を目的とする場合は、露出補正してください。☞「露出補正」(P.43)

### 警告レベル

（点灯）が表示されるタイミングを変更することができます。通常は設定を変更する必要はありません。
☞「液晶モニタ（撮影）」(P.22)

**注意**

- 電池残量表示は電池の充電を促す警告ではありません。が点滅表示したら、電池を充電してください。

### 水準器調整

水準器の角度のずれを調整できます。

**[リセット]**　出荷時の調整値に戻ります。
**[キャリブレーション]**　現在のカメラの状態位置を0点とします。

**注意**

- カメラを水平に固定させた状態で**[キャリブレーション]**を実行してください。カメラが安定していないと、希望通りの0点調整ができない場合があります。

# プリント予約（DPOF）

## プリント予約とは

プリント予約とは、カード内の画像にプリントする枚数や、日付を印刷する指定を記憶させることです。
プリント予約した画像は以下の方法でプリントできます。

**DPOF（digital print order format）**

デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録する規格。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応の写真店やプリンタでプリントアウトを簡単に行うことができます。

**DPOF対応のプリントショップでプリントする**

予約されている内容にしたがってプリントできます。

**DPOF対応のプリンタでプリントする**

パソコンを使わずに、専用プリンタから直接プリントできます。詳しくはお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。PCカードアダプタが必要な場合もあります。

**注意**

- 他の DPOF 機器で設定された DPOF 予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。また、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- プリンタまたはプリントショップにより、一部機能が制限されることがあります。
- RAWデータはプリント予約できません。
- ムービー画像はプリント予約できません。

**DPOFを使用せずにプリントサービスを利用される方へ**

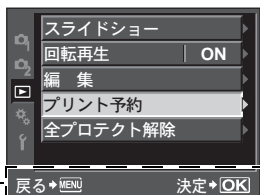
プリントショップなどのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。

## 1コマ予約する

操作ガイドにしたがって1枚の画像をプリント予約してみましょう。

**1** **MENU ▸ [▶] ▸ [プリント予約]**

- 再生中に㊉ボタンを押して、選択することもできます。

操作ガイド

**2** **[1コマ予約]を選択し、㊉ボタンを押します。**

**3** **◁ ▷ を押してプリント予約したいコマを選択し、△ ▽ を押してプリントする枚数を設定します。**

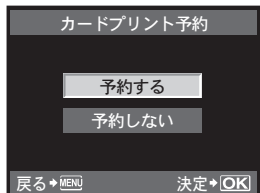
- 複数の画像をプリント予約する場合は、この手順を繰り返します。

**4** **プリント予約が終わったら㊉ボタンを押します。**

- 1コマ予約のメニュー画面が表示されます。

**5** **日時の種類を選択し、㊉ボタンを押します。**

**[無し]** 画像のみプリントされます。
**[日付]** 画像と撮影年月日がプリントされます。
**[時刻]** 画像と撮影時刻がプリントされます。

**6** **[予約する]を選択し、㊉ボタンを押します。**

## 全コマ予約する

カード内全画像をプリント予約します。プリント枚数は1枚固定です。

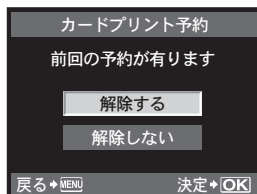
**1** **MENU ▸ [▶] ▸ [プリント予約]**
**2** **[全コマ予約]を選択し、OKボタンを押します。**
**3** **日時の種類を選択し、OKボタンを押します。**
**[無し]** 画像のみプリントされます。
**[日付]** 画像と撮影年月日がプリントされます。
**[時刻]** 画像と撮影時刻がプリントされます。
**4** **[予約する]を選択し、OKボタンを押します。**

## プリント予約を解除する

すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

**1** **MENU ▸ [▶] ▸ [プリント予約]**

### すべての予約を解除する

**2** **[1コマ予約]または[全コマ予約]を選択し、OKボタンを押します。**
**3** **[解除する]を選択し、OKボタンを押します。**

### 1コマずつ予約を解除する

**2** **[1コマ予約]を選択し、OKボタンを押します。**
**3** **[解除しない]を選択し、OKボタンを押します。**
**4** **◁ ▷ を押してプリント予約を解除したいコマを選択し、▽ でプリント枚数を0に設定します。**
**5** **プリント予約の解除が終わったら、OKボタンを押します。**
**6** **日時の種類を選択し、OKボタンを押します。**
• プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。
**7** **[予約する]を選択し、OKボタンを押します。**

# ダイレクトプリント（PictBridge）

カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でお確かめください。

**PictBridge**

異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

**標準設定**

PictBridge対応プリンタには、それぞれプリント条件の標準設定があります。各設定画面（☞P.114）で**[凸標準設定]**を選択すると、この設定にしたがってプリントされます。標準設定の内容については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタメーカーにおたずねください。

- 使用できるプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって選択できる項目が異なる場合があります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。
- プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

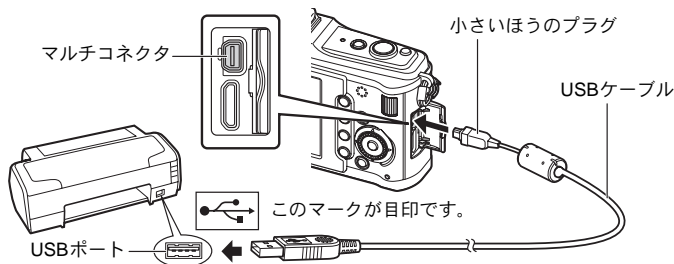
**注意**

- プリントを始める際は、充電した電池をご使用ください。
- RAWデータで記録された画像は、プリントできません。
- ムービー画像はプリントできません。
- USBケーブルを取り付けているときは、カメラはスリープモード（待機状態）になりません。

## カメラをプリンタに接続する

付属のUSBケーブルで、カメラをPictBridge対応プリンタに接続します。

**1 プリンタの電源を入れて、カメラに付属のUSBケーブルで、カメラのマルチコネクタとプリンタのUSBポートを接続します。**

- プリンタの電源の入れ方および USB 端子の位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

## 2 カメラの電源を入れます。

• USBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。

## 3 △▽で[プリント]を選択します。

• [しばらくお待ちください]と表示された後、カメラとプリンタが接続され、カメラにプリントモード選択画面が表示されます。
「設定しながらプリントする」（☞P.113）へ進んでください。

USB
ストレージ
MTP
プリント
終了
決定➔OK

**注意**

• 数分待ってもプリントモード選択画面が表示されないときは、USBケーブルを抜いて、手順1からやりなおしてください。

# かんたんプリントでプリントする

## 1 ◁▷を押して、プリントする画像をカメラに表示します。

• プリントしたい画像をカメラに表示してから、USBケーブルでカメラとプリンタを接続すると、すぐに右の画面が表示されます。

## 2 ▷を押します。

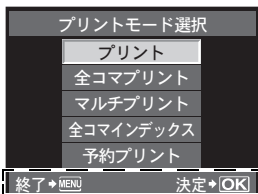
• プリントが終わると画像選択の画面が表示されます。別の画像をプリントするときは◁▷を押して画像を選択し、ⓞボタンを押します。
• 終了するときは、画像選択の画面が表示された状態でカメラからUSBケーブルを抜きます。

# 設定しながらプリントする

## 1 操作ガイドにしたがってプリントの各設定をします。

### プリントモードを選択する

プリントの種類（プリントモード）を選びます。
選択できるプリントモードは、以下の通りです。

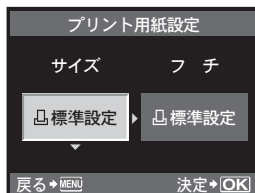
| | |
|---|---|
| **[プリント]** | 選択した画像をプリントします。 |
| **[全コマプリント]** | カードの中の全画像をプリントします。 |
| **[マルチプリント]** | 1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。 |
| **[全コマインデックス]** | カードの中の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。 |
| **[予約プリント]** | プリント予約の内容にしたがってプリントします。あらかじめプリント予約された画像がないときは、選択できません。（☞P.110） |

この部分に表示されるガイドにしたがって操作を進めてください。

## 用紙を設定する

この設定内容は、プリンタの対応によって選択肢が異なります。プリンタの標準設定しか使えない場合は、設定を変更することができません。

**[サイズ]** プリンタで用意されている用紙に合わせます。

**[フチ]** 用紙いっぱいにプリントするか、フチをつけてプリントするかを選択します。

**[分割数]** 同じ画像を1枚の用紙に何枚プリントするかを選択します。プリントモードで**[マルチプリント]**を選択したとき、この設定項目が表示されます。

## プリントする画像を選ぶ

プリントする画像を選びます。選んだ画像をあとでまとめてプリント（1枚予約）したり、表示している画像をプリントすることができます。

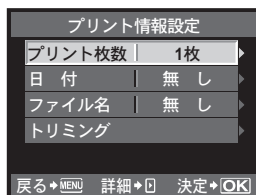
**[プリント]**（OK） 表示している画像をプリントします。**[1枚予約]**をした画像が1枚でもあると、予約されている画像のみプリントされます。

**[1枚予約]**（▲） 表示している画像をプリントする予約をします。**[1枚予約]**をしたら、◁▷で、次に予約したい画像を選んでください。

**[詳細予約]**（▼） 表示している画像のプリントする枚数や情報を、プリントするかどうかを設定します。操作については次項「プリントする情報を設定する」（☞P.115）をご覧ください。

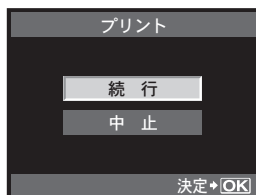
### プリントする情報を設定する

画像をプリントする際に、日付やファイル名の情報を同時にプリントするかどうかを設定します。**[全コマプリント]**モードの場合、**[オプション設定]**を選択すると下の画面が表示されます。

**[プリント枚数]** プリントする枚数を設定します。
**[日付]** 画像に記録されている日付情報を同時にプリントします。
**[ファイル名]** 画像に記録されているファイル名を同時にプリントします。
**[トリミング]** 画像をトリミングしてプリントします。メインダイヤルでトリミングサイズを、十字ボタンでトリミング位置を指定します。

**2 プリントする画像や内容が決まったら、[プリント]を選択し、Ⓞボタンを押します。**

**[プリント]** プリンタへプリントする画像のデータを転送します。
**[中止]** プリントをやめます。設定した予約などはすべて失われます。予約した内容を残して続けて予約や設定をしたいときは、**MENU**ボタンを押します。一つ前の設定に戻ります。

• プリントを始めてから途中で停止したいときは、Ⓞボタンを押します。

**[続行]** プリントを続行します。
**[中止]** プリントを停止します。設定した予約はすべて失われます。

## 操作の流れ

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、カメラのカードに保存されている画像を付属のOLYMPUS Masterを使ってパソコンに取り込みます。

**準備するもの**

- OLYMPUS Master 2 CD-ROM
- USBケーブル
- 動作環境を満たしたパソコン（動作環境については、インストールガイドをご覧ください。）

OLYMPUS Masterをインストールする
（OLYMPUS Masterに同梱されているインストールガイドを参照）

▼

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続する （☞P.117）

▼

OLYMPUS Masterを起動する （☞P.118）

▼

画像をパソコンに保存する （☞P.118）

▼

カメラをパソコンから取り外す （☞P.119）

## 付属のOLYMPUS Masterを使う

### OLYMPUS Masterとは?

OLYMPUS Masterはデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむためのアプリケーションソフトウェアです。パソコンにインストールすると、以下のようなことができます。

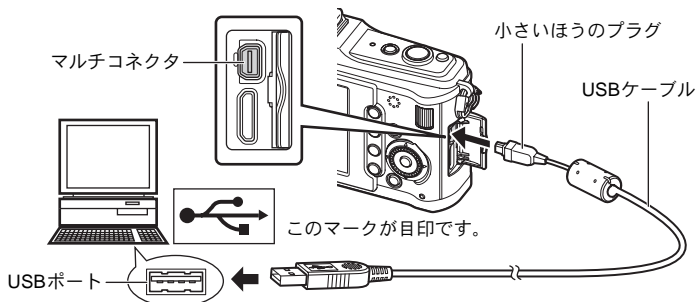
- **カメラやメディアから画像を取り込む**
- **画像を見る**
  スライドショーを楽しんだり、サウンドを再生することもできます。
- **画像を整理・管理する**
  アルバム、またはフォルダで画像を整理できます。取り込んだ画像は撮影日時で自動的に整理され、日付によって画像をすばやく見つけることができます。
- **フィルタ機能、補正機能で画像を補正する**
- **画像を編集する**
  画像の回転や反転、トリミング、サイズ変更などの編集ができます。
- **プリンタを使ってプリントする**
  簡単な操作でプリントできます。
- **カメラのバージョンアップをする**
- **RAW画像を現像する**

その他の機能や操作方法については、OLYMPUS Masterの「ヘルプ」をご覧ください。

# カメラをパソコンに接続する

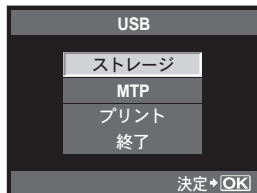
付属のUSBケーブルで、カメラをパソコンに接続します。

**1 付属のUSBケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのマルチコネクタを接続します。**

- USBポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

**2 カメラの電源を入れます。**

- USB ケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。

**3 △ ▽ を押して[ストレージ]を選択します。㊀ボタンを押します。**

**4 パソコンがカメラを新しい機器として認識します。**

**Windowsの場合**

- 初めてカメラとパソコンを接続したときは、パソコンがカメラを自動的に認識する動作を行い、終了のメッセージが表示されます。「OK」をクリックしてメッセージを終了してください。
  カメラは「リムーバブルディスク 」として認識されます。

**Macintoshの場合**

- Mac OSでは、iPhotoが画像処理ソフトとしてあらかじめ設定されています。このデジタルカメラを初めて接続したときは、iPhotoが自動的に起動します。iPhotoを閉じて、OLYMPUS Masterを起動させてください。

**注意**

- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。

# OLYMPUS Masterを起動する

**Windowsの場合**

**1 デスクトップの「OLYMPUS Master 2」アイコン をダブルクリックします。**

**Macintoshの場合**

**1 「OLYMPUS Master 2」フォルダ内の「OLYMPUS Master 2」アイコン をダブルクリックします。**

- ブラウズウィンドウが表示されます。
- OLYMPUS Masterをインストールして初めて起動すると、ブラウズウィンドウの前にOLYMPUS Masterの初期設定画面とユーザー登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。

**OLYMPUS Masterを終了するには**

**1 各ウィンドウで「閉じる」 をクリックします。**

- OLYMPUS Masterが終了します。

# カメラの画像をパソコンで表示する

## 取り込んで保存する

**1 ブラウズウィンドウで「取り込み」 をクリックして、「カメラから取り込み」 をクリックします。**

- カメラから取り込みウィンドウが表示されます。カメラ内のすべての画像が一覧表示されます。

**2 「新規アルバム」を選択して、アルバムの名前を入力します。**

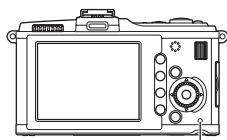
**3 画像ファイルを選択し、「取り込み」ボタンをクリックします。**

- 取り込み完了のメッセージが表示されます。

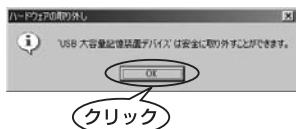
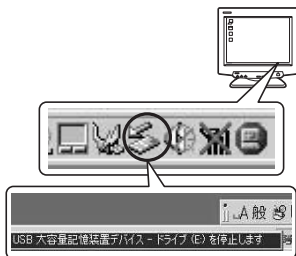
**4 「今すぐ画像を見る」ボタンをクリックします。**

- ブラウズウィンドウに取り込んだ画像が表示されます。

## カメラを取り外す

**1 カメラのカードアクセスランプの点滅が終了していることを確認します。**

**2 USBケーブルを抜く準備をします。**

**Windowsの場合**

1) システムトレイに表示されている「ハードウェアの取り外し」アイコン をクリックします。
2) 表示されるメッセージをクリックします。
3) 「デバイスは安全に取り外すことができます」が表示されたら、「OK」をクリックします。

**Macintoshの場合**

1) デスクトップの「名称未設定」（または「NO_NAME」）アイコンをドラッグすると「ごみ箱」アイコンが「取り出し」アイコンに変わりますので、そのまま「取り出し」アイコンの上にドロップしてください。

**3 カメラからUSBケーブルを抜きます。**

**注意**

- Windows の場合：
  「ハードウェアの取り外し」をクリックした際、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないこと、またカメラの画像ファイルを開いていたアプリケーションが起動していないことを確認してください。確認後、「ハードウェアの取り外し」の操作を再度行い、その後ケーブルを外してください。

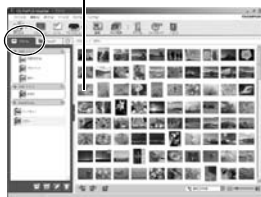
# 静止画を見る

**1 ブラウズウィンドウの「アルバム」タブをクリックし、見たいアルバムを選択します。**

- 選択したアルバムの画像がサムネイルエリアに表示されます。

**2 見たい静止画のサムネイルをダブルクリックします。**

- 画像編集ウィンドウに切り換わり、画像が拡大されます。
- 「戻る」 をクリックすると、ブラウズウィンドウに戻ります。

サムネイル

# OLYMPUS Masterを使用せずにパソコンに画像を取り込んで保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。OLYMPUS Masterを使用せずに付属の専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続して、画像を取り込んで保存することもできます。接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

Windows ：2000 Professional/XP Home Edition/XP Professional/Vista/7
Macintosh：Mac OS X v10.3以降

**注意**

- Windows Vistaをお使いの場合は、117ページの手順3で**[MTP]**を選択することでWindows フォト ギャラリーが使用できます。
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
  - 拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン
  - 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコンおよび自作パソコン

# こんなときは?

## 電池を入れてもカメラが動かない

### 電池が充電されていない

• 充電器で電池を充電してください。

### 低温下にあり、一時的に電池の性能が低下した

• 電池は低温下にあると性能が低下して、カメラを動かすための十分な充電量が確保できない場合があります。カメラから電池を一度取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

## シャッターボタンを押しても撮影ができない

### カメラが自動的に電源オフになっていた

• カメラは何も操作しないと一定時間後にスリープモードと呼ばれる省電力状態に入り、カメラは動作停止します。シャッターボタンなどいずれかのボタンを操作するとカメラは動作を再開します。☞「スリープ時間」(P.100)
更に一定時間が経過するとカメラの電源が切れます。

### フラッシュが充電中である

• 液晶モニタの ⚡ マークが点滅していたらフラッシュが充電中です。点滅が終わるまで待ってからシャッターボタンを押してください。

### ピント合わせができなかった

• 液晶モニタの合焦マークが点滅しているときは、AFでピントを合わせることができなかったときです。もう一度シャッターボタンを押しなおしてください。

### 長秒時ノイズ低減が作動している

• 夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。このカメラは長秒時の撮影後にノイズを取り除く動作をしますが、この間、次の撮影はできません。**[長秒時ノイズ低減]**は**[OFF]**に設定することもできます。☞「長秒時ノイズ低減」(P.104)

## 日時設定がされていない

### 購入時のままで使用している

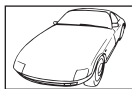
• お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。☞「日時を設定する」(P.7)

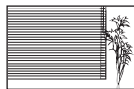
### カメラから電池を抜いていた

• 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります(当社試験条件による)。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。

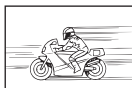
## オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

合焦マーク点滅
このようなものにはピントが合いません。

コントラストがはっきりしない被写体

画面中央に極端に明るいものがある場合

縦線のない被写体

合焦マークは点灯するが、写したいものにピントが合わない。

遠いものと近いものが混在する場合

動きの速いもの

被写体がAFターゲット内にない

いずれの場合も、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりとしたものでピントを合わせた後、構図を決めて撮影してください。☞「ピントを固定してから構図を決めて撮影する（フォーカスロック）」（P.50）

## 撮影した画像が全体的に白っぽい

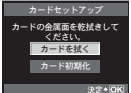
逆光や半逆光で撮影すると起こる場合があります。フレアやゴーストと言われる現象によるものです。できるだけ画面内に強い光源が写らないように構図を考えましょう。画面内に光源がなくてもフレアは発生する場合があります。レンズフードを使って光源から直接レンズに光があたらないようにします。レンズフードでも効果がない場合は手などをかざして光を遮ってみましょう。
☞「交換レンズについて」（P.131）

## 被写体に無い明るい点が写り込む

撮像素子のドット抜けの可能性があります。**[ピクセルマッピング]**を行ってください。また、消えないときは何度かピクセルマッピングを行ってみてください。
☞「画像処理機能をチェックする—ピクセルマッピング」（P.128）

## メニューで選べない機能がある

メニューを表示したとき、十字ボタンを使っても選べない項目がある場合があります。

- 現在の撮影モードで設定できない項目の場合
- すでに設定済みの項目との組み合わせの関係で設定できない場合：
  **[□]**と**[長秒時ノイズ低減]**の組み合わせなど。

## 電源を切るとカメラが振動する

これは手ぶれ補正機構の初期化動作で、この動作を行わないと、適正な補正効果が得られない場合があります。

### 設定した機能が元に戻ってしまう

P/A/S/M/🎥以外の撮影モードでは、モードダイヤルを回したり電源を切ると設定した機能が初期設定に戻ります。

## エラーコード

| 液晶モニタ表示 | 原因 | こうしましょう |
|---|---|---|
| ! カードを認識できません | カードが入っていません。または認識できません。 | カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。 |
| ! このカードは使用できません | カードに問題があります。 | もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードを初期化してください。初期化できない場合、このカードはご使用になれません。 |
| ! 書き込み禁止になっています | カードが書き込み禁止になっています。 | カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください。☞P.129 |
| ! 撮影可能枚数が0です | カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。 | カードを交換するか、不要な画像を消してください。<br>大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。 |
| ! カード残量がありません | カードに空き容量がなく、プリント予約や新たな記録をすることができません。 | カードを交換するか、不要な画像を消してください。<br>大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。 |
| カードセットアップ<br>カードの金属面を乾拭きしてください。<br>カードを拭く<br>カード初期化<br>決定➡OK | カードが読み込めていません。またはカードが初期化されていません。 | • **[カードを拭く]**を選択し、ⓞⓚボタンを押してカメラの電源を切ります。カードを抜いて乾いた柔らかい布で金属面を乾拭きしてください。<br>• **[カード初期化]**▶**[実行]**の順に選択し、ⓞⓚボタンを押して初期化します。初期化すると、カード内のデータはすべて消去されます。 |
| 画像が記録されていません | カードに記録画像がないため画像が再生できません。 | カードに画像が記録されていません。<br>撮影してから再生してください。 |

| 液晶モニタ表示 | 原因 | こうしましょう |
|---|---|---|
| この画像は再生できません | 選択した画像に問題があり、再生できません。または、このカメラでは再生できない画像です。 | パソコンの画像ソフトなどで再生してください。<br>それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。 |
| この画像は編集できません | 他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。 | パソコンの画像ソフトなどで編集してください。 |
| ℃/℉ | 連続使用などによりカメラの内部温度が上昇しています。 | カメラの電源を切り、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。 |
| しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください | | しばらくすると、自動的に電源が切れます。カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。 |
| 電池残量がありません | 電池残量がありません。 | 充電してください。 |
| 接続されていません | カメラがパソコンまたはプリンタに正しく接続されていません。 | カメラとパソコンまたはプリンタを正しく接続しなおしてください。 |
| 用紙がありません | 用紙切れです。 | 用紙をプリンタに補充してください。 |
| インクがありません | インク切れです。 | インクをプリンタに補充してください。 |
| 紙づまりです | 用紙が詰まっています。 | 詰まった用紙を取り除いてください。 |
| プリンタの設定が変更されました | プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした。 | プリントの設定中にはプリンタの操作はしないでください。 |

| 液晶モニタ表示 | 原因 | こうしましょう |
|---|---|---|
| プリンタエラーです | エラーが発生しました。 | カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから再度電源を入れなおしてください。 |
| この画像はプリントできません | 他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。 | パソコンなどを使ってプリントしてください。 |
| ズームリングを回し繰り出して下さい。 | 沈胴式レンズの、レンズが沈胴したままになっています。 | レンズを繰り出してください。 |
| レンズの状態を確認してください。 | レンズとの間でエラーが発生しています。 | カメラの電源を切り、レンズとの接続状態を確認してから再度電源を入れなおしてください。 |

## アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り7年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、または当社サービスステーションにお問い合わせください。
- 海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載のEマークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。
- 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理個所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

# お手入れ

## カメラのお手入れと保管

### カメラのお手入れ

カメラのお手入れの際は、カメラの電源を切り、電池を取り外します。

**カメラの外側：**

- 柔らかい布でやさしく拭きます。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ります。

**液晶モニタ：**

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

**レンズ：**

- 市販のレンズブロアーでほこりを吹き払います。レンズはレンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

### カメラの保管

- 長期間、カメラを使用しないときは、電池とカードを外してください。風通しがよく、涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 電池は定期的に取り換えて、カメラの機能をテストしてください。

### 撮像素子のクリーニングとチェック

このカメラは撮像素子にゴミが付着しない構造にするとともに、撮像素子前面に付着したゴミやホコリを超音波振動により、払い落とす機能を備えています（ダストリダクション機能）。ダストリダクション機能は、カメラの電源を入れたときに働きます。また撮像素子と画像処理回路のチェックを行うピクセルマッピングを働かせる際にも同時に作動します。カメラの電源を入れるときはダストリダクションが働きますので、カメラをできるだけ正位置にしてください。ダストリダクションが動作中はSSWFランプが点滅します。

☞「ダストリダクション機能の作動」（P.6）

**注意**

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- 薬品を扱うような場所での保管は、腐食などの原因になるため避けてください。
- レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。
- 長期間使用しなかったカメラは、使用前に各部の点検をしてください。海外旅行などの大切な撮影の前には、必ず撮影をしてカメラが正常に動作することを確かめてください。

## 画像処理機能をチェックする—ピクセルマッピング

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

**1** **MENU ▸ [⚙] ▸ [▣] ▸ [ピクセルマッピング]**

**2** **▷ を押して、Ⓞボタンを押します。**

- ピクセルマッピング実行中の**[処理中]**バーが表示されます。終了するとメニューに戻ります。

**注意**

- 誤って処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

# カードについて

## 使用できるカード

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSDメモリーカード、SDHCメモリーカード（別売）です。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

### SDカードの書き込み禁止スイッチ

SDカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。

**注意**

- 初期化や削除してもカード内のデータは完全に消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

## カードを初期化する

他のカメラやパソコンで初期化したカードを使用する場合は、必ずこのカメラで初期化しなおしてください。
初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。すでに使用しているカードを初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。

**1 MENU ▸ [📷] ▸ [カードセットアップ]**

**2 △ ▽ で[カード初期化]を選択します。㊋ボタンを押します。**

**3 △ ▽ で[実行]を選択します。㊋ボタンを押します。**

- 初期化が実行されます。

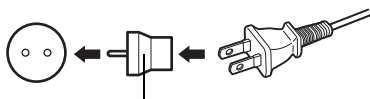
## 電池／充電器について

- 電池は、当社製リチウムイオン電池（BLS-1）1 個を使用します。
  それ以外の電池は使用できません。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
  - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - 長時間、液晶モニタで画像を表示する。
  - パソコンやプリンタとの接続時。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- ご購入の際、充電池は十分に充電されていません。ご使用の前に付属の充電器（BCS-1）で充電を行ってください。
- 付属の充電器による充電池の充電時間は、通常約3時間30分（目安）です。
- 専用の充電器以外は使用しないでください。

**注意**

- 指定以外の電池を使用した場合、爆発（または破裂）の危険があります。使用済み電池は取扱説明書の「電池について」（☞P.153）に従って廃棄してください。

## 海外での使用について

- 充電器は、世界中のほとんどの家庭用電源AC100～240 V（50/60 Hz）でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、電源コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプター（市販）が必要になる場合があります。

変換プラグアダプター（市販）

イラストの変換プラグアダプター（市販）は一例です。
詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。

- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、充電器が故障することがありますので使用しないでください。

# 交換レンズについて

撮影シーン、目的に合わせてレンズを選択してください。
レンズは専用レンズ（マイクロフォーサーズマウント）をご使用ください。「フォーサーズシステムレンズ」を使うにはアダプター（別売）が必要になります。また、OMシステムのレンズを使用するためのアダプター（別売）も用意されています。

## M. ZUIKO DIGITAL用交換レンズ

「フォーサーズシステム」から更に薄型化・小型化を追求した「マイクロフォーサーズシステム」専用の交換レンズです。

マイクロフォーサーズマウント規格レンズとマイクロフォーサーズマウント規格カメラには右のマークがついています。

### マイクロフォーサーズシステムレンズの焦点距離と被写界深度について

35 mm判カメラに対してマイクロフォーサーズシステムカメラは、同じ焦点距離、同じ絞り値に対して得られる効果が異なります。

**焦点距離**

35 mm判カメラと同じ焦点距離に対して、2倍相当の望遠効果が得られます。そのため、小型の望遠レンズ設計が可能です。たとえば、マイクロフォーサーズシステムレンズ14-42 mmは、35 mm判換算で28-84 mmに相当します。

- マイクロフォーサーズシステムレンズの画角を35 mm判換算した場合、得られる遠近感は35 mm判カメラと同じです。

**被写界深度**

35 mm判カメラに対して2倍相当の深い深度が得られます。たとえば、F2.8の明るさのマイクロフォーサーズシステムレンズは、35 mm判換算でF5.6に相当します。

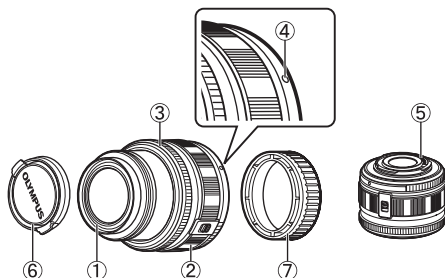
- 背景のボケ量は、35 mm判換算した値で得られる効果と同じです。

**注意**

- ボディキャップやレンズの着脱を行うときは、カメラ内部へのゴミや異物の侵入を防ぐため、レンズの装着部を下に向けて行ってください。
- 埃の多い場所ではボディキャップの取り外しや、レンズの装着を行わないでください。
- カメラに取り付けられたレンズを、太陽に向けないでください。太陽光が焦点を結んで故障や火災の原因になることがあります。
- ボディキャップ、リアキャップをなくさないようにご注意ください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、埃の侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。

## 主なM. ZUIKO DIGITALレンズの仕様

### ■ 各部の名称

① フィルター取り付けネジ
② ズームリング
③ フォーカスリング
④ 取り付け指標
⑤ 電気回路接点
⑥ フロントキャップ
⑦ リアキャップ

### ■ レンズとカメラの組み合わせ

<table>
<tr><th>レンズ</th><th>カメラ</th><th>装着</th><th>AF</th><th>測光</th></tr>
<tr><td>マイクロフォーサーズマウント規格レンズ</td><td rowspan="3">マイクロフォーサーズマウント規格カメラ</td><td>可</td><td>可</td><td>可</td></tr>
<tr><td>フォーサーズマウント規格レンズ</td><td rowspan="2">マウントアダプター装着で可</td><td>可*1</td><td>可</td></tr>
<tr><td>OMシステムレンズ</td><td>不可</td><td>可*2</td></tr>
<tr><td>マイクロフォーサーズマウント規格レンズ</td><td>フォーサーズマウント規格カメラ</td><td>不可</td><td>不可</td><td>不可</td></tr>
</table>

*1 **[AF方式]**の**[C-AF]**および**[C-AF+TR]**では使用できません。
*2 正確な測光はできません。

## ■ 主な仕様

| 項目 | 14-42 mm | 17 mm |
|---|---|---|
| マウント | マイクロフォーサーズマウント | |
| 焦点距離 | 14～42 mm | 17 mm |
| 最大口径比 | F3.5～5.6 | F2.8 |
| 画角 | 75.4°～28.9° | 64.9° |
| レンズ構成 | 8群9枚 | 4群6枚 |
| | 多層膜コーティング | |
| 絞り制御 | F3.5～22 | F2.8～22 |
| 撮影距離 | 0.25 m～∞ | 0.2 m～∞ |
| ピント調整方式 | AF/MF切り換え | |
| 質量（フード、キャップを除く） | 150 g | 71 g |
| 大きさ（最大径 × 全長） | ø62 × 43.5 mm | ø57 × 22 mm |
| フィルター取り付けネジ径 | 40.5 mm | 37 mm |

## ■ 保管上のご注意

- 使用後は清掃して保管してください。レンズ面のごみや汚れは、ブロアーブラシや刷毛で取り除きます。レンズの汚れは市販のレンズクリーニングペーパーを使ってください。有機溶剤は使わないでください。
- 必ず前後のレンズキャップを取り付けて保管してください。
- 防虫剤のあるところに保管しないでください。

## ! 撮影時のご注意

- フィルターを2枚以上重ねたり、厚みがある種類を使用したときは、画面にけられが生ずることがあります。

# 電子ビューファインダー（別売）を使う

電子ビューファインダー（別売:VF-2）を使用すると、撮影画面をファインダーで見ることができます。日中などとても明るい場所で液晶モニタが見にくいときや、ローアングルで使用するときに便利です。
電子ビューファインダーの取扱説明書も合わせてご覧ください。

**1 カメラの電源を切ります。**

**2 カメラ本体のホットシューカバーをスライドさせて外します。**

- ホットシューカバーはなくさないように保管してください。

**3 電子ビューファインダーのコネクタカバーを外します。**

**4 カメラ本体のホットシューに合わせ、止まるまで差し込みます。**

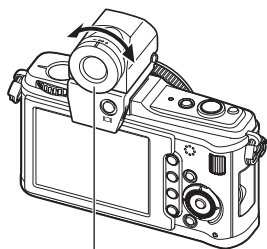
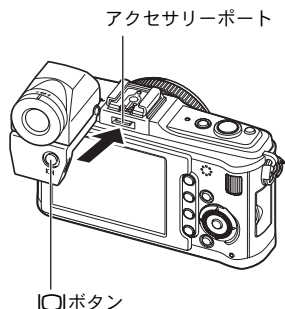
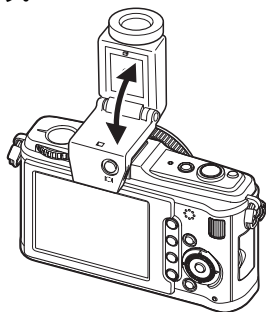
- 電子ビューファインダーの下部を押して差し込んでください。

**5 カメラの電源を入れます。**

**6 |◯| ボタンを押すたびに、液晶モニタ表示と電子ビューファインダー表示が切り換ります。**

- 電子ビューファインダーの明るさと色温度を調整することができます。
☞「EVF調整」（P.102）

**7 視度補正リングを回し、ファインダーで見える像がはっきり見える位置に合わせます。**

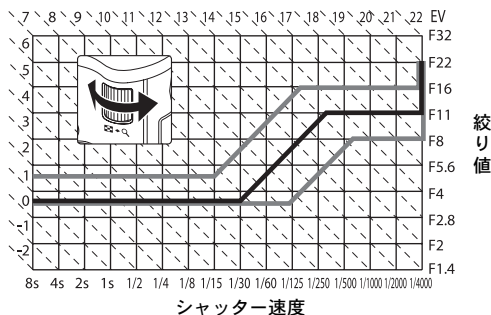
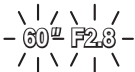
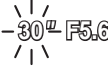
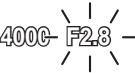
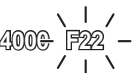
**8 お好みの角度（最大90度）に変更できます。**

**取り扱い上のご注意**

- 外部フラッシュと電子ビューファインダーを併用して使うことはできません。
- 持ち運びの際は、電子ビューファインダーを持たないでください。カメラが外れて落下することがあります。
- 電子ビューファインダーを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

# プログラム線図（Pモード）

**P**モードのときは、被写体の明るさに応じて、下のグラフ（プログラム線図）のように、絞り値とシャッター速度が選択されるようにプログラムされています。プログラム線図は装着するレンズによって変わります。

ズームレンズ（14-42 mm F3.5-5.6）の場合（焦点距離：14 mm時）

プログラムシフト

# シャッター速度連動範囲

| 撮影モード | フラッシュ発光秒時 | 同調秒時上限*1 | 発光固定秒時*2 |
|---|---|---|---|
| **P** | 1/（レンズの焦点距離 × 2）または同調秒時設定のいずれか遅い方 | 1/180 | 1/60 |
| **A** | | | |
| **S** | 同調秒時設定 | | — |
| **M** | | | |

*1 メニューで変更可：1/60-1/180 ☞「⚡同調速度」（P.104）
*2 メニューで変更可：1/30-1/180 ☞「⚡低速制限」（P.104）

# 露出警告表示

シャッターボタンを半押ししたとき、適正な露出が得られない場合は液晶モニタの表示が点滅します。

| 撮影モード | 警告表示例（点滅） | 状態 | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| P | 60" F2.8 | 被写体が暗すぎます。 | • ISO感度を上げてください。<br>• フラッシュを使用してください。 |
| | 4000 F22 | 被写体が明るすぎます。 | • ISO感度を下げてください。<br>• 市販のNDフィルター（光量調節用）を使用してください。 |
| A | 30" F5.6 | 露出アンダーです。 | • 絞り値を小さくしてください。<br>• ISO感度を上げてください。 |
| | 4000 F5.6 | 露出オーバーです。 | • 絞り値を大きくしてください。<br>• ISO感度を下げるか、市販のNDフィルター（光量調節用）を使用してください。 |
| S | 4000 F2.8 | 露出アンダーです。 | • シャッター速度を遅くします。<br>• ISO感度を上げてください。 |
| | 4000 F22 | 露出オーバーです。 | • シャッター速度を速くします。<br>• ISO感度を下げるか、市販のNDフィルター（光量調節用）を使用してください。 |

* 使用されるレンズおよび焦点距離により、点滅時の絞り値は変わります。

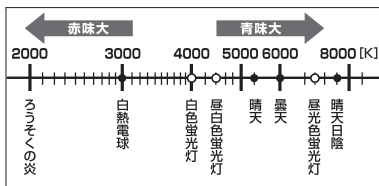
# 撮影モード別使用可能なフラッシュモード

| 撮影モード | スーパーコンパネの表示 | フラッシュモード | 発光タイミング | 発光許可条件 | シャッター速度制限条件 |
|---|---|---|---|---|---|
| P<br>A | AUTO | オート発光 | 先幕シンクロ | 暗いとき、逆光*1のとき発光 | 1/30秒～1/180秒 |
| | | オート発光（赤目軽減） | | | |
| | | 強制発光 | | いつでも発光 | |
| | | 発光禁止 | — | — | — |
| | SLOW | スローシンクロ（赤目軽減） | 先幕シンクロ | 暗いとき、逆光*1のとき発光 | 60秒～1/180秒 |
| | SLOW | スローシンクロ（先幕シンクロ） | | | |
| | SLOW2 | スローシンクロ（後幕シンクロ） | 後幕シンクロ | | |
| S<br>M | | 強制発光 | 先幕シンクロ | いつでも発光 | 60秒～1/180秒 |
| | | 強制発光（赤目軽減） | | | |
| | | 発光禁止 | — | — | — |
| | 2nd CURTAIN | 強制発光／スローシンクロ（後幕シンクロ） | 後幕シンクロ | いつでも発光 | 60秒～1/180秒 |

*1 専用フラッシュがスーパーFPモードに設定されているとき、通常のフラッシュ発光秒時以上で逆光を判定して発光します。「スーパーFP発光」（P.62）

• ではAUTO、のみ選択できます。

# ホワイトバランス色温度

物質は温度が高くなるとしだいに光り始め、その光は温度が高くなるにしたがい赤みを帯びた光色から青みを帯びた光色に変化します。このように光の色を絶対温度：K（ケルビン）で表したものを色温度と呼びます。太陽などの自然光源、電球などの人工光源の光色は色温度で表すことができます。
これに対して、蛍光灯など色温度で表すことが不適当な人工光源があります。これらの光色は色温度による色味からは、ずれた色味をしています。この色味のずれ量が小さければ色温度換算することがあり、これを相関色温度といいます。
このカメラのプリセット値4000Kと4500K、6600Kは相関色温度です。厳密な意味での色温度ではありません。蛍光灯下での撮影のときにお使いください。

• 各光源として設定された色温度は目安です。

# 画質モードとファイル容量、撮影可能枚数

表内のファイルサイズは、アスペクト比4：3のときのおおよその目安です。

| 画質モード | 画像サイズ（ピクセルサイズ） | 圧縮率 | ファイル形式 | ファイルサイズ（MB） | 撮影可能枚数（SD/SDHCカード：1GBの場合） |
|---|---|---|---|---|---|
| RAW | 4032 × 3024 | ロスレス圧縮 | ORF | 約14 | 54 |
| L SF | | 1/2.7 | JPEG | 約8.4 | 101 |
| L F | | 1/4 | | 約5.9 | 145 |
| L N | | 1/8 | | 約2.7 | 320 |
| L B | | 1/12 | | 約1.8 | 477 |
| M SF | 3200 × 2400 | 1/2.7 | | 約5.6 | 154 |
| M F | | 1/4 | | 約3.4 | 255 |
| M N | | 1/8 | | 約1.7 | 504 |
| M B | | 1/12 | | 約1.2 | 747 |
| M SF | 2560 × 1920 | 1/2.7 | | 約3.2 | 269 |
| M F | | 1/4 | | 約2.2 | 395 |
| M N | | 1/8 | | 約1.1 | 776 |
| M B | | 1/12 | | 約0.8 | 1143 |
| M SF | 1600 × 1200 | 1/2.7 | | 約1.3 | 673 |
| M F | | 1/4 | | 約0.9 | 993 |
| M N | | 1/8 | | 約0.5 | 1893 |
| M B | | 1/12 | | 約0.4 | 2753 |
| S SF | 1280 × 960 | 1/2.7 | | 約0.9 | 1044 |
| S F | | 1/4 | | 約0.6 | 1514 |
| S N | | 1/8 | | 約0.3 | 2884 |
| S B | | 1/12 | | 約0.3 | 4038 |
| S SF | 1024 × 768 | 1/2.7 | | 約0.6 | 1594 |
| S F | | 1/4 | | 約0.4 | 2243 |
| S N | | 1/8 | | 約0.3 | 4038 |
| S B | | 1/12 | | 約0.2 | 5507 |
| S SF | 640 × 480 | 1/2.7 | | 約0.3 | 3563 |
| S F | | 1/4 | | 約0.2 | 5048 |
| S N | | 1/8 | | 約0.2 | 8654 |
| S B | | 1/12 | | 約0.1 | 10096 |

**注意**

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行っても表示される枚数が変わらないことがあります。
- 実際のファイルサイズは被写体によって変わります。
- 表示される撮影枚数は9999までです。
- ムービーの録画可能時間については、当社ホームページをご確認ください。

# マイモード・カスタムリセット設定で登録可能な機能

| 機能 | | マイモードの登録可否 | カスタムリセットの登録可否 |
|---|---|---|---|
| 露出補正 | | ✓ | ✓ |
| 手ぶれ補正 | | ✓ | ✓ |
| * | | ✓ | ✓ |
| フラッシュモード | | ✓ | ✓ |
| 仕上がり | | ✓ | ✓ |
| 階調 | | ✓ | ✓ |
| 画質モード | 静止画 | ✓ | ✓ |
| | ムービー | — | ✓ |
| アスペクト比設定 | | ✓ | ✓ |
| フラッシュ補正 | | ✓ | ✓ |
| AE BKT | | ✓ | ✓ |
| WB BKT | | ✓ | ✓ |
| FL BKT | | ✓ | ✓ |
| ISO BKT | | ✓ | ✓ |
| 多重露出 | | — | — |
| ビープ音 | | — | ✓ |
| 日時設定 | | — | — |
| | | — | — |
| モニタ調整 | | — | — |
| 撮影確認 | | — | ✓ |
| メニュー表示 | | — | — |
| バージョン | | — | — |
| AF方式 | 静止画 | ✓ | ✓ |
| | ムービー | — | ✓ |
| AFターゲット選択 | | ✓ | ✓ |
| フォーカスリング | | — | ✓ |
| ダイヤル機能 | | — | ✓ |
| ダイヤル方向 | | — | ✓ |
| AEL/AFLモード | | — | ✓ |
| AEL/AFL MEMO | | — | ✓ |
| Fnボタン機能 | | — | ✓ |
| マイモード設定 | | — | — |
| ボタンON保持時間 | | — | — |
| AEL/AFL⇄Fn | | — | ✓ |
| ボタン機能 | | — | ✓ |
| ボタン機能 | | — | ✓ |
| レリーズ優先S | | ✓ | ✓ |
| レリーズ優先C | | ✓ | ✓ |
| ビデオ出力 | | — | — |

| 機能 | マイモードの登録可否 | カスタムリセットの登録可否 |
|---|---|---|
| スリープ時間 | — | ✓ |
| USB接続モード | — | — |
| LVブースト | ✓ | ✓ |
| 顔検出 | — | — |
| INFO表示設定 | — | ✓ |
| 露出ステップ | ✓ | ✓ |
| 測光 | ✓ | ✓ |
| AEL測光モード | — | ✓ |
| ISO感度 | ✓ | ✓ |
| ISO感度ステップ | ✓ | ✓ |
| ISOオート設定 | — | ✓ |
| ISOオート有効 | — | ✓ |
| BULBリミッター | — | ✓ |
| 低振動モード[♦] | ✓ | ✓ |
| 同調速度 | ✓ | ✓ |
| 低速制限 | ✓ | ✓ |
| +連動 | — | ✓ |
| 長秒時ノイズ低減 | ✓ | ✓ |
| 高感度ノイズ低減 | ✓ | ✓ |
| WBモード | ✓ | ✓ |
| WB補正 | ✓ | ✓ |
| 全WBモード補正 | — | — |
| カラー設定 | ✓ | ✓ |
| シェーディング補正 | ✓ | ✓ |
| 画質設定 | — | ✓ |
| ピクセルサイズ | — | ✓ |
| ワンプッシュ消去 | — | ✓ |
| RAW+JPEG消去 | — | ✓ |
| ファイルネーム | — | — |
| 実行優先設定 | — | — |
| dpi設定 | — | — |
| ファイルネーム編集 | — | — |
| ピクセルマッピング | — | — |
| 露出基準調整 | ✓ | ✓ |
| MFアシスト | — | ✓ |
| 水準器 | — | ✓ |
| HDMI | — | — |
| ムービー +静止画撮影 | — | ✓ |
| ムービー録音 | — | ✓ |

✓：登録可　—：登録不可
* 低振動モードを含む

# メニュー一覧

## 撮影メニュー

| タブ | 機能 | 選択肢 | | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | カードセットアップ | 全コマ消去／カード初期化 | | P.89<br>P.129 |
| | カスタムリセット設定 | リセット | | P.92 |
| | | リセット1 | 登録／クリア | |
| | | リセット2 | 登録／クリア | |
| | 仕上がり | 1i-FINISH／2VIVID／3NATURAL*／4FLAT／5PORTRAIT／Mモノトーン／Cカスタム | | P.72 |
| | 階調 | オート／標準*／ハイキー／ローキー | | P.73 |
| | 画質モード | 静止画 | RAW／LF／LN*／MN／SN／LF+RAW／LN+RAW／MN+RAW／SN+RAW | P.65 |
| | | ムービー | HD*／SD | P.76 |
| | アスペクト比設定 | 4:3*／16:9／3:2／6:6 | | P.59 |
| 2 | ムービー AEモード | P*／A／M／ART1／ART2／ART3／ART4／ART5／ART6／ART7／ART8 | | P.75 |
| | ムービー +静止画撮影 | OFF*／ON | | P.76 |
| | | *／／12s／2s／2s／12s／／ | | P.56-<br>P.57 |
| | 手ぶれ補正 | OFF*／I.S. 1／I.S. 2／I.S. 3 | | P.57 |
| | 多重露出 | コマ数 | OFF*／2コマ | P.47 |
| | | 自動ゲイン補正 | OFF*／ON | |
| | | 再生画+多重 | OFF*／ON | |

* 初期設定

資料

11

## 再生メニュー

| タブ | 機能 | 選択肢 | | | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| ▶ | スライドショー | スタート | | | P.80 |
| | | BGM | MELANCHOLY*／NOSTALGIC／LOVE／JOY／COOL／OFF | | |
| | | スライド | すべて*／静止画／ムービー | | |
| | | 1コマ再生時間 | 2秒～10秒（3秒*） | | |
| | | ムービー再生 | フル／ショート* | | |
| | 回転再生 | OFF／ON* | | | P.81 |
| | 編集 | 画像選択 | RAW編集 | | P.85 |
| | | | JPEG編集 | 階調オート／赤目補正／トリミング／アスペクト／モノクロ作成／セピア作成／鮮やかさ調整／リサイズ／eポートレート | P.85 |
| | | | 録音 | 中止／録音スタート／消去 | P.86 |
| | | 画像合成 | 2コマ合成／3コマ合成 | | P.87 |
| | プリント予約 | 1コマ予約／全コマ予約 | | | P.109 |
| | 全プロテクト解除 | 実行／中止 | | | P.88 |

* 初期設定

## セットアップメニュー

| タブ | 機能 | 選択肢 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 🔧 | 日時設定 | — | P.7 |
| | 言語 | 日本語*／ENGLISH／他 | P.90 |
| | モニタ調整 | 色温度 -7～+7　明るさ -7～+7（色温度 ±0, 明るさ ±0*） | P.90 |
| | 撮影確認 | OFF／AUTO▶／1秒～20秒（5秒*） | P.91 |
| | カスタムメニュー表示 | OFF*／ON | P.21 |
| | バージョン | — | P.91 |

* 初期設定

## カスタムメニュー

| タブ | | 機能 | 選択肢 | | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| ⚙ | A | AF/MF | | | P.93 |
| | | AF方式 | 静止画 | S-AF*／C-AF／MF／S-AF+MF／C-AF+TR | P.49 |
| | | | ムービー | | |
| | | AFターゲット選択 | [∷∷]*／[・] | | P.52 |
| | | [･･･]循環選択 | OFF／循環1／循環2* | | P.94 |
| | | レンズリセット | OFF／ON* | | P.94 |
| | | BULB中MF | OFF／ON* | | P.94 |
| | | フォーカスリング | ↻*／↺ | | P.94 |
| | | MFアシスト | OFF／ON* | | P.94 |

* 初期設定

資料

11

| タブ | | 機能 | 選択肢 | | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| ⚙ | B | ボタン／ダイヤル | | | P.95 |
| | | ダイヤル機能 | **P** | **Ps***／露出補正／フラッシュ補正 | P.95 |
| | | | **A** | 絞り*／露出補正／フラッシュ補正 | |
| | | | **S** | シャッター速度*／露出補正／フラッシュ補正 | |
| | | | **M** | メインダイヤル：シャッター速度*／絞り | |
| | | | | サブダイヤル：シャッター速度／絞り* | |
| | | | **MENU** | メインダイヤル：◀▶／▲▼/ VALUE* | |
| | | | | サブダイヤル：◀▶*／▲▼/ VALUE | |
| | | ダイヤル方向 | 露出設定 | ダイヤル1*／ダイヤル2 | P.95 |
| | | | MENU設定 | ダイヤル1*／ダイヤル2 | |
| | | AEL／AFLモード | S-AF* | mode1*／mode2／mode3 | P.96 |
| | | | C-AF | mode1／mode2*／mode3／mode4 | |
| | | | MF | mode1*／mode2／mode3 | |
| | | AEL／AFL MEMO | OFF*／ON | | P.96 |
| | | Fnボタン機能 | フェイス&バック*／プレビュー／ワンタッチWB／[･･･] HOME／MF切換／RAW◀／試し撮り撮影／マイモード撮影／バックライト／OFF | | P.97 |
| | | ◀ボタン機能 | AF方式*／測光／フラッシュ／バックライト／手ぶれ補正 | | P.98 |
| | | マイモード設定 | マイモード1／マイモード2 | | P.98 |
| | | ボタンON保持時間 | 3秒／5秒／8秒*／HOLD／OFF | | P.98 |
| | | AEL/AFL⇄Fn | OFF*／ON | | P.99 |
| | | 十字ボタン機能 | OFF／ON*／[･･･] | | P.99 |
| | C | レリーズ | | | P.99 |
| | | レリーズ優先S | OFF*／ON | | P.99 |
| | | レリーズ優先C | OFF／ON* | | P.99 |
| | D | 表示／音／接続 | | | P.99 |
| | | HDMI | HDMI出力 | 1080i優先*／720p優先／480p/576p | P.99 |
| | | | HDMIコントロール | OFF*／ON | |
| | | ビデオ出力 | NTSC*／PAL | | P.100 |
| | | ビープ音 | OFF／ON* | | P.100 |
| | | スリープ時間 | OFF／1分*／3分／5分／10分 | | P.100 |
| | | USB接続モード | オート*／ストレージ／MTP／プリント | | P.100 |
| | | LVブースト | OFF*／ON | | P.101 |
| | | ☻顔検出 | OFF*／ON | | P.55<br>P.101 |
| | | INFO表示設定 | ▶ INFO | 表示OFF／総合表示／ヒストグラム表示／ハイライト&シャドウ | P.101 |
| | | | LV-INFO | ヒストグラム表示／拡大枠表示／比較表示／表示OFF／方眼表示／黄金分割表示／目盛表示 | |
| | | 音量 | 0～5（3*） | | P.101 |
| | | 水準器 | OFF*／ON | | P.101 |

* 初期設定

| タブ | | 機能 | 選択肢 | | | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 表示／音／接続 | | | | P.99 |
| | | ムービー録音 | OFF／ON* | | | P.76<br>P.102 |
| | | EVF調整 | -7～+7　-7～+7（±0, ±0*） | | | P.102 |
| | | 露出／測光／ISO | | | | P.102 |
| | | 露出ステップ | 1/3EV*／1/2EV／1EV | | | P.102 |
| | | 測光 | * | | | P.42 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | HI | | | |
| | | | SH | | | |
| | | AEL測光モード | オート*／／／HI／SH | | | P.102 |
| | | ISO感度 | オート*／100～6400 | | | P.46 |
| | | ISO感度ステップ | 1/3EV*／1EV | | | P.103 |
| | | ISOオート設定 | 上限値 | 200～6400（1600*） | | P.103 |
| | | | 基準値 | 200～6400（200*） | | |
| | | ISOオート有効 | P/A/S*／ALL | | | P.103 |
| | | BULBリミッター | 1分～30分（8分*） | | | P.103 |
| | | 低振動モード[♦] | OFF*／1/8秒～30秒 | | | P.103 |
| | | ブラケット撮影 | AE BKT | OFF*／3F 0.3EV／3F 0.7EV／3F 1.0EV | | P.45 |
| | | | WB BKT | A-B | OFF*／3F 2STEP／3F 4STEP／3F 6STEP | P.71 |
| | | | | G-M | | |
| | | | FL BKT | OFF*／3F 0.3EV／3F 0.7EV／3F 1.0EV | | P.64 |
| | | | ISO BKT | OFF*／3F 0.3EV／3F 0.7EV／3F 1.0EV | | P.47 |
| | | フラッシュ | | | | P.104 |
| | | フラッシュ | AUTO*／／／／／SLOW／SLOW／SLOW 2／2nd-CURTAIN | | | P.62 |
| | | フラッシュ補正 | -3.0～0.0*～+3.0 | | | P.63 |
| | | 同調速度 | 1/60～1/180（1/180*） | | | P.104 |
| | | 低速制限 | 1/30～1/180（1/60*） | | | P.104 |
| | | +連動 | OFF*／ON | | | P.104 |

* 初期設定

| タブ | 機能 | 選択肢 | | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| | 画質／色／WB | | | P.104 |
| | 長秒時ノイズ低減 | OFF／ON／オート* | | P.104 |
| | 高感度ノイズ低減 | OFF／弱／標準*／強 | | P.105 |
| | WBモード | オート* | A -7～+7,G -7～+7 | P.68 |
| | | 5300K | A -7～+7,G -7～+7 | |
| | | 7500K | A -7～+7,G -7～+7 | |
| | | 6000K | A -7～+7,G -7～+7 | |
| | | 3000K | A -7～+7,G -7～+7 | |
| | | 4000K | A -7～+7,G -7～+7 | |
| | | 4500K | A -7～+7,G -7～+7 | |
| | | 6600K | A -7～+7,G -7～+7 | |
| | | WB 5500K | A -7～+7,G -7～+7 | |
| | | | A -7～+7,G -7～+7 | |
| | | CWB | 2000K～14000K | |
| | 全WBモード補正 | ALL SET | A -7～+7,G -7～+7 | P.105 |
| | | ALL CLEAR | 実行／中止 | |
| | カラー設定 | sRGB*／AdobeRGB | | P.105 |
| | シェーディング補正 | OFF*／ON | | P.105 |
| | 画質設定 | 1～4 | L／M／S／SF／F／N／B | P.106 |
| | ピクセルサイズ | Middle | 3200 × 2400／2560 × 1920*／1600 × 1200 | P.106 |
| | | Small | 1280 × 960*／1024 × 768／640 × 480 | |
| | 記録／消去 | | | P.106 |
| | ワンプッシュ消去 | OFF*／ON | | P.106 |
| | RAW+JPEG消去 | JPEG／RAW／RAW+JPEG* | | P.106 |
| | ファイルネーム | オート*／リセット | | P.107 |
| | ファイルネーム編集 | Adobe RGB | OFF*／A～Z／0～9 | P.107 |
| | | sRGB | | |
| | 実行優先設定 | 中止優先*／実行優先 | | P.107 |
| | dpi設定 | オート*／カスタム | | P.108 |
| | その他 | | | P.108 |
| | ピクセルマッピング | — | | P.128 |
| | 露出基準調整 | | -1～0*～+1 | P.108 |
| | | | | |
| | | | | |
| | 警告レベル | -2～0*～+2 | | P.108 |
| | 水準器調整 | リセット／キャリブレーション | | P.108 |

* 初期設定

資料

11

# 仕様

## カメラの仕様

### ■ 型式

型式　：マイクロフォーサーズ規格準拠レンズ交換式カメラ
使用レンズ　：M.ZUIKO DIGITAL・マイクロフォーサーズシステムレンズ
レンズマウント　：マイクロフォーサーズマウント
35 mmフィルムカメラ換算焦点距離：
レンズ焦点距離の約2倍

### ■ 撮像素子

型式　：4/3型Live MOSセンサー
カメラ部有効画素数　：約1230万画素
画面サイズ　：17.3 mm（H）× 13.0 mm（V）
アスペクト比　：1.33（4:3）

### ■ ライブビュー

：Live MOSセンサー使用
：視野率100%

### ■ 液晶モニタ

型式　：3.0型TFTカラー液晶
総画素数　：約23万ドット

### ■ シャッター

型式　：電子制御式・フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度　：1/4000～60秒、バルブ撮影

### ■ オートフォーカス

型式　：イメージャコントラスト検出方式
測距点　：11点
測距点選択　：自動選択・任意選択

### ■ 露出制御

測光方式　：TTL測光方式（イメージャ測光）
（1）デジタルESP測光
（2）中央重点平均測光
（3）スポット測光
測光範囲　：EV0～18（デジタルESP測光／中央重点平均測光／スポット測光）
撮影モード　：（1）iAUTO：iオート
（2）P：プログラムAE（プログラムシフト可能）
（3）A：絞り優先AE
（4）S：シャッター優先AE
（5）M：マニュアル
（6）ART：アートフィルター
（7）SCN：シーン
（8）🎥：ムービー
ISO感度　：100～6400（1/3、1ステップ）
露出補正　：±3EV（1/3、1/2、1ステップ）

資料
11

## ■ ホワイトバランス

| | |
|---|---|
| 型式 | ：撮像素子 |
| 設定方式 | ：オート／プリセット（8種）／カスタムWB／ワンタッチWB |

## ■ 記録

| | |
|---|---|
| 記録媒体 | ：SDメモリーカード<br>SDHCメモリーカード |
| 記録方式 | ：デジタル記録、JPEG（DCF準拠）、RAWデータ |
| 対応規格 | ：Exif 2.2、DPOF、PRINT Image Matching III、PictBridge |
| 静止画音声 | ：Waveフォーマットに準拠 |
| 動画 | ：AVI Motion JPEGに準拠 |
| 音声 | ：PCM 44.1kHz（ステレオ） |

## ■ 再生

| | |
|---|---|
| 表示形式 | ：1コマ表示／拡大表示／インデックス表示／回転表示／カレンダー表示 |

## ■ ドライブ関係

| | |
|---|---|
| ドライブモード | ：1コマ撮影／連写／セルフタイマー |
| 連写性能 | ：3コマ／秒 |
| セルフタイマー | ：12秒後撮影／2秒後撮影 |

## ■ 外部フラッシュ

| | |
|---|---|
| シンクロ同調 | ：1/180秒以下で同調 |
| 調光方式 | ：TTL-AUTO（TTLプリ発光式）／AUTO／MANUAL |
| フラッシュ接点 | ：ホットシュー |

## ■ 外部コネクタ

マルチコネクタ（USB端子／AV端子）／HDMIミニコネクタ（タイプC）／アクセサリーポート

## ■ 電源

| | |
|---|---|
| 電池 | ：リチウムイオン電池（BLS-1）1個 |

## ■ 大きさ・質量

| | |
|---|---|
| 大きさ | ：120.5 mm（幅）× 70.0 mm（高さ）× 35.0 mm（奥行き）（突起部を除く） |
| 質量 | ：約335 g（電池含まず）<br>約385 g（電池、カード含む） |

## ■ 動作環境

| | |
|---|---|
| 温度 | ：0～40 °C（動作時）／-20～60 °C（保存時） |
| 湿度 | ：30～90%（動作時）／10～90%（保存時） |

資料

11

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

# 電池・充電器の仕様

## リチウムイオン電池BLS-1

| | |
|---|---|
| MODEL NO. | ：PS-BLS1 |
| 形式 | ：充電式リチウムイオン電池 |
| 公称電圧 | ：DC7.2 V |
| 公称容量 | ：1150 mAh |
| 充放電回数 | ：約500回（使用する条件により異なります。） |
| 使用周囲温度 | ：0 °C～40 °C（充電）<br>-10 °C～60 °C（動作時）<br>-20 °C～35 °C（保存時） |
| 大きさ | ：約35.5 mm（幅）× 55 mm（奥行き）× 12.8 mm（高さ） |
| 質量 | ：約46 g |

## リチウムイオン充電器BCS-1

| | |
|---|---|
| MODEL NO. | ：PS-BCS1 |
| 定格入力 | ：AC100 V～240 V（50/60 Hz） |
| 定格出力 | ：DC8.35 V、400 mA |
| 充電時間 | ：約3時間30分（常温：BLS-1ご使用の場合） |
| 使用周囲温度 | ：0 °C～40 °C（動作時）／-20 °C～60 °C（保存時） |
| 大きさ | ：約62 mm（幅）× 83 mm（奥行き）× 38 mm（高さ） |
| 質量 | ：約72 g（電源コード含まず） |

**外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。**

# 安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

## 製品の取り扱いについてのご注意

### ⚠ 警告

- **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
  引火・爆発の原因となります。
- **フラッシュやLEDを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**
  視力障害をきたすおそれがあります。
- **幼児、子供の手の届く場所に置かない**
  以下のような事故発生のおそれがあります。
  - 誤ってケーブル類やストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
  - 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師に連絡し、指示を受けてください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
  - カメラの動作部でけがをする。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使ったり、保管しない**
  火災や感電の原因となることがあります。
- **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**
  連続発光後も発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。
- **分解や改造をしない**
  感電やけがをする原因となります。
- **内部に水や異物を入れない**
  火災や感電の原因になります。万一、水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店や当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

- **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない**
  充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。
- **専用の電池または充電器以外は使用しない**
  発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

### ⚠ 注意

- **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常が生じたときは使用を中止する**
  火災や、やけどの原因となります。このようなときは、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店や当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。(電池を取り出す際は、素手で電池を触らないでください。また、可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。)
- **濡れた手で操作しない**
  故障、感電の原因となることがあります。また充電器などの電源プラグの抜き差しは、濡れた手では絶対にしないでください。
- **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
  けがや事故の原因となることがあります。
- **高温になるところへ放置しない**
  部品の劣化、火災の原因となります。
- **充電器などのコードは傷つけたり、引っ張ったり、継ぎ足したりしない**
  コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。以下の場合はただちに使用を中止し、販売店や当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
  - 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
  - 電源プラグに傷、断線、またはプラグに接触不良がある。
- **交換レンズについてのご注意**
  - レンズまたは光学ビューファインダー(外付け)で直接太陽や強い光を見ない
    失明や視力障害を起こすことがあります。
  - 使用しないときはレンズキャップをつけて保管する
    太陽光が入射して、火災の原因になることがあります。

## 電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

### ⚠ 危険

- **火の中に投下したり、加熱しない**
  発火・破裂・火災の原因となります。
- **(+)（−）端子を金属等で接続しない**
- **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない**
  ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。
- **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温の場所で使用・放置しない**
  液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。
- **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
  端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない**
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電池の液が目に入った場合は、失明のおそれがあるので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

### ⚠ 警告

- **電池を水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない**
- **濡れた手で電池を触ったり持ったりしない**
- **所定の充電時間を超えても電池の充電が完了しない場合は、充電を中止する**
  火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- **外装にキズや破損のある電池は使用しない**
  破裂・発熱の原因となります。
- **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
  破裂・発熱の原因となります。
- **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
- **液漏れや、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止する**
  販売店や当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着したときは、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因になります。**

### ⚠ 注意

- **カメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さない**
  やけどの原因となることがあります。
- **長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく**
  液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。

## 充電器についてのご注意

### ⚠ 危険

- **充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
  故障・感電の原因となります。
- **充電器を布などで覆った状態で使用しない**
  熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。
- **充電器を分解・改造しない**
  感電・けがの原因となります。
- **充電器は指定の電源電圧で使用する**
  指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破壊・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。

### ⚠ 警告

- **コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持つ**
  電源プラグを持たないと、火災・感電の原因となることがあります。
  以下の場合はすぐに使用を中止し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
  • 電源プラグが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
  • 電源プラグに接触不良がある。

### ⚠ 注意

- **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う**
  電源プラグを抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

# 使用上のご注意

## 使用条件について

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起こすことがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- 三脚に取り付ける際は、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。
- カメラ本体や交換レンズの電気接点部には触れないでください。レンズを外したときは、ボディキャップを必ず取り付けてください。
- カメラの撮像素子に直接触れたり、また掃除したりしないでください。

## 電池について

- 当社製リチウムイオン充電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。
- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により、撮影枚数が減少することがあります。
- 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。

- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、（+）端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは有限責任中間法人JBRCホームページ（http://www.jbrc.com)をご覧ください。

Li-ion 20

## 液晶モニタについて

本製品は背面の表示に、液晶モニタを使用しています。

- カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、ギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

## レンズについて

- 水につけたり水をかけたりしないでください。
- 落下したり強い力を加えないでください。
- レンズの可動部で保持しないでください。
- レンズ面に直接触れないでください。
- 電気回路接点部に直接触れないでください。
- 急激な温度変化をかけないでください。
- 使用温度範囲は-10～40 °Cです。範囲内でご使用ください。

# その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

## 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

接続ケーブル、ACアダプタ（ACアダプタ対応機種のみ）は、必ず、当製品指定のものをお使いください。
指定品以外では、VCCI協会の技術基準を超えることが考えられます。

## 商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップル社の商標または登録商標です。
SDHCロゴは商標です。
階調自動調整機能は、Apical Limitedの特許技術を使用しています。

その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

## カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

# お問い合わせいただく前に（お願い）

- より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが以下の内容をあらかじめご確認ください。
- FAXまたは郵便でお問い合わせいただく場合は、必ずご記入ください。ご記入いただいたお客様の個人情報は、本お問い合わせ対応のためだけに利用し、それ以外の目的には利用いたしません。
- 問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：
  パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけくわしくお知らせください。

- **お名前（フリガナ）**
- **連絡先：郵便番号**
- **住所（自宅か会社のいずれかを明記願います）**
  **電話番号／FAX**
  **E-mail**
- **製品名（型番）：E-P2**
- **シリアル番号（製品底面に記載されています）：**
- **お買い上げ日：**
- **問題が発生したときの症状（表示されたメッセージ、症状の再現性など）：**

**※ 以下は、カメラをパソコンと接続してご使用、またはソフトウェアをご使用の場合にお確かめください。**

- **ご使用のパソコンの種類：**
- **パソコンメーカー・型番等**
- **メモリの容量　ハードディスクの空き容量：**
- **OS名とバージョン：**
- **（Mac OS）コントロールパネルや機能拡張の内容**
- **（Windows）コントロールパネル―システム―デバイスマネージャーの内容**
- **その他接続されている周辺機器名：**
- **問題のご使用アプリケーションソフト名とバージョン：**
- **問題のご使用弊社ソフト名とバージョン：**

資料

11

# 索引

## 英数・記号


AEL/AFL⇄Fn ........ 99
（言語切り換え） ........ 90
[▪▪▪] HOME ........ 97
[▪▪▪] 循環選択 ........ 94
低速制限 ........ 104
同調速度 ........ 104
警告レベル ........ 108
Fnボタン機能 ........ 97
ボタン機能 ........ 99
ボタン機能 ........ 98
+連動 ........ 104
カスタムメニュー ........ 93, 142
メニュー表示 ........ 21
撮影メニュー 1 ........ 141
撮影メニュー 2 ........ 141
再生メニュー ........ 142
セットアップメニュー ........ 90, 142
AAF/MF ........ 93
Bボタン／ダイヤル ........ 95
Cレリーズ ........ 99
D表示／音／接続 ........ 99
E露出／測光／ISO ........ 102
Fフラッシュ ........ 104
G画質／色／WB ........ 104
H記録／消去 ........ 106
Iその他 ........ 108
1コマ再生 ........ 77
1コマ消去 ........ 89
1コマプロテクト ........ 87
Adobe RGB ........ 105
AE BKT ........ 45
AEL/AFL MEMO ........ 96
AEL/AFLモード ........ 96
AEL測光モード ........ 102
AEブラケット撮影 ........ 45
AEロック ........ 44
AFターゲット[▪▪▪] ........ 52
AFターゲット選択 ........ 52
AFターゲットモード ........ 53
AF方式 ........ 49, 98
B (Basic) ........ 65
BGM ........ 80
BULBリミッター ........ 103
BULB中MF ........ 94
C-AF（コンティニュアスAF） ........ 50
C-AF＋TR（追尾AF） ........ 51
dpi設定 ........ 108
DPOF ........ 109
eポートレート ........ 11, 85
F (Fine) ........ 65
FL BKT ........ 64
FLAT ........ 72
HD ........ 76
HDMI ........ 84, 99
i-FINISH ........ 72
INFO表示設定 ........ 101
ISO BKT ........ 47
ISOオート設定 ........ 103
ISOオート有効 ........ 103
ISO感度 ........ 46
ISO感度ステップ ........ 103
ISOブラケット撮影 ........ 47
IS（手ぶれ補正） ........ 57
iオート撮影 iAUTO ........ 10
JPEG編集 ........ 85
L (Large) ........ 65
LVブースト ........ 101
M (Middle) ........ 65
M. ZUIKO DIGITAL交換レンズ ........ 131
MFアシスト ........ 94
MF切換 ........ 97
MF（マニュアルフォーカス） ........ 50
MTP ........ 100, 120
N (Normal) ........ 65
NATURAL ........ 72
NTSC ........ 100
OLYMPUS Master ........ 116
PAL ........ 100
PictBridge ........ 112
PORTRAIT ........ 72
RAW ........ 66
RAW+JPEG 消去 ........ 106
RAW ........ 97
RAW編集 ........ 85
S (Small) ........ 65
S-AF+MF ........ 51
S-AF（シングルAF） ........ 49
SD ........ 76
SD/SDHCカード ........ 4, 129
SF (Super Fine) ........ 65

sRGB ............ 105
USB接続モード ............ 100
VIVID ............ 72
WB BKT ............ 71
WB補正 ............ 69
WBモード ............ 69


## あ行

アートフィルターモード**ART** ............ 11
赤目軽減発光 ............ 62
赤目補正 ............ 85
鮮やかさ調整 ............ 85
アスペクト ............ 85
アスペクト比設定 ............ 59
圧縮率 ............ 65
色温度 ............ 138
インデックス再生 ............ 78
打ち上げ花火 ............ 11
オートフォーカス ............ 122
オートホワイトバランス ............ 68
オート発光AUTO ............ 62
オールターゲットAFモード[::::] ............ 52
音量 ............ 101


## か行

カード ............ 129
カード初期化 ............ 129
カードセットアップ ............ 89, 129
階調 ............ 73
階調オート ............ 85
回転再生 ............ 81
顔検出 ............ 55, 101
拡大表示 ............ 54
画質設定 ............ 106
画質モード ............ 65, 76, 139
カスタム**C** ............ 72
カスタムホワイトバランス**CWB** ............ 68
カスタムリセット設定 ............ 92
画像合成 ............ 47, 87
画像サイズ ............ 65
カラー設定 ............ 105
カレンダー再生 ............ 78
かんたん撮影モード ............ 10
かんたんプリント ............ 113
キャンドル ............ 11
強制発光 ............ 63
クローズアップ再生 ............ 77
クロスプロセス ............ 11
効果 ............ 72
高感度ノイズ低減 ............ 105
コンティニュアスAF（C-AF）............ 50
コントラスト ............ 72


## さ行

彩度 ............ 72
撮影確認 ............ 91
仕上がり ............ 72
シーンモード**SCN** ............ 11
シェーディング補正 ............ 105
ジオラマ ............ 11
実行優先設定 ............ 107
絞り値 ............ 12, 37, 38
絞り優先撮影**A** ............ 38
シャープネス ............ 72
シャッター優先撮影**S** ............ 39
シャッター速度 ............ 12, 37, 39
情報表示 ............ 23, 79
シングルAF（S-AF）............ 49
シングルターゲットAFモード**[・]** ............ 52
水準器 ............ 101
水準器調整 ............ 108
スーパー FP発光 ............ 62
スーパーコンパネ ............ 18
ストラップ ............ 2
ストレージ ............ 100, 117
スポーツ ............ 11
スポット測光 ............ 42
スポット測光シャドウコントロール**SH** ............ 42
スポット測光ハイライトコントロール**HI** ............ 42
スライド ............ 80
スライドショー ............ 80
スリープ時間 ............ 100
スローシンクロ SLOW ............ 62
スローシンクロ SLOW2/2nd CURTAIN ............ 62
セピア作成 ............ 85
セルフタイマー ............ 57
全WBモード補正 ............ 105
全コマ消去 ............ 89
全プロテクト解除 ............ 88
測光 ............ 42, 98


## た行

ダイヤル機能 ............ 95
ダイヤル方向 ............ 95
ダイレクトプリント ............ 112

多重露出 ........ 47
ダストリダクション ........ 6, 127
試し撮り撮影 ........ 97
単写 ........ 56
チャイルド ........ 11
中央重点平均測光 ........ 42
調色 ........ 73
長秒時ノイズ低減 ........ 104
追尾AF（C-AF＋TR） ........ 51
低振動モード[◆] ........ 56, 103
デイドリーム ........ 11
デジタルESP測光 ........ 42
手ぶれ補正IS ........ 57
電池 ........ 3, 130
トイフォト ........ 11
トリミング ........ 85, 115

## な行

日時設定 ........ 7
ネイチャーマクロ ........ 11

## は行

バージョン ........ 91
ハイキー HI ........ 11, 73
バックライト ........ 97
発光禁止 ........ 63
パノラマ ........ 11, 60
バルブ撮影 ........ 41
ビーチ＆スノー ........ 11
ビープ音 ........ 100
比較表示 ........ 43
ピクセルサイズ ........ 65, 106
ピクセルマッピング ........ 128
ヒストグラム ........ 23, 79
ファイルネーム ........ 107
ファイルネーム編集 ........ 107
ファンタジックフォーカス ........ 11
フィルター効果 ........ 72
風景 ........ 11
風景＆人物 ........ 11
フェイス&バック ........ 55, 97
フォーカスリング ........ 94
フォーサーズシステムレンズ ........ 131
ブラケット撮影 ........ 45, 47, 64, 71, 103
フラッシュ ........ 62
フラッシュブラケット撮影 ........ 64
フラッシュ補正 ........ 63
フラッシュモード ........ 62
プリセットホワイトバランス ........ 68
プリント ........ 100, 113
プリント予約 ........ 109
ぶれ軽減 ........ 11
プレビュー ........ 97
プログラム撮影P ........ 37
プログラムシフトPs ........ 37
プロテクト（保護） ........ 87
文書 ........ 11
ポートレート ........ 11
ホームポジション HP ........ 53
ボタンON保持時間 ........ 98
ポップアート ........ 11
ホワイトバランスWB ........ 68
ホワイトバランスブラケット撮影 ........ 71

## ま行

マイクロフォーサーズシステムレンズ ........ 131
マイモード撮影 ........ 97
マイモード設定 ........ 98
マクロ ........ 11
マニュアル撮影M ........ 40
マニュアルフォーカス（MF） ........ 50
ムービー +静止画撮影 ........ 76
ムービー AEモード ........ 75
ムービー撮影 ........ 74
ムービープレイ ........ 82
ムービー録音 ........ 76, 102
モニタ調整 ........ 90
モノクロ作成 ........ 85
モノトーン M ........ 72

## や行

夜景 ........ 11
夜景&人物 ........ 11
夕日 ........ 11

## ら行

ライトトーン ........ 11
ライブコントロール ........ 16
ラフモノクローム ........ 11
リサイズ ........ 85
リチウムイオン充電器 ........ 3, 130
リチウムイオン電池 ........ 3, 130
レリーズ優先C ........ 99
レリーズ優先S ........ 99
連写 ........ 56
レンズ ........ 5, 131
レンズリセット ........ 94

ローキー LOW .................................. 11, 73
録音 .................................................. 86
露出基準調整 ................................... 108
露出ステップ ................................... 102
露出補正 ........................................ 43

## わ行

ワンタッチホワイト
バランス ........................ 70, 97
ワンプッシュ消去 ............................ 106

# OLYMPUS®

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● **ホームページによる情報提供について**

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）**

フリーダイヤル

**0120-084215**

**携帯電話・PHSからは042-642-7499**

**FAX　042-642-7486**

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

※ カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページにて情報提供しております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、本製品に同梱の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。**

※ 記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ をご確認ください。



Printed in China　　VN331601